

大学番号：国041

注3

事前伺い

[平成28年度設置]

計画の区分：学部の学科の設置

注1

信州大学 工学部

物質化学科，電子情報システム工学科，

水環境・土木工学科，機械システム工学科，建築学科

注2

【事前伺い】設置に係る設置計画履行状況報告書

国立大学法人 信州大学

平成28年5月1日現在

作成担当者

担当部局（課）名 経営企画部経営企画課

職名・氏名 主査 フジ フラ シ ホ
藤 原 詩 穂

電話番号 0263-37-2122

（夜間） 0263-37-2122

F A X 0263-37-3484

e-mail kikaku_gakuji@gm.shinshu-u.ac.jp

(注) 1 「計画の区分」は設置時の基本計画書「計画の区分」と同様に記載してください。

2 大学院の場合は、表題を「〇〇大学大学院・・・」と記入してください。

設置時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には設置時の旧名称を記載し、その下欄に（ ）書きにて、現在の名称を記載してください。

例) 〇〇大学 △△学部 □□学科

(◇◇学部(平成◇◇年度より学部名称変更))

表題は「計画の区分」に従い、記入してください。

例)

・学部の設置の場合：「〇〇大学 △△学部」

・学部の学科の設置の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科」

・大学院の研究科の設置の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科」

・通信教育課程の開設の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科(通信教育課程)」

目次

工学部

<物質化学科>	ページ
1. 調査対象大学等の概要等	4
2. 授業科目の概要	8
3. 施設・設備の整備状況、経費	17
4. 既設大学等の状況	18
5. 教員組織の状況	22
6. 留意事項等に対する履行状況等	26
7. その他全般的事項	27

<電子情報システム工学科>	ページ
1. 調査対象大学等の概要等	29
2. 授業科目の概要	33
3. 施設・設備の整備状況、経費	43
4. 既設大学等の状況	44
5. 教員組織の状況	48
6. 留意事項等に対する履行状況等	52
7. その他全般的事項	53

<水環境・土木工学科>	ページ
1. 調査対象大学等の概要等	55
2. 授業科目の概要	59
3. 施設・設備の整備状況、経費	68
4. 既設大学等の状況	69
5. 教員組織の状況	73
6. 留意事項等に対する履行状況等	77
7. その他全般的事項	78

＜機械システム工学科＞	ページ
1. 調査対象大学等の概要等	80
2. 授業科目の概要	84
3. 施設・設備の整備状況、経費	93
4. 既設大学等の状況	94
5. 教員組織の状況	98
6. 留意事項等に対する履行状況等	102
7. その他全般的事項	103

＜建築学科＞	ページ
1. 調査対象大学等の概要等	105
2. 授業科目の概要	109
3. 施設・設備の整備状況、経費	118
4. 既設大学等の状況	119
5. 教員組織の状況	123
6. 留意事項等に対する履行状況等	127
7. その他全般的事項	128

1 調査対象大学等の概要等

(1) 設置者

国立大学法人 信州大学

(2) 大学名

信州大学

(3) 大学の位置

〒380-8553 長野県長野市若里4丁目17番地1号
(本部：〒390-8621 長野県松本市旭3丁目1番1号)

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を()書きで記入してください。
・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

(4) 管理運営組織

職名	設置時	変更状況	備考
学長			
理事			
学部長			
学科長等			

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を()書きで記入してください。
(例) 平成26年度に報告済の内容 → (26)
平成28年度に報告する内容 → (28)
- ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
 - ・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
 - ・「事前伺い」により設置された学部等については、本項目を記載する必要はありません。

(5) 調査対象学部等の名称, 定員, 入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部の学科または研究科の専攻等, 定員を定めている組織ごとに記入してください (入試区分ごとではありません)。
 ・ なお, 課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は, 法令上規定されている最小単位 (大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」でも記載してください。その場合適宜各項目の表を追加してください)。
 ・ 様式は, 平成25年度開設の4年制の学科の場合 (平成28年度までの4年間) ですが, 開設年度・修業年限に合わせて作成してください。(修業年限が3年以下の場合には欄を削除し, 5年以上の場合には, 欄を設けてください。)

(5) - ① 調査対象学部等の名称, 定員

調査対象学部等の名称 (学位)	設置時の計画				備考
	修業年限	入学定員	編入学定員	收容定員	
工学部 物質化学科 学士 (工学)	4年	95人	3年次 4人	388人	

- (注) ・ 定員を変更した場合は, 「備考」に変更前的人数, 変更年月及び報告年度を () 書きで記入してください。
 ・ 学生募集停止を予定している場合は, 「備考」にその旨記載してください。

(5) - ② 調査対象学部等の入学者の状況

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		平成31年度		平均入学定員 超過率	備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期		
A 入学定員	95 (-) [若干人]								1.02倍	
志願者数	409 (-) [8]	- (-) [-]								
受験者数	321 (-) [8]	- (-) [-]								
合格者数	111 (-) [2]	- (-) [-]								
B 入学者数	97 (-) [1]	- (-) [-]								
入学定員超過率 B/A	1.02									

- (注) ・ 数字は, 平成28年5月1日現在の数字を記入してください。
 ・ () 内には, 編入学の状況について **外数** で記入してください。なお, 編入学を複数年次で行っている場合には, (()) 書きとするなどし, その旨を「備考」に付記してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 ・ [] 内には, 留学生の状況について **内数** で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 ・ 留学生については, 「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格 (いわゆる「留学ビザ」) により, 我が国の大学 (大学院を含む。), 短期大学, 高等専門学校, 専修学校 (専門課程) 及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 ・ 短期交換留学生など, 定員内に含めていない学生については記入しないでください。
 ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は, 春季入学とその他の学期 (春季入学以外の学期区分を設けている場合) に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は, その他の学期欄は「-」を記入してください。また, その他の学期に入学定員を設けている場合は, 備考欄にその人数を記入してください。
 ・ 「入学定員超過率」については, **各年度の春季入学とその他を合計した入学定員, 入学者数で算出** してください。なお, 計算の際は **小数点以下第3位を切り捨て, 小数点以下第2位まで** 記入してください。
 ・ 「平均入学定員超過率」には, 開設年度から提出年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。なお, 計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。

(5) - ③ 調査対象学部等の在学者の状況

学 年	平成28年度		平成29年度		平成30年度		平成31年度		備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1年次	[1] (-) 97	[-] (-) -	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	
2年次	/		[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	
3年次			/		[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()
4年次	/				[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()
計			[1] (-) 97	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()

- (注) ・ 数字は、平成28年5月1日現在の数字を記入してください。
- ・ []内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 - ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 - ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
 - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 - ・ 「計」については、**各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数**を記入してください。
 - ・ ()内には、**留年者の状況について、内数**で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。

(5) -④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	入学者数(b)	退学者数(a)	退学者数(内訳)			主な退学理由	入学者数に 対する退学者数 の割合 (a/b)
			退学した年度	退学者数	退学者数の うち留学生数		
平成28年度 入学者	97 人	0 人	平成28年度	0 人	0 人		0.0 %
			平成29年度	人	人		
			平成30年度	人	人		
			平成31年度	人	人		
平成29年度 入学者	人	人	平成29年度	人	人		%
			平成30年度	人	人		
			平成31年度	人	人		
平成30年度 入学者	人	人	平成30年度	人	人		%
			平成31年度	人	人		
平成31年度 入学者	人	人	平成31年度	人	人		%
合 計	97 人	0 人					0.0 %

(注)・数字は、平成28年5月1日現在の数字を記入してください。

- ・各年度の入学者数については、該当年度当初に入学した人数を記入してください。(途中で退学者がいた場合でも、その退学者数を減らす必要はありません。)
- ・各年度の退学者数については、退学年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
- ・留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により、我が国の大学(大学院を含む。)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記入してください。
- ・短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
- ・「入学者数に対する退学者数の割合」は、【当該対象年度の入学者のうち、平成28年5月1日現在までに退学した学生数の合計】を、【当該対象年度の入学者数】で除した割合(%)を記入してください。その際、小数点以下第2位を四捨五入し、小数点以下第1位までを記入してください。
- ・「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(○人)」というように、その人数も含めて記入してください。
 (記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学
 ・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

2 授業科目の概要

<工学部 物質化学科>

(1) 授業科目表

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考			
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手				
共通教育科目	教養科目	教養ゼミナール群	技術とエネルギーの入門ゼミ (技術・環境分野)	1後	2							兼4	カリキュラム見直しのため科目追加 (28)	
			環境問題を化学者と考えるゼミ	1後	2								兼1	
			生態資源論ゼミ	1前	2								兼1	
			地球白書ゼミ	1前	2								兼1	
			環境マインドを現場で体験するゼミ	1前	2								兼2	
			土壤学ゼミ	1前	2								兼1	カリキュラム見直しのため科目追加 (28)
			植物生態学ゼミ	1前	2								兼1	カリキュラム見直しのため科目追加 (28)
			環境マインドを現場で体験するゼミ (熱帯雨林)	1後	2								兼1	カリキュラム見直しのため科目追加 (28)
			芸術教養美術ゼミ	1前	2								兼1	カリキュラム見直しのため科目追加 (28)
			芸術教養音楽ゼミ	1後	2								兼1	カリキュラム見直しのため科目追加 (28)
			アジアの中の日本ゼミⅠ	1前	2								兼1	カリキュラム見直しのため科目追加 (28)
			アジアの中の日本ゼミⅡ	1後	2								兼1	カリキュラム見直しのため科目追加 (28)
			日本人のための英作文練習ゼミ	1前	2								兼1	カリキュラム見直しのため科目追加 (28)
			「時」について考えるゼミ	1後	2								兼1	カリキュラム見直しのため科目追加 (28)
			原書で読むシャーロック・ホームズゼミ	1前	2								兼1	
			現代ドイツの言語と日常ゼミ	1前	2								兼1	
			現代ドイツ事情ゼミ	1後	2								兼1	
			異文化研究ゼミ	1後	2								兼1	
			感覚で攻める英文法ゼミ～覚える英文法から感じる英文法へ～	1前後	2								兼1	
			日本近現代史入門ゼミ	1後	2								兼1	カリキュラム見直しのため科目追加 (28)
			古文書で学ぶ近世ゼミ	1前	2								兼1	カリキュラム見直しのため科目追加 (28)
			フィールドワーク入門ゼミ	1前	2								兼1	カリキュラム見直しのため科目追加 (28)
			スポーツ・ホスピタリティゼミ 秋冬編 (松本山雅FC連携ゼミ)	1後	2								兼1	
			スポーツ・ホスピタリティゼミ 春夏編 (松本山雅FC連携ゼミ)	1前	2								兼1	
			スポーツ観戦文化論ゼミ	1前後	2								兼1	
			テレビのメディアリテラシー (テレビ信州参与ゼミ)	1前	2								兼1	
			大学改革への学生参加ゼミ	1後	2								兼1	カリキュラム見直しのため科目追加 (28)
			「考える」ゼミ	1前後	2								兼1	
			スペシャルオリンピックスで学ぼうゼミ	1前	2								兼4	カリキュラム見直しのため科目追加 (28)
			心理学思考法ゼミ	1後	2								兼1	カリキュラム見直しのため科目追加 (28)
			身体心理学ゼミ	1前	2								兼1	カリキュラム見直しのため科目追加 (28)
			環境心理学ゼミ	1前	2								兼1	カリキュラム見直しのため科目追加 (28)
			経済学の視点で考える企業行動ゼミ	1後	2								兼1	カリキュラム見直しのため科目追加 (28)
			地域ブランド実践ゼミ	1後	2								兼1	カリキュラム見直しのため科目追加 (28)
			企業経営ゼミ	1前	2								兼2	カリキュラム見直しのため科目追加 (28)
			化学計算入門ゼミ	1前後	2								兼1	
			ロボティクス入門ゼミ	1前後	2								兼1	カリキュラム見直しのため科目追加 (28)
			自然誌・博物学ゼミ	1前	2								兼1	カリキュラム見直しのため科目追加 (28)
			「物質化学の世界」ゼミ	1前	2								兼2	カリキュラム見直しのため科目追加 (28)
			ものづくり入門ゼミ	1後	2								兼2	カリキュラム見直しのため科目追加 (28)
			文系学生のための野外地質学ゼミ	1前	2								兼1	
			利己的遺伝子説から生物像を描くゼミ	1後	2								兼1	カリキュラム見直しのため科目追加 (28)
			統計図解ゼミ	1前後	2								兼1	
			アナログ再発見ゼミ	1前	2								兼1	
			情報社会論ゼミ	1前後	2								兼1	
			Web制作ゼミ	1前後	2								兼1	カリキュラム見直しのため科目追加 (28)
			新聞で広げる社会の見方ゼミ (信濃毎日新聞社寄付講座)	1後	2								兼1	カリキュラム見直しのため科目追加 (28)
			ネットワーク時代の古典を原著で読むゼミ	1後	2								兼1	カリキュラム見直しのため科目追加 (28)
			人工知能を知ろうゼミ	1後	2								兼1	カリキュラム見直しのため科目追加 (28)
			電子出版を知ろうゼミ	1前	2								兼1	カリキュラム見直しのため科目追加 (28)
大学生基礎力ゼミ	1前	2								兼4				
グローバルに生きるゼミ	1後	2								兼2	カリキュラム見直しのため科目追加 (28)			
新聞をつくらう！(タウン情報制作ゼミ)	1前	2								兼1				
スポーツ活動論ゼミⅠ	1前	2								兼1				
スポーツ活動論ゼミⅡ	1後	2								兼1				
ドイツ環境ゼミ	1後	2								兼1				
社会科学の方法ゼミ	1前	2								兼1				
自然活動論ゼミ	1前	2								兼1	カリキュラム見直しのため科目追加 (28)			
自然と人間を考えるゼミ	1後	2								兼1	カリキュラム見直しのため科目追加 (28)			
臨床検査を体験するゼミ	1後	2								兼1	カリキュラム見直しのため科目追加 (28)			
体と心のリハビリテーションを考えるゼミ	1前	2								兼1	カリキュラム見直しのため科目追加 (28)			
科学的な見方・考え方ゼミ	1前	2								兼1	カリキュラム見直しのため科目追加 (28)			
身体運動科学ゼミ	1前	2								兼1	カリキュラム見直しのため科目追加 (28)			
環境社会学入門	1前	2								兼1				
熱帯雨林と社会	1前	2								兼1				
Low Energy Building (省エネルギー住宅)	1後	2								兼1	カリキュラム見直しのため科目追加 (28)			
環境～その人文・社会科学的アプローチ	1後	2								兼5				
ライフサイクルアセスメント入門	1前後	2								兼1				
環境と生活とのかかわり	1前後	2								兼1				
環境政策の社会学	1後	2								兼1	カリキュラム見直しのため科目追加 (28)			
環境問題のしくみ	1前	2								兼1	カリキュラム見直しのため科目追加 (28)			

環境科学群	環境科学入門	1前	2							兼1	カリキュラム見直しのため科目追加 (28)	
	グリーンテクノロジー	1前	2							兼3	カリキュラム見直しのため科目追加 (28)	
	環境配慮素材と自然エネルギー	1前	2							兼4	カリキュラム見直しのため科目追加 (28)	
	エコ水車の開発と地域バイオマス利用	1前	2							兼2	カリキュラム見直しのため科目追加 (28)	
	地球環境の歴史	1前	2							兼1		
	循環型社会入門	1前	2							兼1	カリキュラム見直しのため科目追加 (28)	
	環境とエネルギー	1後	2							兼1	カリキュラム見直しのため科目追加 (28)	
	ネイチャーライティングのすすめ (環境文学 I)	1前	2							兼1		
	環境文学のすすめ (環境文学 II)	1後	2							兼1		
	自然環境と文化	1後	2							兼1		
	環境管理会計	1後	2							兼1	カリキュラム見直しのため科目追加 (28)	
	材料の科学と技術(基礎編)	1前	2							兼1	カリキュラム見直しのため科目追加 (28)	
	材料の科学と技術(先端編)	1後	2							兼1	カリキュラム見直しのため科目追加 (28)	
	生物と環境	1後	2							兼1		
	NHKビデオで学ぶ地球環境の歴史	1前	2							兼1	カリキュラム見直しのため科目追加 (28)	
	自然災害と環境	1前	2							兼1		
	ナノテクと環境	1後	2							兼1	カリキュラム見直しのため科目追加 (28)	
	人とすまい	1前	2							兼3	カリキュラム見直しのため科目追加 (28)	
	水の環境科学	1後	2							兼1	カリキュラム見直しのため科目追加 (28)	
	森林サイエンス	1前	2							兼1	カリキュラム見直しのため科目追加 (28)	
	農山村と環境	1前	2							兼1	カリキュラム見直しのため科目追加 (28)	
	環境と緑の文化	1後	2							兼1	カリキュラム見直しのため科目追加 (28)	
	生活の中の科学	1後	2							兼1		
	環境法入門	1後	2							兼1		
	人文科学群	言語教育の観点から学ぶ人間と世界	1後	2							兼1	カリキュラム見直しのため科目追加 (28)
		Englishes in the World (国際語としての英語)	1前	2							兼1	カリキュラム見直しのため科目追加 (28)
		日本語入門	1前	2							兼1	カリキュラム見直しのため科目追加 (28)
		日本近代文学入門	1後	2							兼1	カリキュラム見直しのため科目追加 (28)
映像・人類学		1前	2							兼1		
Top Level English (トップレベルイングリッシュ)		1前後	2							兼2		
「田園環境健康都市須坂」を「共創」(須坂市寄附書籍講義)		1後	2							兼1	カリキュラム見直しのため科目変更 (28)	
映画史入門		1前	2							兼1	カリキュラム見直しのため科目追加 (28)	
身体表現レクチャー&ワークショップ		1前	2							兼1	カリキュラム見直しのため科目追加 (28)	
近現代のアジアと日本		1後	2							兼1	カリキュラム見直しのため科目追加 (28)	
絶対王政期フランスの制度と社会		1前	2							兼1	カリキュラム見直しのため科目追加 (28)	
世界の音楽		1後	2							兼1	カリキュラム見直しのため科目追加 (28)	
方言からみた日本語		1後	2							兼1	カリキュラム見直しのため科目追加 (28)	
日本語教育学入門		1後	2							兼1	カリキュラム見直しのため科目追加 (28)	
「心の哲学」入門		1後	2							兼1	カリキュラム見直しのため科目追加 (28)	
江戸時代の本屋さんと本		1後	2							兼1	カリキュラム見直しのため科目追加 (28)	
英語基礎 I (たてなおしの英語 I)		1前	2							兼1	カリキュラム見直しのため科目追加 (28)	
英語基礎 II (たてなおしの英語 II)		1後	2							兼1	カリキュラム見直しのため科目追加 (28)	
自己発見の方法		1後	2							兼1	カリキュラム見直しのため科目追加 (28)	
日本古典文学入門		1前	2							兼1	カリキュラム見直しのため科目追加 (28)	
中国古典小説		1後	2							兼1	カリキュラム見直しのため科目追加 (28)	
哲学者たちの智恵～人生を生きる～		1前	2							兼1	カリキュラム見直しのため科目追加 (28)	
物との関わり, 人との関わり		1後	2							兼1	カリキュラム見直しのため科目追加 (28)	
日本の古典文学を読む		1前	2							兼1	カリキュラム見直しのため科目追加 (28)	
現代倫理学入門		1後	2							兼1	カリキュラム見直しのため科目追加 (28)	
映像で読んで考えるアメリカの文学と歴史・社会		1後	2							兼1	カリキュラム見直しのため科目追加 (28)	
変体仮名入門		1後	2							兼1	カリキュラム見直しのため科目追加 (28)	
日本古代史入門—文学・美術の歴史学—		1前	2							兼1	カリキュラム見直しのため科目追加 (28)	
世界史のなかの中国		1前	2							兼1	カリキュラム見直しのため科目追加 (28)	
寺と社から学ぶ信濃の歴史		1前	2							兼1	カリキュラム見直しのため科目追加 (28)	
山国信州の風土とくらし (風土の中の衣食住)		1前	2							兼1	カリキュラム見直しのため科目追加 (28)	
韓国の文化 (食文化)		1前	2							兼1		
韓国の文化 (映画で学ぶ)		1前	2							兼1		
韓国の文化 (若者の世界)		1後	2							兼1		
韓国の文化 (メディア)		1後	2							兼1		
コラヌスの文化 I		1前	2							兼1	カリキュラム見直しのため科目追加 (28)	
コラヌスの文化 II		1後	2							兼1	カリキュラム見直しのため科目追加 (28)	
ドイツ語圏の文化 I		1前	2							兼1		
ドイツ語圏の文化 II		1後	2							兼1		
アフリカ文化論		1後	2							兼1		
中国の文化 (現代中国事情①)		1前	2							兼1	カリキュラム見直しのため科目追加 (28)	
中国の文化 (現代中国事情②)		1後	2							兼1	カリキュラム見直しのため科目追加 (28)	
ロシアの文化 (風土と歴史)		1前	2							兼1	カリキュラム見直しのため科目追加 (28)	
スペイン語圏の文化 (スペインの言語と風土)		1前	2							兼1	カリキュラム見直しのため科目追加 (28)	
スペイン語圏の文化 (ラテンアメリカの言語と文化)		1後	2							兼1	カリキュラム見直しのため科目追加 (28)	
科学論		1後	2							兼1	カリキュラム見直しのため科目追加 (28)	
明日を生きるための心理学 リスク社会と防災を学ぶ		1前	2							兼1	カリキュラム見直しのため科目追加 (28)	
人文科学群		ベンチャービジネス概論	1前	2							兼1	カリキュラム見直しのため科目追加 (28)
		キャリアとしての公務員	1後	2							兼1	カリキュラム見直しのため科目追加 (28)
		スポーツ考現学	1前後	2							兼1	
	スポーツ文化を考える	1後	2							兼1		
	新聞と私たちの社会 (信濃毎日新聞社寄附書籍講義)	1後	2							兼1	カリキュラム見直しのため科目変更 (28)	
	教を語る技術	1前	2							兼1		
	電子出版の現代	1前後	2							兼1		
	日本国憲法	1前後	2							兼1		
	世界経済の歩み	1前	2							兼1		
	ミクロ経済学入門	1後	2							兼5		
	マクロ経済学入門	1前	2							兼5		
	大学生が出会う経済・経営問題	1前	2							兼5		

社会科学群	公法入門	1後	2							兼1	
	法学入門	1前	2							兼1	
	大学生が会う法律問題	1前	2							兼10	
	現代政治分析	1前	2							兼1	
	Understanding Global Mindset	1前	2							兼1	
	ケースメソッド&クリティカル・シンキング	1後	2							カリキュラム見直しのため科目追加 (28)	
	国際理解と多文化共生を考える I	1前	2							カリキュラム見直しのため科目追加 (28)	
	国際理解と多文化共生を考える II	1後	2							カリキュラム見直しのため科目追加 (28)	
	国際教養A	1前後	2							兼2	
	国際教養B	1前後	2							兼2	
	臨床心理学	1前	2							兼1	
	経済指標の読み方	1後	2							兼1	
	メディア心理学	1後	2							兼1	
	ポジティブ心理学	1前	2							兼1	
	消費社会学入門	1前	2							兼1	
	コミュニティの社会心理学	1後	2							兼1	
	臨床心理学の基礎を学ぶ	1後	2							兼1	
	青年の海外ボランティア活動	1後	2							兼1	
	キャリア形成論Ⅰー本当の自分を理解するステップー	1前	2							兼2	
	キャリア形成論Ⅱー自分の将来像を探るステップー	1後	2							兼2	
	手話コミュニケーションと社会	1後	2							兼2	
	手話と社会	1前	2							兼2	
	地域活性化システム論	1前	2							兼1	
	法と政治の哲学	1前	2							兼1	
	戦後政策と憲法及び行政法	1後	2							兼1	
	政治とは何かー10代の君たちへー	1後	2							兼1	
	グローバルビジネス入門Ⅰ	1前	2							兼1	
	グローバルビジネス入門Ⅱ	1後	2							兼1	
	Global Mindset & Practical Approach	1前	2							兼1	
	障害と共生社会	1後	2							兼1	
	ジェンダー論	1前	2							兼1	
	Canadian Studies	1前	2							兼1	
	A Canadian View of Global Issues	1後	2							兼1	
	ヒューマンセクシュアリティ	1後	2							兼1	
	世界の国々は今グローバル社会を生きるためにーⅠ	1前	2							兼1	
	世界の国々は今グローバル社会を生きるためにーⅡ	1後	2							兼1	
	日中比較文化	1後	2							兼1	
	地域を探る	1前	2							兼1	
	家庭生活基礎A	1後	2							兼1	
	キャリアビジョンと男女共同参画：男女がともに輝く社会を考えよう	1前	2							兼1	
	自然科学群	数と形	1前	2							兼1
		伝えておきたい数学	1後	2							兼1
		素数の不思議	1前	2							兼1
		教養としての物理学	1前	2							兼1
		観測天文学入門	1後	2							兼1
		生活のなかの天文学	1前	2							兼1
		現代医療における物理学	1後	2							兼1
物理学の世界		1前	2							兼1	
Activity-Based Astronomyー現代天文学入門		1前	2							兼1	
時間と空間の物理学		1前	2							兼1	
応用化学～千夜一夜～		1前	2							兼1	
身近な化学		1前	2							兼2	
生活の中の高分子		1前	2							兼1	
基礎 分子遺伝学の世界		1後	2							兼1	
バイオリソースと生命科学		1後	2							兼1	
生態学入門		1後	2							兼1	
地域から学ぶ地球		1前	2							兼1	
教養としての物質科学		1後	2							兼1	
農環境保全学		1後	2							兼1	
ニューバイオテクノロジー入門		1後	2							兼1	
動物と私たちの暮らし		1前	2							兼1	
動物生命科学		1後	2							兼1	
食と植物の文化論		1前	2							兼1	
応用生物学への招待		1前	2							兼1	
ネットワーク社会における情報科学		1前後	2							兼1	
統計学の基礎		1前後	2							兼1	
検索の科学		1前後	2							兼1	
情報学入門 (コンピュータの構成, アルゴリズム)		1前	2							兼4	
情報学入門 (プログラミング, ネットワーク)		1後	2							兼4	
情報の利活用がもたらす社会イノベーション		1前	2							兼1	
心理学概論		1後	2							兼1	
脳不思議を探る (認知神経科学入門)		1前	2							兼1	
脳不思議をもっと探る (認知神経科学入門)		1後	2							兼1	
宇宙から原子への旅		1前	2							兼12	
国際看護学Ⅰ		1前	2							兼1	
看護倫理学		1前	2							兼1	
国際技術論		1後	2							兼1	
基礎心理学		1前	2							兼1	
スポーツ		ソフトボール	1前	1							兼1
		テニス	1前	1							兼1
		アダブテッドスポーツ	1前	1							兼1
		弓道	1前	1							兼1
		コオーディネーションエクササイズ	1前	1							兼1

体育・スポーツ群	剣道形の世界	1前	1							兼1	
	バドミントン	1前	1							兼1	
	コンディショニングバレー	1前	1							兼1	
	サッカー	1前後	1							兼1	
	バレーボール	1前	1							兼1	
	トレッキング	1前	1							兼1	
	ゴルフ	1前	1							兼1	
	スポーツフィッシング	1前	1							兼1	
	マリンスポーツ	1前	1							兼1	
	信大マラソン	1前	1							兼2	
	アウトドアの達人	1前	1							兼2	
	サバイバル活動	1前	1							兼1	
	スクーバダイビング	1前	1							兼1	
	レジャースポーツ	1前	1							兼1	
	スポーツボウリング	1後	1							兼1	
	ニュースポーツ	1後	1							兼1	
	アスレティックトレーニング	1後	1							兼1	
	バスケットボール	1後	1							兼1	
	ネイチャースキー	1後	1							兼2	
	スノー・スポーツ	1後	1							兼4	
	フライングディスク	1前	1							兼1	
	アウトドアマスターⅠ	1前	1							兼4	カリキュラム見直しのため科目追加 (28)
	アウトドアマスターⅡ	1前	1							兼4	カリキュラム見直しのため科目追加 (28)
	ゴルフマスターⅠ	1前	1							兼4	カリキュラム見直しのため科目追加 (28)
	ゴルフマスターⅡ	1前	1							兼4	カリキュラム見直しのため科目追加 (28)
英語	フレッシュマン・アカデミック・イングリッシュⅠ (上級)	1前	1							兼1	
	フレッシュマン・アカデミック・イングリッシュⅠ (中級)	1前	1							兼1	
	フレッシュマン・アカデミック・イングリッシュⅠ (初級)	1前	1							兼1	
	フレッシュマン・アカデミック・イングリッシュⅠ	2・3・4前	1							兼1	カリキュラム見直しのため科目追加 (28)
	フレッシュマン・アカデミック・イングリッシュⅡ (上級)	1後	1							兼1	
	フレッシュマン・アカデミック・イングリッシュⅡ (中級)	1後	1							兼1	
	フレッシュマン・アカデミック・イングリッシュⅡ (初級)	1後	1							兼1	
	フレッシュマン・アカデミック・イングリッシュⅡ	2・3・4後	1							兼1	カリキュラム見直しのため科目追加 (28)
	コミュニケーション・イングリッシュⅠ (上級)	1前	1							兼1	
	コミュニケーション・イングリッシュⅠ (中級)	1前	1							兼1	
	コミュニケーション・イングリッシュⅠ (初級)	1前	1							兼1	
	コミュニケーション・イングリッシュⅡ (上級)	1後	1							兼1	
	コミュニケーション・イングリッシュⅡ (中級)	1後	1							兼1	
	コミュニケーション・イングリッシュⅡ (初級)	1後	1							兼1	
	アカデミック・イングリッシュⅠ (上級)	2前	2							兼1	
	アカデミック・イングリッシュⅠ (中級)	2前	2							兼1	
	アカデミック・イングリッシュⅠ (初級)	2前	2							兼1	
	アカデミック・イングリッシュⅡ (上級)	2後	2							兼1	
	アカデミック・イングリッシュⅡ (中級)	2後	2							兼1	
	アカデミック・イングリッシュⅡ (初級)	2後	2							兼1	
	ドイツ語	ドイツ語初級 (総合) Ⅰ	1前	1							兼1
		ドイツ語初級 (総合) Ⅱ	1後	1							兼1
		ドイツ語初級 (文法) Ⅰ	1前	1							兼1
		ドイツ語初級 (文法) Ⅱ	1後	1							兼1
		ドイツ語初級 (読解・会話) Ⅰ	1前	1							兼1
ドイツ語初級 (読解・会話) Ⅱ		1後	1							兼1	
ドイツ語中級 (読解) Ⅰ		2前	2							兼1	カリキュラム見直しのため単位数変更 (28)
ドイツ語中級 (読解) Ⅱ		2後	2							兼1	カリキュラム見直しのため単位数変更 (28)
ドイツ語中級 (会話) Ⅰ		2前	2							兼1	カリキュラム見直しのため単位数変更 (28)
ドイツ語中級 (会話) Ⅱ	2後	2							兼1	カリキュラム見直しのため単位数変更 (28)	
フランス語	フランス語初級 (総合) Ⅰ	1前	1							兼1	
	フランス語初級 (総合) Ⅱ	1後	1							兼1	
	フランス語初級 (文法) Ⅰ	1前	1							兼1	
	フランス語初級 (文法) Ⅱ	1後	1							兼1	
	フランス語初級 (読解・会話) Ⅰ	1前	1							兼1	
	フランス語初級 (読解・会話) Ⅱ	1後	1							兼1	
	フランス語中級 (読解・会話) Ⅰ	2前	2							兼1	カリキュラム見直しのため単位数変更 (28)
	フランス語中級 (読解・会話) Ⅱ	2後	2							兼1	カリキュラム見直しのため単位数変更 (28)
中国語	中国語初級 (総合) Ⅰ	1前	1							兼1	
	中国語初級 (総合) Ⅱ	1後	1							兼1	
	中国語初級 (文法) Ⅰ	1前	1							兼1	
	中国語初級 (文法) Ⅱ	1後	1							兼1	
	中国語初級 (読解・会話) Ⅰ	1前	1							兼1	
	中国語初級 (読解・会話) Ⅱ	1後	1							兼1	
	中国語演習Ⅰ	2前	2							兼1	カリキュラム見直しのため単位数変更 (28)
	中国語演習Ⅱ	2後	2							兼1	カリキュラム見直しのため単位数変更 (28)
ハンダール	ハンダール初級 (総合) Ⅰ	1前	1							兼1	
	ハンダール初級 (総合) Ⅱ	1後	1							兼1	
	ハンダール初級 (文法) Ⅰ	1前	1							兼1	
	ハンダール初級 (文法) Ⅱ	1後	1							兼1	
	ハンダール初級 (読解・会話) Ⅰ	1前	1							兼1	

		博物館実習Ⅱ	2・3・4前後		1							兼1	
		博物館実習Ⅲ	2・3・4前後		1							兼1	
ア エ リ ン ジ ニ	科 目	電子情報システム概論	2前後	1								兼1	
		水環境・土木工学概論	2前後	1								兼7	
		機械システム概論	2前後	1								兼1	
		建築・デザイン概論	2前後	1								兼1	
学 科 共 通 科 目	必 修 科 目	応用数学Ⅰ	2前	2								兼1	
		応用数学Ⅱ	2後	2								兼1	
		物質化学入門	1後	2		6							
		物理化学Ⅰ	2前	2		1	1						
		物理化学Ⅱ	2後	2			1						
		有機化学Ⅰ	2前	2		1							
		有機化学Ⅱ	2後	2		1							
		無機化学Ⅰ	2前	2		1							
		無機化学Ⅱ	2後	2		1							
		分析化学	2前	2		1							
		生物化学	2後	2		1	1						
		化学工学	3前	2				1					
		高分子化学	3前	2									兼1
		コンピュータ化学演習	2前	1					1				
		機器分析	3前	2					1				
		物理化学実験	2前後	1		1	3						
		物理化学演習	2前	1		1	3						
		有機化学実験	3前後	1		2				1			
		有機化学演習	3前	1		1				1			
		無機化学実験	2前後	1		2	2						
		無機化学演習	3前	1		2	2			1			
		分析化学実験	2前後	1		1	1						
		分析化学演習	2前	1		1							
	生物化学実験	3前後	1		1	2			1				
	生物化学演習	2後	1		1				1				
	化学工学演習	3前	1				1						
	物質化学演習	4通	2		7	10			4				
	プレゼンテーション演習	4通	2		7	10			4				
	卒業研究	4通	10		7	10			4				
	選 択 科 目	物理学実験	2後		1								兼3
		化学英語	3後		2		1	2		1			
		電磁気学	2前		2								兼1
		確率・統計	2後		2								兼1
		統計熱力学	2後		2								兼1
		学外特別講義Ⅰ	2・3・4通		2			1					
		学外特別講義Ⅱ	2・3・4通		2			1					
		学外特別実習	2・3・4通		1			1					
		基礎物理学Ⅰ	2前			2							兼1
		基礎物理学Ⅱ	2後			2							兼1
		生物学実験	2・3・4前			1				1			
		地学実験	2・3・4前			1							兼1
		職業指導	2・3・4前			2							兼1
	分 野 専 門 科 目	（ 他 プ ロ グ ラ ム 別 の 必 修 科 目 は ★ ▲ ● 分 子 工 学 ・ 先 進 材 工 学 ・ バ イ オ ・ ブ ロ グ ラ ム ）	●無機材料化学	3前		2			1				
●電気化学			3後		2		1						
●無機材料物性			3後		2			1					
●▲量子化学			3前		2		1						
●▲光化学			3後		2		1						
●先進材料工学演習			3後		1		4	3		1			
▲有機立体化学			3前		2		1						
●▲コロイド・界面化学			3前		2				1				
▲有機構造解析			3後		2		1						
●▲触媒化学			3後		2				1				
▲有機合成化学			3後		2		1						
▲分子工学演習			3後		1		2	2					
★分子生物学			3前		2				1				
★生物有機化学			3前		2			1					
★遺伝子工学			3前		2				1				
★微生物工学			3後		2				1				
★反応工学			3後		2				1				
★生物化学工学			3後		2				1				
★酵素利用学			3後		2					1			
★バイオ・プロセス工学演習			3後		1			1	3		1		
		教職論	1前			2						兼5	
		教育学概論	1前			2						兼2	
		発達と教育	1前			2						兼2	
		発達障害の理解と支援	1後			1							兼1
		特別支援教育の理論	1後			1							兼1
障害の理解と支援	1前			2							兼1		

教職関係科目	教職に関する科目	発達心理学概論	1・2・3前		1							兼1			
		教育方法論	2前		1								兼2		
		特別活動の理論と実践	2前		1								兼2		
		道徳教育の理論と実践	2・3前		2								兼3		
		工業科指導法	2・3前		4								兼1		
		数学科指導法Ⅰ	2・3前		2								兼1		
		数学科指導法Ⅱ	2・3前		2								兼1		
		数学科指導法演習Ⅰ	2・3前		1								兼1		
		数学科指導法演習Ⅱ	2・3後		1								兼1		
		数学科指導法特論	2・3前		2								兼1		
		情報科指導法	2・3後		4								兼2		
		理科指導法Ⅰ	2前		2								兼1		
		理科指導法Ⅱ	2後		2								兼2		
		理科指導法特論	3通		4								兼2		
		工業科指導法基礎	3前		2								兼1	カリキュラム見直しのため科目廃止 (28)	
		工業科指導法	3後		2								兼1	カリキュラム見直しのため科目廃止 (28)	
		生徒指導・進路指導の理論と実践	2後		2								兼4	カリキュラム見直しのため科目廃止 (28)	
		教育相談の理論と実践	1後		2								兼2		
		教育相談特論	1・2・3前		2								兼1		
		教育実習事前・事後指導	4通		1								兼6		
		中等基礎教育実習	4通		4								兼6		
		高等学校教育実習	4通		2								兼6		
		教職実践演習(中・高)	4通		2		1						兼14		
		教育の思想と歴史	1・2・3前		2								兼4		
		学校教育の歴史と現状	1・2・3前		1								兼5		
		教育法学概論	1・2・3前		2								兼1		
		教育経営学概論	1・2・3後		2								兼1		
		教育行政学概論	1・2・3後		2								兼1		
		教育社会学概論	1・2・3後		2								兼1		
		教育課程の編成法	1・2・3後		1								兼2		
		メディアリテラシー概論(メディアと教育)	1+2+3前		2								兼1	カリキュラム見直しのため科目廃止 (28)	
		学校教育と情報	1・2・3前		2								兼1	カリキュラム見直しのため科目廃止 (28)	
		教育方法特論	2・3前		1								兼2		
		キャリア教育の理論と実践	1・2・3前		2								兼2		
		職教に科 目関又 する教	現代社会と子どもの学習	1後		2								兼6	
			介護等体験の意義と実際	2通		1								兼1	
			ノーマライゼーションとバリアフリー	1前		2								兼1	
			コミュニケーションの障害と学習 障害児早期療育論	1前		2								兼1	カリキュラム見直しのため科目廃止 (28)
		予教 科に 目関	職業指導	2・3・4前		2								兼1	学科共通科目に変更 (28)

- (注) ・ 設置計画書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
- ・ 設置時の授業科目全て(兼任、兼任教員が担当する科目を含む。)を黒字で記載してください。その上で、前年度報告時(平成28年度に設置された大学等は設置時)より変更されているものは赤字で見え消し修正し、「備考」に赤字で理由・変更年月等を記入してください。
 - ・ なお、昨年度の報告書において赤字で見え消しした部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
 - ・ 兼任、兼担の教員が担当する授業科目については、備考欄に担当する教員数を「兼〇」と記入してください。
 - ・ 授業科目を追加又は内容を変更する場合、専任教員が担当するため教員審査が必要なものについては、「専任教員採用等設置計画変更書」の審査予定年月等を「備考」に記入してください。(今後審査を受ける場合には、「平成〇年〇月 提出予定」と記入してください。)
 - ・ 「配当年次」について、設置計画時に開講時期を記入する必要がなかった学部等(平成19年度設置以前)についても、設置時の状況を黒字で記入してください。また、前年度報告時より修正があれば、赤字で見え消し修正をしてください。
 - ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても記入してください。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計	必修	選択	自由	計	
科目 40	科目 217	科目 60	科目 317	科目 40 [0]	科目 389 [172]	科目 59 [Δ1]	科目 488 [171]	

- (注) ・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[] 内に、設置時の計画からの増減を記入してください。(記入例：1科目減の場合：Δ1)
- ・ 資格に関する課程など、別課程としている授業科目については算入する必要はありません。

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由、代替措置の有無
	該当なし					

- (注) ・ 設置時の計画にあった授業科目が配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については、記入しないでください。
 - ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由、代替措置の有無
1	「時」について考えるゼミ	2	1後	一般	選択	カリキュラム見直しのため
2	グローバルに生きるゼミ	2	1前	一般	選択	カリキュラム見直しのため
3	日本語入門	2	1前	一般	選択	カリキュラム見直しのため
4	日本近代文学入門	2	1後	一般	選択	カリキュラム見直しのため
5	フランスの文化Ⅰ	2	1前	一般	選択	カリキュラム見直しのため
6	フランスの文化Ⅱ	2	1後	一般	選択	カリキュラム見直しのため
7	数と形	2	1前	一般	選択	カリキュラム見直しのため
8	伝えておきたい数学	2	1後	一般	選択	カリキュラム見直しのため
9	教養としての物質科学	2	1後	一般	選択	カリキュラム見直しのため
10	発達障害の理解と支援	1	1後	専門	自由	カリキュラム見直しのため
11	特別支援教育の理論	1	1後	専門	自由	カリキュラム見直しのため
12	工芸科指導法基礎	2	3前	専門	自由	カリキュラム見直しに伴い申請予定だった教職課程（高等学校一種（工芸））を廃止したため。
13	工芸科指導法	2	3後	専門	自由	カリキュラム見直しに伴い申請予定だった教職課程（高等学校一種（工芸））を廃止したため。
14	メディアリテラシー概論（メディアと教育）	2	1・2・3前	専門	自由	カリキュラム見直しのため

- (注) ・ 設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

<上記（４）廃止科目の「１～９」>

共通教育科目のカリキュラム見直しの結果、９科目が廃止となったが、181科目を追加し、より充実した内容で実施するため、学生の履修に支障はない。「2016共通教育履修案内」を配布して周知するとともに、ホームページに掲載した。

<上記（４）廃止科目の「１０～１４」>

教職科目についてカリキュラム見直しを行った結果、当初計画から５科目が廃止となったが、２科目を追加し、十分な数の自由科目が提供されており、学生の履修に支障はない。「12」及び「13」については、取得可能免許について入学試験前から周知を行っているため、影響はない。「平成28年度工学部学生便覧」を配布して周知した。

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目と廃止科目の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計}} = 0.04$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位までを記入してください。

3 施設・設備の整備状況、経費

区 分		内 容				備考		
(1) 校 地 等	区 分	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計			
	校舎敷地	m ²	m ²	m ²	m ²			
	運動場用地	m ²	m ²	m ²	m ²			
	小 計	m ²	m ²	m ²	m ²			
	そ の 他	m ²	m ²	m ²	m ²			
	合 計	m ²	m ²	m ²	m ²			
(2) 校 舎		専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計			
		m ² (m ²)	m ² (m ²)	m ² (m ²)	m ² (m ²)			
(3) 教 室 等		講 義 室	演 習 室	実験実習室	情報処理学習施設	語学学習施設		
		室	室	室	室 (補助職員 人)	室 (補助職員 人)		
(4) 専任教員研究室		新設学部等の名称			室 数			
					室			
(5) 図 書 ・ 設 備	新設学部等の 名称	図 書 〔うち外国書〕 冊	学術雑誌 〔うち外国書〕 種	電子ジャーナル 〔うち外国書〕	視聴覚資料 点	機 械 ・ 器 具 点	標 本 点	
	〇〇学部	[] ([])	[] ([])	[] ([])	()	()	()	
	計	[] ([])	[] ([])	[] ([])	()	()	()	
(6) 図 書 館		面 積	閱 覧 座 席 数	収 納 可 能 冊 数				
		m ²						
(7) 体 育 館		面 積	体育館以外のスポーツ施設の概要					
		m ²						
(8) 経費の見積り及び維持方法の概要	経費の見積り	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度
		教員1人当り研究費等	千円	千円	図書購入費	千円	千円	千円
	共同研究費等	千円	千円	設備購入費	千円	千円	千円	
	学生1人当り 納付金	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次	
		千円	千円	千円	千円	千円	千円	
		学生納付金以外の維持方法の概要						

- (注) ・ 設置時の計画を、設置計画書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はAC対象学部等の数値を記入してください。)
- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。
 - ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には平成28年5月1日現在の数値を記入してください。
 - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(28)」を「備考」に赤字で記入してください。
なお、昨年度の報告において赤字で見え消した部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
 - ・ 「事前伺い」により設置された学部等については、本項目を記載する必要はありません。

4 既設大学等の状況

大学の名称	信州大学								備考
既設学部等の名称	修業年限	入学員	編入学員	収容員	学位又は称号	平均入学定員超過率	開年度	所在地	
	年	人	年次人	人		倍			
人文学部									
人間情報学科	4	—	—	—	学士(文学)	—	平成7年度	長野県松本市旭3丁目1番1号	平成25年度より学生募集停止
文化コミュニケーション学科	4	—	—	—	〃	—	〃	〃	〃
人文学科	4	155	3年次 5	630	〃	1.05	平成25年度	〃	〃
教育学部									
学校教育教員養成課程	4	240	—	900	学士(教育学)	1.02	平成11年度	長野県長野市大字西長野6の口	
特別支援学校教員養成課程	4	—	—	—	〃	—	〃	〃	平成28年度より学生募集停止
生涯スポーツ課程	4	—	—	—	〃	—	〃	〃	〃
教育カウンセリング課程	4	—	—	—	〃	—	〃	〃	〃
経済学部									
経済学科	4	—	3年次 20	—	学士(経済学)	—	昭和53年度	長野県松本市旭3丁目1番1号	平成28年度より学生募集停止
経済システム法学科	4	—	3年次 10	—	〃	—	平成7年度	〃	〃
経法学部									
応用経済学科	4	100	—	100	学士(経済学)	1.07	平成28年度	長野県松本市旭3丁目1番1号	
総合法律学科	4	80	—	80	学士(法学)	1.17	〃	〃	〃
理学部									
数理・自然情報科学科	4	—	—	—	学士(理学)	—	平成7年度	長野県松本市旭3丁目1番1号	平成27年度より学生募集停止
物理科学科	4	—	—	—	〃	—	〃	〃	〃
化学科	4	—	—	—	〃	—	〃	〃	〃
地質科学科	4	—	—	—	〃	—	〃	〃	〃
生物科学科	4	—	—	—	〃	—	〃	〃	〃
物質循環学科 (各学科共通)	4	—	—	—	〃	—	〃	〃	〃
数学科	4	54	3年次 10	108	〃	1.04	平成27年度	〃	〃
理学科	4	151	—	302	〃	1.01	〃	〃	〃
医学部									
医学科	6	120	—	703	学士(医学)	0.99	昭和26年度	長野県松本市旭3丁目1番1号	
保健学科	4	143	3年次 17	606	学士(看護学) 学士(保健学)	1.02	平成15年度	〃	〃
看護学専攻	4	70	3年次 10	300	学士(看護学)	1.00	平成15年度	〃	〃
検査技術学専攻	4	37	3年次 3	154	学士(保健学)	1.00	平成15年度	〃	〃

理学療法専攻	4	18	3年次 ₂	76	学士(保健学)	1.10	平成15年度	長野県長野市若里4丁目17番1号	〃	
作業療法専攻	4	18	3年次 ₂	76	学士(保健学)	1.06	平成15年度		〃	
工学部										
機械システム工学科	4	—	3年次 ₃	—	学士(工学)	—	平成10年度	長野県長野市若里4丁目17番1号	〃	平成28年度より学生募集停止
電気電子工学科	4	—	3年次 ₃	—	〃	—	平成元年度		〃	〃
社会開発工学科	4	—	—	—	〃	—	〃		〃	平成20年度より学生募集停止
土木工学科	4	—	3年次 ₂	—	〃	—	平成20年度		〃	平成28年度より学生募集停止
建築学科	4	—	3年次 ₂	—	〃	—	〃		〃	〃
物質工学科	4	—	3年次 ₃	—	〃	—	平成10年度		〃	〃
情報工学科	4	—	3年次 ₅	—	〃	—	平成元年度		〃	〃
環境機能工学科	4	—	3年次 ₂	—	〃	—	平成10年度		〃	〃
物質化学科	4	95	—	95	学士(工学)	1.02	平成28年度		〃	
電気情報システム工学科	4	170	—	170	〃	1.04	〃		〃	
水環境・土木工学科	4	60	—	60	〃	1.06	〃		〃	
機械システム工学科	4	100	—	100	〃	1.09	〃		〃	
建築学科	4	60	—	60	〃	1.06	〃		〃	
農学部										
食料生産科学科	4	—	—	—	学士(農学)	—	平成9年度	長野県上伊那郡南箕輪村8304	〃	平成27年度より学生募集停止
森林科学科	4	—	—	—	〃	—	〃		〃	〃
応用生命科学科 (各学科共通)	4	—	3年次 ₁₀	—	〃	—	〃		〃	〃
農学生命科学科	4	170	—	340	〃	1.06	平成27年度		〃	
繊維学部										
先進繊維工学課程	4	—	3年次 ₁	—	学士(工学)	—	平成20年度	長野県上田市常田3丁目15番1号	〃	平成28年度より学生募集停止
感性工学課程	4	—	3年次 ₁	—	〃	—	〃		〃	〃
機能機械学課程	4	—	3年次 ₁	—	〃	—	〃		〃	〃
バイオエンジニアリング課程	4	—	3年次 ₁	—	〃	—	〃		〃	〃
応用化学課程	4	—	3年次 ₁	—	〃	—	〃		〃	〃
材料化学工学課程	4	—	3年次 ₁	—	〃	—	〃		〃	〃
機能高分子学課程	4	—	3年次 ₂	—	〃	—	〃		〃	〃
生物機能科学課程	4	—	3年次 ₁	—	〃	—	〃		〃	〃
生物資源・環境科学課程	4	—	3年次 ₁	—	学士(農学)	—	〃		〃	〃
先進繊維・感性工学科	4	65	—	65	学士(工学)	1.09	平成28年度		〃	
機械・ロボット学科	4	60	—	60	〃	1.03	〃		〃	
化学・材料学科	4	105	—	105	〃	1.01	〃		〃	
応用生物科学科	4	50	—	50	学士(農学)	1.00	〃		〃	

大学の名称	信州大学大学院								備考
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均定員超過率	開設年度	所在地	
	年	人	年次人	人		倍			
人文科学研究科									
地域文化専攻	2	5		10	修士(文学)	0.30	昭和57年度	長野県松本市旭3丁目1番1号	
言語文化専攻	2	5		10	"	1.40	"	"	
教育学研究科									
学校教育専攻	2	20		28	修士(教育学)	1.41	平成3年度	長野県長野市大学西長野6の口	平成28年度より学生募集停止
教科教育専攻	2	—		—	"	—	"	"	
高度教職実践専攻	2	20		20	教職修士(専門職)	1.05	平成28年度	"	
経済・社会政策科学研究科									
経済・社会政策科学専攻	2	6		12	修士(経済学)	0.91	平成元年度	長野県松本市旭3丁目1番1号	
イノベーション・マネジメント専攻	2	10		20	修士(マネジメント)	0.90	平成15年度	長野県長野市若里4丁目17番1号	
理工学系研究科									
数理・自然情報科学専攻	2	—		—	修士(理学)	—	平成24年度	長野県松本市旭3丁目1番1号	平成28年度より学生募集停止
物質基礎科学専攻	2	—		—	"	—	"	"	"
地球生物圏科学専攻	2	—		—	"	—	"	"	"
機械システム工学専攻	2	—		—	修士(工学)	—	"	長野県長野市若里4丁目17番1号	"
電気電子工学専攻	2	—		—	"	—	"	"	"
土木工学専攻	2	—		—	"	—	"	"	"
建築学専攻	2	—		—	"	—	"	"	"
物質工学専攻	2	—		—	"	—	"	"	"
情報工学専攻	2	—		—	"	—	"	"	"
環境機能工学専攻	2	—		—	"	—	"	"	"
繊維・感性工学専攻	2	—		—	"	—	"	長野県上田市常田3丁目15番1号	"
機械・ロボット学専攻	2	—		—	"	—	"	"	"
化学・材料専攻	2	—		—	"	—	"	"	"
応用生物科学専攻	2	—		—	修士(農学)	—	"	"	"
農学研究科									
食料生産科学専攻	2	—		—	修士(農学)	—	平成13年度	長野県上伊那郡南箕輪村8304	平成28年度より学生募集停止
森林科学専攻	2	—		—	"	—	平成4年度	"	"
応用生命科学専攻	2	—		—	"	—	平成13年度	"	"
機能性食料開発学専攻	2	—		—	"	—	"	"	"
総合理工学研究科									
理学専攻	2	75		75	修士(理学)	0.73	平成28年度	長野県松本市旭3丁目1番1号	
工学専攻	2	240		240	修士(工学)	1.00	"	長野県長野市若里4丁目17番1号	
繊維学専攻	2	160		160	修士(工学) 修士(農学)	1.18	"	長野県上田市常田3丁目15番1号	
農学専攻	2	65		65	修士(農学)	0.89	"	長野県上伊那郡南箕輪村8304	
生命医工学専攻	2	35		35	修士(医工学)	1.08	"	長野県松本市旭3丁目1番1号 長野県長野市若里4丁目17番1号 長野県上田市常田3丁目15番1号 長野県上伊那郡南箕輪村8304	

医学系研究科									
医科学専攻（修士課程）	2	12		24	修士(医科学)	1.08	平成14年度	長野県松本市旭3丁目1番1号	
保健学専攻（博士前期課程）	2	14		28	修士(看護学) 修士(保健学)	1.14	平成19年度	〃	
医学系専攻（博士課程）	4	40		160	博士(医学)	1.04	平成24年度	〃	
疾患予防医科学系専攻（博士課程）	4	8		32	〃	1.02	〃	〃	
医学系専攻（博士課程）	4	—		—	〃	—	平成15年度	〃	平成24年度より学生募集停止
臓器移植細胞工学医科学系専攻（博士課程）	4	—		—	〃	—	平成12年度	〃	〃
加齢適応医科学系専攻（博士課程）	4	—		—	〃	—	平成15年度	〃	〃
保健学専攻（博士後期課程）	3	4		12	博士(保健学)	1.33	平成21年度	〃	
総合工学系研究科									
生命機能・ファイバー工学専攻	3	15		45		0.75	平成17年度		
システム開発工学専攻	3	12		36	博士(学術)	1.02	〃	長野県松本市旭3丁目1番1号	
物質創成科学専攻	3	7		21	博士(理学)	0.71	〃	長野県長野市若里4丁目17番1号	
山岳地域環境科学専攻	3	8		24	博士(工学)	0.74	〃	長野県上田市常田3丁目15番1号	
生物・食料科学専攻	3	7		21	博士(農学)	1.09	〃	長野県上伊那郡南箕輪村8304	
法曹法務研究科									
法曹法務専攻	3	—		—	法務博士(専門職)	—	平成17年度	長野県松本市旭3丁目1番1号	平成27年度より学生募集停止

- (注) ・ 本調査の対象となっている大学等の設置者（国立大学法人）が設置している全ての大学（学部，学科）及び大学院（専攻）（AC対象学部等含む）について，それぞれの学校種ごとに，平成28年5月1日現在の上記項目の情報を記入してください。
- ・ 学部の学科または研究科の専攻等，「入学定員を定めている組織」ごとに記入してください。
 ※「入学定員を定めている組織ごと」には，課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めます。履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。
 - ※なお，課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は，法令上規定されている組織上の最小単位（大学であれば「学科」，短期大学であれば「専攻課程」）でも記載してください。
 - ・ 専攻科に係るものについては，記入する必要はありません。
 - ・ AC対象学部等についても必ず記入してください。
 - ・ 「平均入学定員超過率」には，標準修業年限に相当する期間における入学定員に対する入学者の割合の平均の小数点以下第2位まで（小数点以下第3位を切り捨て）を記入してください。
 - ・ 学生募集を停止している学部等がある場合，入学定員・収容定員・平均入学定員超過率は「—」とし，「備考」に「平成〇〇年より学生募集停止」と記入してください。

5 教員組織の状況

<工学部 物質化学科>

(1) 担当教員表

設置時の計画					変更状況					備考
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	

- (注) ・ 設置計画書の様式第3号(その2の1)に準じて作成してください。
 なお、当該設置に係る学部、学科等に所属しない教員であって、全学共通、学部共通などの授業科目を担当する教員組織に所属している場合は、〈〇〇学部 △△学科〉の箇所を「共通」とし、表を分けて作成してください。
- ・ 後任が決まっていない場合には、「後任未定」と記入してください。
 - ・ 辞任者は「備考」に退職年月、氏名、理由を記入してください。
 - ・ 年齢は、「**設置時の計画**」には当該学部等の就任時における満年齢を、「**変更状況**」には平成28年5月1日現在の満年齢を記入してください。
 - ・ 教員を学年進行中に変更した又は変更する予定の場合(「新規採用」、「担当授業科目の変更」又は「昇格」をいう。)は、変更後の状況を記入するとともに、その理由、後任者が決まっていない場合は、「変更状況」の「氏名」に「後任未定」と記入し、及び今後の採用計画を「備考」に記入してください。
 - ・ **意見伺いで設置された学部等の専任教員を変更する場合は**、当該専任教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し、大学設置・学校法人審議会による教員資格審査(AC教員審査)を受けてください。**AC教員審査を受けずに専任教員として授業等を担当することは出来ません。**
 - ・ 「専任教員採用等変更書(AC)」を提出し「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済」、変更書を提出予定の場合は「〇年〇月変更書提出予定」と記入してください。
 なお、設置審査時に教員審査省略となっている場合は、「備考」に「(教員審査省略)」及びその変更の理由、変更年度()書き等のみを記入してください。
 - ・ **「事前伺い」により設置された学部等については、本項目を記載する必要はありません。**

(2) 専任教員数等

(2) - ① 専任教員数

設置時の計画					現在（報告書提出時）の状況					現在（報告書提出時）の完成年度時の計画				
教授	准教授	講師	助教	計	教授	准教授	講師	助教	計 (A)	教授	准教授	講師	助教	計 (B)
7	10	0	4	21	7	10	0	4	21	7	10	0	4	21
(7)	(10)	(0)	(4)	(21)						[0]	[0]	[0]	[0]	[0]

- (注) ・「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、() 内に開設時の状況を記入してください。
 ・「現在（報告書提出時）の状況」には、報告書提出年度の5月1日の教員数（実人数）を記入してください。
 ・「現在（報告書提出時）の完成年度時の計画」には、報告書提出年度の5月1日現在、完成年度時に計画している教員数を記入するとともに、[] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：△1）

(2) - ② 年齢構成

年齢構成		
定年規定の定める定年年齢（歳）	報告書提出時（上記（A））の教員のうち、定年を延長して採用している教員数	完成年度時（上記（B））の教員うち、定年を延長して採用する教員数
65	0	0
歳	名	名

- (注) ・「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢（特例等による定年年齢ではありません）、および、平成28年5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数および完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。
 ・なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二段書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。

(3) 専任教員辞任等の理由

(3) - ① 専任教員の就任辞退（未就任）の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	就任辞退（未就任）の理由				
合計（A）					後任補充状況の集計（B）					
就任を辞退した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)			①の合計数 (a)		②の合計数 (b)		③の合計数 (c)	
人	必修	科目	必修	科目	必修	科目	必修	科目	必修	科目
	選択	科目	選択	科目	選択	科目	選択	科目	選択	科目
	自由	科目	自由	科目	自由	科目	自由	科目	自由	科目
	計	科目	計	科目	計	科目	計	科目	計	科目

- (注) ・ 設置時以降、就任を辞退した**全ての専任教員**の就任辞退の理由を具体的に記入してください。
 ・ 「就任辞退（未就任）」とは、設置時に就任予定としながら、実際には就任しなかった教員のことです。就任した後に辞任した教員は、以下「(3) - ②専任教員辞任の理由及び後任補充状況」に記入してください。
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに就任を辞退した場合、赤字にて記入するとともに、「就任辞退（未就任）の理由」に就任辞退の理由等および（ ）書きで報告年度を記入してください。
 ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」
 ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

・ 「事前伺い」により設置された学部等については、本項目を記載する必要はありません。

(3) - ② 専任教員辞任の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由				
合計（C）					後任補充状況の集計（D）					
辞任した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)			①の合計数 (a)		②の合計数 (b)		③の合計数 (c)	
人	必修	科目	必修	科目	必修	科目	必修	科目	必修	科目
	選択	科目	選択	科目	選択	科目	選択	科目	選択	科目
	自由	科目	自由	科目	自由	科目	自由	科目	自由	科目
	計	科目	計	科目	計	科目	計	科目	計	科目

- (注) ・ 一度就任した後に、辞任した**全ての専任教員**の辞任の理由を具体的に記入してください。
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等および（ ）書きで報告年度を記入してください。
 ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」
 ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

・ 「事前伺い」により設置された学部等については、本項目を記載する必要はありません。

上記 (3) - ① ・ (3) - ② の合計

合計（A）+（C）					後任補充状況の集計（B）+（D）					
辞任等した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)			①の合計数 (a)		②の合計数 (b)		③の合計数 (c)	
人	必修	科目	必修	科目	必修	科目	必修	科目	必修	科目
	選択	科目	選択	科目	選択	科目	選択	科目	選択	科目
	自由	科目	自由	科目	自由	科目	自由	科目	自由	科目
	計	科目	計	科目	計	科目	計	科目	計	科目

- (注) ・ 就任辞退（未就任）及び辞任した**全専任教員**について、教員数、担当科目数の合計、後任補充の状況を記入ください。
 ・ 「事前伺い」により設置された学部等については、本項目を記載する必要はありません。

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

--

(注) ・ 上記(3)の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください
・ 「事前伺い」により設置された学部等については、本項目を記載する必要はありません。

6 留意事項等に対する履行状況等

区 分	留 意 事 項 等		履 行 状 況	未履行事項について の実施計画
設 置 時 (〇〇年〇〇月)				
設置計画履行状況 調 査 時 (△△年2月)				
設置計画履行状況 調 査 時 (□□年2月)				
設置計画履行状況 調 査 時 (●●年2月)				

- (注) ・ 「設置時」には、当該大学等の設置時に付された留意事項と、それに対する履行状況等について、具体的に記入し、報告年度を()書きで付記してください。
- ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該設置計画履行状況調査の結果、付された意見に対する履行状況等について、具体的に記入するとともに、その履行状況等を裏付ける資料があれば、添付してください。
 - ・ 定員管理に係る留意事項への履行状況は、指摘を受けた学科等についてのみ記入してください。
 - ・ 該当がない場合には、「該当なし」と記入してください。
 - ・ 「事前伺い」により設置された学部等については、本項目を記載する必要はありません。

7 その他全般的事項

<工学部 物質化学科>

(1) 設置計画変更事項等

設置時の計画	変更内容・状況, 今後の見通しなど

- (注) ・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの（未実施を含む。）及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。
- ・ 設置時の「設置の趣旨等を記載した書類」の項目に沿って作成し、それ以外の事柄については適宜項目を設けてください。（記入例参照）
 - ・ 「事前伺い」により設置された学部等については、当該項目を記載する必要はありません。

(2) 教員の資質の維持向上の方策（FD活動含む）

<p>① 実施体制</p> <ul style="list-style-type: none">a 委員会の設置状況b 委員会の開催状況（教員の参加状況含む）c 委員会の審議事項等 <p>② 実施状況</p> <ul style="list-style-type: none">a 実施内容b 実施方法c 開催状況（教員の参加状況含む）d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況 <p>③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況</p> <ul style="list-style-type: none">a 実施の有無及び実施時期b 教員や学生への公開状況、方法等
--

- (注) ・ 「①a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。
- 「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。（記入例参照）
- ・ 「事前伺い」により設置された学部等については、本項目を記載する必要はありません。

(3) 自己点検・評価等に関する事項

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見
② 自己点検・評価報告書
a 公表（予定）時期
b 公表方法
③ 認証評価を受ける計画

- (注) ・ 設置時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。
また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。
なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。
・ 「事前伺い」により設置された学部等については、本項目を記載する必要はありません。

(4) 情報公表に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書	
a ホームページに公表の有無	(<input checked="" type="radio"/> 有 ・ 無)
b 公表時期（未公表の場合は予定時期）	(平成 2 8 年 6 月 1 日)

1 調査対象大学等の概要等

(1) 設置者

国立大学法人 信州大学

(2) 大学名

信州大学

(3) 大学の位置

〒380-8553 長野県長野市若里4丁目17番地1号
(本部：〒390-8621 長野県松本市旭3丁目1番1号)

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を()書きで記入してください。
・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

(4) 管理運営組織

職名	設置時	変更状況	備考
学長			
理事			
学部長			
学科長等			

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を()書きで記入してください。
(例) 平成26年度に報告済の内容 → (26)
平成28年度に報告する内容 → (28)
・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
・「事前伺い」により設置された学部等については、本項目を記載する必要はありません。

(5) 調査対象学部等の名称, 定員, 入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部の学科または研究科の専攻等, 定員を定めている組織ごとに記入してください (入試区分ごとではありません)。
 ・ なお, 課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は, 法令上規定されている最小単位 (大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」)でも記載してください。その場合適宜各項目の表を追加してください。
 ・ 様式は, 平成25年度開設の4年制の学科の場合 (平成28年度までの4年間) ですが, 開設年度・修業年限に合わせて作成してください。(修業年限が3年以下の場合には欄を削除し, 5年以上の場合には, 欄を設けてください。)

(5) - ① 調査対象学部等の名称, 定員

調査対象学部等の名称 (学位)	設置時の計画				備考
	修業年限	入学定員	編入学定員	收容定員	
工学部 電子情報システム工学科 学士 (工学)	4年	170人	3年次 7人	694人	

- (注) ・ 定員を変更した場合は, 「備考」に変更前的人数, 変更年月及び報告年度を () 書きで記入してください。
 ・ 学生募集停止を予定している場合は, 「備考」にその旨記載してください。

(5) - ② 調査対象学部等の入学者の状況

対象年度 区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		平成31年度		平均入学定員 超過率	備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期		
A 入学定員	170 (-) [若干人]								1.04倍	
志願者数	601 (-) [17]	- (-) [-]								
受験者数	495 (-) [14]	- (-) [-]								
合格者数	190 (-) [4]	- (-) [-]								
B 入学者数	178 (-) [4]	- (-) [-]								
入学定員超過率 B/A	1.04									

- (注) ・ 数字は, 平成28年5月1日現在の数字を記入してください。
 ・ () 内には, 編入学の状況について**外数**で記入してください。なお, 編入学を複数年次で行っている場合には, (())書きとするなどし, その旨を「備考」に付記してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 ・ []内には, 留学生の状況について**内数**で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 ・ 留学生については, 「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格 (いわゆる「留学ビザ」) により, 我が国の大学 (大学院を含む。), 短期大学, 高等専門学校, 専修学校 (専門課程) 及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 ・ 短期交換留学生など, 定員内に含めていない学生については記入しないでください。
 ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は, 春季入学とその他の学期 (春季入学以外の学期区分を設けている場合) に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は, その他の学期欄は「-」を記入してください。また, その他の学期に入学定員を設けている場合は, 備考欄にその人数を記入してください。
 ・ 「入学定員超過率」については, **各年度の春季入学とその他を合計した入学定員, 入学者数で算出**してください。なお, 計算の際は小数点以下第3位を切り捨て, 小数点以下第2位まで記入してください。
 ・ 「平均入学定員超過率」には, 開設年度から提出年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。なお, 計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。

(5) - ③ 調査対象学部等の在学者の状況

学 年	平成28年度		平成29年度		平成30年度		平成31年度		備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1年次	[4] (-) 178	[-] (-) -	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	
2年次	/		[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	
3年次			/		[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()
4年次	/				[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()
計			[4] (-) 178	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()

- (注) ・ 数字は、平成28年5月1日現在の数字を記入してください。
- ・ []内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 - ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 - ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
 - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 - ・ 「計」については、**各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数**を記入してください。
 - ・ ()内には、**留年者の状況について、内数**で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。

2 授業科目の概要

<工学部 電子情報システム工学科>

(1) 授業科目表

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数					専任教員等の配置					備考		
			必修	選択	自由	教	授	准教授	講師	助教	助手				
共通教育科目	教養科目	教養ゼミナール群	技術とエネルギーの入門ゼミ (技術・環境分野)	1後	2								兼4	カリキュラム見直しのため科目追加 (28)	
			環境問題を化学者と考えるゼミ	1後	2									兼1	
			生態資源論ゼミ	1前	2									兼1	
			地球白書ゼミ	1前	2									兼1	
			環境マインドを現場で体験するゼミ	1前	2									兼2	
			土壌学ゼミ	1前	2									兼1	カリキュラム見直しのため科目追加 (28)
			植物生態学ゼミ	1前	2									兼1	カリキュラム見直しのため科目追加 (28)
			環境マインドを現場で体験するゼミ (熱帯雨林)	1後	2									兼1	カリキュラム見直しのため科目追加 (28)
			芸術教養美術ゼミ	1前	2									兼1	カリキュラム見直しのため科目追加 (28)
			芸術教養音楽ゼミ	1後	2									兼1	カリキュラム見直しのため科目追加 (28)
			アジアの中の日本ゼミⅠ	1前	2									兼1	カリキュラム見直しのため科目追加 (28)
			アジアの中の日本ゼミⅡ	1後	2									兼1	カリキュラム見直しのため科目追加 (28)
			日本人のための英作文練習ゼミ	1前	2									兼1	カリキュラム見直しのため科目追加 (28)
			「時」について考えるゼミ	1後	2									兼1	カリキュラム見直しのため科目追加 (28)
			原書で読むシャーロック・ホームズゼミ	1前	2									兼1	
			現代ドイツの言語と日常ゼミ	1前	2									兼1	
			現代ドイツ事情ゼミ	1後	2									兼1	
			異文化研究ゼミ	1後	2									兼1	
			感覚で攻める英文法ゼミ～覚える英文法から感じる英文法へ	1前後	2									兼1	
			日本近現代史入門ゼミ	1後	2									兼1	カリキュラム見直しのため科目追加 (28)
			古文書で学ぶ近世ゼミ	1前	2									兼1	カリキュラム見直しのため科目追加 (28)
			フィールドワーク入門ゼミ	1前	2									兼1	カリキュラム見直しのため科目追加 (28)
			スポーツ・ホスピタリティゼミ 秋冬編(松本山雅FC連携ゼミ)	1後	2									兼1	
			スポーツ・ホスピタリティゼミ 春夏編(松本山雅FC連携ゼミ)	1前	2									兼1	
			スポーツ観戦文化論ゼミ	1前後	2									兼1	
			テレビのメディアリテラシー (テレビ信州参与ゼミ)	1前	2									兼1	
			大学改革への学生参加ゼミ	1後	2									兼1	カリキュラム見直しのため科目追加 (28)
			「考える」ゼミ	1前後	2									兼1	
			スペシャルオリンピックスで学ぼうゼミ	1前	2									兼4	カリキュラム見直しのため科目追加 (28)
			心理学思考法ゼミ	1後	2									兼1	カリキュラム見直しのため科目追加 (28)
			身体心理学ゼミ	1前	2									兼1	カリキュラム見直しのため科目追加 (28)
			環境心理学ゼミ	1前	2									兼1	カリキュラム見直しのため科目追加 (28)
			経済学の視点で考える企業行動ゼミ	1後	2									兼1	カリキュラム見直しのため科目追加 (28)
			地域ブランド実践ゼミ	1後	2									兼1	カリキュラム見直しのため科目追加 (28)
			企業経営ゼミ	1前	2									兼2	カリキュラム見直しのため科目追加 (28)
			化学計算入門ゼミ	1前後	2									兼1	
			ロボティクス入門ゼミ	1前後	2									兼1	カリキュラム見直しのため科目追加 (28)
			自然誌・博物学ゼミ	1前	2									兼1	カリキュラム見直しのため科目追加 (28)
			「物質化学の世界」ゼミ	1前	2									兼2	カリキュラム見直しのため科目追加 (28)
			ものづくり入門ゼミ	1後	2									兼2	カリキュラム見直しのため科目追加 (28)
			文系学生のための野外地質学ゼミ	1前	2									兼1	
			利己的遺伝子説から生物像を描くゼミ	1後	2									兼1	カリキュラム見直しのため科目追加 (28)
			統計図解ゼミ	1前後	2									兼1	
			アナログ再発見ゼミ	1前	2									兼1	
			情報社会論ゼミ	1前後	2									兼1	
			Web制作ゼミ	1前後	2									兼1	カリキュラム見直しのため科目追加 (28)
			新聞で広げる社会の見方ゼミ (信濃毎日新聞社寄付講義)	1後	2									兼1	カリキュラム見直しのため科目追加 (28)
			ネットワーク時代の古典を原著で読むゼミ	1後	2									兼1	カリキュラム見直しのため科目追加 (28)
			人工知能を知らうゼミ	1後	2									兼1	カリキュラム見直しのため科目追加 (28)
			電子出版を知らうゼミ	1前	2									兼1	カリキュラム見直しのため科目追加 (28)
			大学生基礎力ゼミ	1前	2									兼4	
			グローバルに生きるゼミ	1後	2									兼2	カリキュラム見直しのため科目追加 (28)
			新聞をつくらう！(タウン情報制作ゼミ)	1前	2									兼1	
スポーツ活動論ゼミⅠ	1前	2									兼1				
スポーツ活動論ゼミⅡ	1後	2									兼1				
ドイツ環境ゼミ	1後	2									兼1				
社会科学の方法ゼミ	1前	2									兼1				
自然活動論ゼミ	1前	2									兼1	カリキュラム見直しのため科目追加 (28)			
自然と人間を考えるゼミ	1後	2									兼1	カリキュラム見直しのため科目追加 (28)			
臨床検査を体験するゼミ	1後	2									兼1	カリキュラム見直しのため科目追加 (28)			
体と心のリハビリテーションを考えるゼミ	1前	2									兼1	カリキュラム見直しのため科目追加 (28)			
科学的な見方・考え方ゼミ	1前	2									兼1	カリキュラム見直しのため科目追加 (28)			
身体運動科学ゼミ	1前	2									兼1	カリキュラム見直しのため科目追加 (28)			
環境社会学入門	1前	2									兼1				
熱帯雨林と社会	1前	2									兼1				
Low Energy Building (省エネルギー住宅)	1後	2									兼1	カリキュラム見直しのため科目追加 (28)			
環境～その人文・社会科学的アプローチ	1後	2									兼5				
ライフサイクルアセスメント入門	1前後	2									兼1				
環境と生活とのかかわり	1前後	2									兼1				
環境政策の社会学	1後	2									兼1	カリキュラム見直しのため科目追加 (28)			
環境問題のしくみ	1前	2									兼1	カリキュラム見直しのため科目追加 (28)			
環境科学入門	1前	2									兼1	カリキュラム見直しのため科目追加 (28)			
グリーンテクノロジー	1前	2									兼3	カリキュラム見直しのため科目追加 (28)			

ア エ リ ン ジ ニ	物質化学概論	2前後	1																兼18			
	水環境・土木工学概論	2前後	1																兼7			
	機械システム概論	2前後	1																兼1			
	建築・デザイン概論	2前後	1																兼1			
学 科 共 通 科 目	必 修 科 目	基礎数学	1前	2																		
		電気物理	1前	2					1													
		基礎電気電子回路	1後	2					2													
		プログラミング言語 I	1後	2					3 1				4							教員配置見直しのため (28)		
		基礎論理回路	2前	2					2													
		電子情報基礎実験	2前	2				17	20				10									
		電子情報基礎数学	2前	2					3													
		卒業研究	4通	10				17	20				10									
	選 択 科 目	解析力学	2前		2				1													
		応用数学Ⅲ	2後		2				1													
		電子情報システム専門英語	3後		2		1					1										
		物理学実験	2・3・4前後		1		1	2														
		電子情報職業論	3前		2		1															
		学外特別講義 I	2・3・4通		2			1														
		学外特別講義 II	2・3・4通		2			1														
		学外特別実習 I	2・3・4通		2			1														
		学外特別実習 II	2・3・4通		2			1														
		生物学実験	2・3・4前			1														兼1		
		地学実験	2・3・4前			1														兼1		
		職業指導	2・3・4前			2														兼1	カリキュラム見直しのため学科共 通科目に変更 (28)	
分 野 専 門 科 目	（他 選 択 科 目 別 の 必 修 科 目 は ★▲● 情 報 通 信 電 子 シ ス テ ム テ レ ビ ム ム ム プ ロ グ ラ ム ラ ム	▲通信工学	3前		2		1															
		●電気磁気学 I	2前・3前		3		1	1														
		●電気磁気学 II	2後・3後		3		1															
		★▲プログラミング言語 II	2前		3			2				1										
		●電気回路 I	2前		3			1														
		▲応用数学 I	2前		2																兼1	
		▲応用数学 II	2前		2																兼1	
		●電気回路 II	2後		3							1										
		●電子回路 I	2後		3				1													
		▲確率・統計	2後		2																	兼1
		★コンピュータアーキテクチャ	2後		2				1													
		★▲信号処理	2後		2		1															
		★アルゴリズムとデータ構造	2後		2				1													
		★論理回路設計	2後		3				1													
		●電子回路 II	3前		3				1													
		●電気電子実験 I	3前		2		3	4				2										
		★コンピュータネットワーク	3前		2		1															
		★オペレーティングシステム	3前		3		1															
		★組込システム I	3前		3			1														
		●電気電子特別講義	3後		2		3	4				2										
		●電気電子実験 II	3後		2		3	4				2										
		▲情報通信実験 I	2後		2		2	2				1										
		▲情報理論	3前		2			1														
		▲情報通信実験 II	3前		2		2	2				1										
	★デザインプロジェクト I	3前		2			1															
	★デザインプロジェクト II	3後		2			1															
	▲デジタル通信システム	3後		2			1															
	▲数値計算	3前		3		1	1															
	▲★アルゴリズム基礎	2前		2			1															
	▲★情報数学	2後		2			1				1											
	▲★数理論理	3前		2		1																
	▲★画像処理	3前		3		1					1											
	▲★情報セキュリティ	3後		2		1																
	●電子物性	2前		2		1																
	●エレクトロニクス概論	2後		2		1																
	●エネルギー工学概論	2後		2		1																
	●電気電子材料	2後		2		1																
	●半導体工学 I	2後		2			1															
	●自動制御	3前		2			1															
	●電気機器 I	3前		2							1											
	●半導体工学 II	3前		2		1																
	●電力工学 I	3前		2		1																
●誘電体・磁性体工学	3前		2		1	2																
●電気法規	3前		2																	兼1		
●電気応用	3前		2		1																	
●▲電磁波工学	3前・4前		2		1																	
●電気電子計測	3後		2		1																	
●電気機器 II	3後		2		1																	
●パワーエレクトロニクス	3後		2							1												
●LSI工学	3後		2			1																

- なお、昨年度の報告書において赤字で見え消した部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
- ・ 兼任、兼担の教員が担当する授業科目については、備考欄に担当する教員数を「兼〇」と記入してください。
 - ・ 授業科目を追加又は内容を変更する場合で、専任教員が担当するため教員審査が必要なものについては、「専任教員採用等設置計画変更書」の審査予定年月等を「備考」に記入してください。（今後審査を受ける場合には、「平成〇年〇月 提出予定」と記入してください。）
 - ・ 「配当年次」について、設置計画時に開講時期を記入する必要がなかった学部等（平成19年度設置以前）についても、設置時の状況を黒字で記入してください。また、前年度報告時より修正があれば、赤字で見え消し修正をしてください。
 - ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても記入してください。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計	必修	選択	自由	計	
科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	
20	276	58	354	20	450	55	525	
				[0]	[174]	[Δ3]	[171]	

- (注) ・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[] 内に、設置時の計画からの増減を記入してください。(記入例：1科目減の場合：Δ1)
- ・ 資格に関する課程など、別課程としている授業科目については算入する必要はありません。

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由、代替措置の有無
	該当なし					

- (注) ・ 設置時の計画にあった授業科目が配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については、記入しないでください。
 - ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由、代替措置の有無
1	「時」について考えるゼミ	2	1後	一般	選択	カリキュラム見直しのため
2	グローバルに生きるゼミ	2	1前	一般	選択	カリキュラム見直しのため
3	日本学入門	2	1前	一般	選択	カリキュラム見直しのため
4	日本近代文学入門	2	1後	一般	選択	カリキュラム見直しのため
5	フランスの文化Ⅰ	2	1前	一般	選択	カリキュラム見直しのため
6	フランスの文化Ⅱ	2	1後	一般	選択	カリキュラム見直しのため
7	数と形	2	1前	一般	選択	カリキュラム見直しのため
8	伝えておきたい数学	2	1後	一般	選択	カリキュラム見直しのため
9	教養としての物質科学	2	1後	一般	選択	カリキュラム見直しのため
10	発達障害の理解と支援	1	1後	専門	自由	カリキュラム見直しのため
11	特別支援教育の理論	1	1後	専門	自由	カリキュラム見直しのため
12	工芸科指導法基礎	2	3前	専門	自由	カリキュラム見直しに伴い申請予定だった教職課程（高等学校一種（工芸））を廃止したため。
13	工芸科指導法	2	3後	専門	自由	カリキュラム見直しに伴い申請予定だった教職課程（高等学校一種（工芸））を廃止したため。
14	メディアリテラシー概論（メディアと教育）	2	1・2・3前	専門	自由	カリキュラム見直しのため

- (注) ・ 設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

<上記（４）廃止科目の「１～９」>

共通教育科目のカリキュラム見直しの結果、９科目が廃止となったが、183科目を追加し、より充実した内容で実施するため、学生の履修に支障はない。「2016共通教育履修案内」を配布して周知するとともに、ホームページに掲載した。

<上記（４）廃止科目の「１０～１４」>

教職科目についてカリキュラム見直しを行った結果、当初計画から５科目が廃止となったが、２科目を追加し、十分な数の自由科目が提供されており、学生の履修に支障はない。「12」及び「13」については、取得可能免許について入学試験前から周知を行っているため、影響はない。「平成28年度工学部学生便覧」を配布して周知した。

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目と廃止科目の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計}} = 0.03$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位までを記入してください。

3 施設・設備の整備状況、経費

区 分		内 容				備考		
(1) 校 地 等	区 分	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計			
	校舎敷地	m ²	m ²	m ²	m ²			
	運動場用地	m ²	m ²	m ²	m ²			
	小 計	m ²	m ²	m ²	m ²			
	そ の 他	m ²	m ²	m ²	m ²			
	合 計	m ²	m ²	m ²	m ²			
(2) 校 舎		専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計			
		m ² (m ²)	m ² (m ²)	m ² (m ²)	m ² (m ²)			
(3) 教 室 等		講 義 室	演 習 室	実験実習室	情報処理学習施設	語学学習施設		
		室	室	室	室 (補助職員 人)	室 (補助職員 人)		
(4) 専任教員研究室		新設学部等の名称			室 数			
					室			
(5) 図 書 ・ 設 備	新設学部等の 名称	図 書 〔うち外国書〕 冊	学術雑誌 〔うち外国書〕 種	電子ジャーナル 〔うち外国書〕	視聴覚資料 点	機 械 ・ 器 具 点	標 本 点	
	〇〇学部	[] ([])	[] ([])	[] ([])	()	()	()	
	計	[] ([])	[] ([])	[] ([])	()	()	()	
(6) 図 書 館		面 積	閱 覧 座 席 数	収 納 可 能 冊 数				
		m ²						
(7) 体 育 館		面 積	体 育 館 以 外 の ス ポ ー ツ 施 設 の 概 要					
		m ²						
(8) 経費の見積り及び維持方法の概要	経費の見積り	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度
		教員1人当り研究費等	千円	千円	図書購入費	千円	千円	千円
	共同研究費等	千円	千円	設備購入費	千円	千円	千円	
	学生1人当り 納付金	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次	
		千円	千円	千円	千円	千円	千円	
		学生納付金以外の維持方法の概要						

(注) ・ 設置時の計画を、設置計画書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はAC対象学部等の数値を記入してください。)

- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。
- ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には平成28年5月1日現在の数値を記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(28)」を「備考」に赤字で記入してください。
なお、昨年度の報告において赤字で見え消した部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
- ・ 「事前伺い」により設置された学部等については、本項目を記載する必要はありません。

4 既設大学等の状況

大学の名称	信州大学								備考
既設学部等の名称	修業年限	入学員	編入学員	収容員	学位又は称号	平均入学定員超過率	開年度	所在地	
	年	人	年次人	人		倍			
人文学部									
人間情報学科	4	—	—	—	学士(文学)	—	平成7年度	長野県松本市旭3丁目1番1号	平成25年度より学生募集停止
文化コミュニケーション学科	4	—	—	—	〃	—	〃	〃	〃
人文学科	4	155	3年次 5	630	〃	1.05	平成25年度	〃	〃
教育学部									
学校教育教員養成課程	4	240	—	900	学士(教育学)	1.02	平成11年度	長野県長野市大字西長野6の口	
特別支援学校教員養成課程	4	—	—	—	〃	—	〃	〃	平成28年度より学生募集停止
生涯スポーツ課程	4	—	—	—	〃	—	〃	〃	〃
教育カウンセリング課程	4	—	—	—	〃	—	〃	〃	〃
経済学部									
経済学科	4	—	3年次 20	—	学士(経済学)	—	昭和53年度	長野県松本市旭3丁目1番1号	平成28年度より学生募集停止
経済システム法学科	4	—	3年次 10	—	〃	—	平成7年度	〃	〃
経法学部									
応用経済学科	4	100	—	100	学士(経済学)	1.07	平成28年度	長野県松本市旭3丁目1番1号	
総合法律学科	4	80	—	80	学士(法学)	1.17	〃	〃	
理学部									
数理・自然情報科学科	4	—	—	—	学士(理学)	—	平成7年度	長野県松本市旭3丁目1番1号	平成27年度より学生募集停止
物理科学科	4	—	—	—	〃	—	〃	〃	〃
化学科	4	—	—	—	〃	—	〃	〃	〃
地質科学科	4	—	—	—	〃	—	〃	〃	〃
生物科学科	4	—	—	—	〃	—	〃	〃	〃
物質循環学科 (各学科共通)	4	—	—	—	〃	—	〃	〃	〃
数学科	4	54	3年次 10	108	〃	1.04	平成27年度	〃	〃
理学科	4	151	—	302	〃	1.01	〃	〃	〃
医学部									
医学科	6	120	—	703	学士(医学)	0.99	昭和26年度	長野県松本市旭3丁目1番1号	
保健学科	4	143	3年次 17	606	学士(看護学) 学士(保健学)	1.02	平成15年度	〃	〃
看護学専攻	4	70	3年次 10	300	学士(看護学)	1.00	平成15年度	〃	〃
検査技術学専攻	4	37	3年次 3	154	学士(保健学)	1.00	平成15年度	〃	〃

理学療法専攻	4	18	3年次 ₂	76	学士(保健学)	1.10	平成15年度	長野県長野市若里4丁目17番1号	〃	
作業療法専攻	4	18	3年次 ₂	76	学士(保健学)	1.06	平成15年度		〃	
工学部										
機械システム工学科	4	—	3年次 ₃	—	学士(工学)	—	平成10年度			平成28年度より学生募集停止
電気電子工学科	4	—	3年次 ₃	—	〃	—	平成元年度		〃	〃
社会開発工学科	4	—	—	—	〃	—	〃		〃	平成20年度より学生募集停止
土木工学科	4	—	3年次 ₂	—	〃	—	平成20年度		〃	平成28年度より学生募集停止
建築学科	4	—	3年次 ₂	—	〃	—	〃		〃	〃
物質工学科	4	—	3年次 ₃	—	〃	—	平成10年度		〃	〃
情報工学科	4	—	3年次 ₅	—	〃	—	平成元年度		〃	〃
環境機能工学科	4	—	3年次 ₂	—	〃	—	平成10年度		〃	〃
物質化学科	4	95	—	95	学士(工学)	1.02	平成28年度		〃	
電気情報システム工学科	4	170	—	170	〃	1.04	〃		〃	
水環境・土木工学科	4	60	—	60	〃	1.06	〃		〃	
機械システム工学科	4	100	—	100	〃	1.09	〃		〃	
建築学科	4	60	—	60	〃	1.06	〃		〃	
農学部										
食料生産科学科	4	—	—	—	学士(農学)	—	平成9年度	長野県上伊那郡南箕輪村8304		平成27年度より学生募集停止
森林科学科	4	—	—	—	〃	—	〃		〃	〃
応用生命科学科 (各学科共通)	4	—	3年次 ₁₀	—	〃	—	〃		〃	〃
農学生命科学科	4	170	—	340	〃	1.06	平成27年度		〃	
繊維学部										
先進繊維工学課程	4	—	3年次 ₁	—	学士(工学)	—	平成20年度	長野県上田市常田3丁目15番1号		平成28年度より学生募集停止
感性工学課程	4	—	3年次 ₁	—	〃	—	〃		〃	〃
機能機械学課程	4	—	3年次 ₁	—	〃	—	〃		〃	〃
バイオエンジニアリング課程	4	—	3年次 ₁	—	〃	—	〃		〃	〃
応用化学課程	4	—	3年次 ₁	—	〃	—	〃		〃	〃
材料化学工学課程	4	—	3年次 ₁	—	〃	—	〃		〃	〃
機能高分子学課程	4	—	3年次 ₂	—	〃	—	〃		〃	〃
生物機能科学課程	4	—	3年次 ₁	—	〃	—	〃		〃	〃
生物資源・環境科学課程	4	—	3年次 ₁	—	学士(農学)	—	〃		〃	〃
先進繊維・感性工学科	4	65	—	65	学士(工学)	1.09	平成28年度		〃	
機械・ロボット学科	4	60	—	60	〃	1.03	〃		〃	
化学・材料学科	4	105	—	105	〃	1.01	〃		〃	
応用生物科学科	4	50	—	50	学士(農学)	1.00	〃		〃	

大学の名称	信州大学大学院								備考
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均定員超過率	開設年度	所在地	
	年	人	年次人	人		倍			
人文科学研究科									
地域文化専攻	2	5		10	修士(文学)	0.30	昭和57年度	長野県松本市旭3丁目1番1号	
言語文化専攻	2	5		10	〃	1.40	〃	〃	
教育学研究科									
学校教育専攻	2	20		28	修士(教育学)	1.41	平成3年度	長野県長野市大学西長野6の口	平成28年度より学生募集停止
教科教育専攻	2	—		—	〃	—	〃	〃	
高度教職実践専攻	2	20		20	教職修士(専門職)	1.05	平成28年度	〃	
経済・社会政策科学研究科									
経済・社会政策科学専攻	2	6		12	修士(経済学)	0.91	平成元年度	長野県松本市旭3丁目1番1号	
イノベーション・マネジメント専攻	2	10		20	修士(マネジメント)	0.90	平成15年度	長野県長野市若里4丁目17番1号	
理工学系研究科									
数理・自然情報科学専攻	2	—		—	修士(理学)	—	平成24年度	長野県松本市旭3丁目1番1号	平成28年度より学生募集停止
物質基礎科学専攻	2	—		—	〃	—	〃	〃	〃
地球生物圏科学専攻	2	—		—	〃	—	〃	〃	〃
機械システム工学専攻	2	—		—	修士(工学)	—	〃	長野県長野市若里4丁目17番1号	〃
電気電子工学専攻	2	—		—	〃	—	〃	〃	〃
土木工学専攻	2	—		—	〃	—	〃	〃	〃
建築学専攻	2	—		—	〃	—	〃	〃	〃
物質工学専攻	2	—		—	〃	—	〃	〃	〃
情報工学専攻	2	—		—	〃	—	〃	〃	〃
環境機能工学専攻	2	—		—	〃	—	〃	〃	〃
繊維・感性工学専攻	2	—		—	〃	—	〃	長野県上田市常田3丁目15番1号	〃
機械・ロボット学専攻	2	—		—	〃	—	〃	〃	〃
化学・材料専攻	2	—		—	〃	—	〃	〃	〃
応用生物科学専攻	2	—		—	修士(農学)	—	〃	〃	〃
農学研究科									
食料生産科学専攻	2	—		—	修士(農学)	—	平成13年度	長野県上伊那郡南箕輪村8304	平成28年度より学生募集停止
森林科学専攻	2	—		—	〃	—	平成4年度	〃	〃
応用生命科学専攻	2	—		—	〃	—	平成13年度	〃	〃
機能性食料開発学専攻	2	—		—	〃	—	〃	〃	〃
総合理工学研究科									
理学専攻	2	75		75	修士(理学)	0.73	平成28年度	長野県松本市旭3丁目1番1号	
工学専攻	2	240		240	修士(工学)	1.00	〃	長野県長野市若里4丁目17番1号	
繊維学専攻	2	160		160	修士(工学) 修士(農学)	1.18	〃	長野県上田市常田3丁目15番1号	
農学専攻	2	65		65	修士(農学)	0.89	〃	長野県上伊那郡南箕輪村8304	
生命医工学専攻	2	35		35	修士(医工学)	1.08	〃	長野県松本市旭3丁目1番1号 長野県長野市若里4丁目17番1号 長野県上田市常田3丁目15番1号 長野県上伊那郡南箕輪村8304	

医学系研究科									
医科学専攻（修士課程）	2	12		24	修士(医科学)	1.08	平成14年度	長野県松本市旭3丁目1番1号	
保健学専攻（博士前期課程）	2	14		28	修士(看護学) 修士(保健学)	1.14	平成19年度	〃	
医学系専攻（博士課程）	4	40		160	博士(医学)	1.04	平成24年度	〃	
疾患予防医科学系専攻（博士課程）	4	8		32	〃	1.02	〃	〃	
医学系専攻（博士課程）	4	—		—	〃	—	平成15年度	〃	平成24年度より学生募集停止
臓器移植細胞工学医科学系専攻（博士課程）	4	—		—	〃	—	平成12年度	〃	〃
加齢適応医科学系専攻（博士課程）	4	—		—	〃	—	平成15年度	〃	〃
保健学専攻（博士後期課程）	3	4		12	博士(保健学)	1.33	平成21年度	〃	
総合工学系研究科									
生命機能・ファイバー工学専攻	3	15		45		0.75	平成17年度		
システム開発工学専攻	3	12		36	博士(学術)	1.02	〃	長野県松本市旭3丁目1番1号	
物質創成科学専攻	3	7		21	博士(理学)	0.71	〃	長野県長野市若里4丁目17番1号	
山岳地域環境科学専攻	3	8		24	博士(工学)	0.74	〃	長野県上田市常田3丁目15番1号	
生物・食料科学専攻	3	7		21	博士(農学)	1.09	〃	長野県上伊那郡南箕輪村8304	
法曹法務研究科									
法曹法務専攻	3	—		—	法務博士(専門職)	—	平成17年度	長野県松本市旭3丁目1番1号	平成27年度より学生募集停止

- (注) ・ 本調査の対象となっている大学等の設置者（国立大学法人）が設置している全ての大学（学部，学科）及び大学院（専攻）（AC対象学部等含む）について，それぞれの学校種ごとに，平成28年5月1日現在の上記項目の情報を記入してください。
- ・ 学部の学科または研究科の専攻等，「入学定員を定めている組織」ごとに記入してください。
 ※「入学定員を定めている組織ごと」には，課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めます。履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。
 ※なお，課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は，法令上規定されている組織上の最小単位（大学であれば「学科」，短期大学であれば「専攻課程」）でも記載してください。
 - ・ 専攻科に係るものについては，記入する必要はありません。
 - ・ AC対象学部等についても必ず記入してください。
 - ・ 「平均入学定員超過率」には，標準修業年限に相当する期間における入学定員に対する入学者の割合の平均の小数点以下第2位まで（小数点以下第3位を切り捨て）を記入してください。
 - ・ 学生募集を停止している学部等がある場合，入学定員・収容定員・平均入学定員超過率は「—」とし，「備考」に「平成〇〇年より学生募集停止」と記入してください。

5 教員組織の状況

<工学部 電子情報システム工学科>

(1) 担当教員表

設置時の計画					変更状況					備考
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	

- (注) ・ 設置計画書の様式第3号(その2の1)に準じて作成してください。
 なお、当該設置に係る学部、学科等に所属しない教員であって、全学共通、学部共通などの授業科目を担当する教員組織に所属している場合は、〈〇〇学部 △△学科〉の箇所を「共通」とし、表を分けて作成してください。
- ・ 後任が決まっていない場合には、「後任未定」と記入してください。
 - ・ 辞任者は「備考」に退職年月、氏名、理由を記入してください。
 - ・ 年齢は、「**設置時の計画**」には当該学部等の就任時における満年齢を、「**変更状況**」には平成28年5月1日現在の満年齢を記入してください。
 - ・ 教員を学年進行中に変更した又は変更する予定の場合(「新規採用」、「担当授業科目の変更」又は「昇格」をいう。)は、変更後の状況を記入するとともに、その理由、後任者が決まっていない場合は、「変更状況」の「氏名」に「後任未定」と記入し、及び今後の採用計画を「備考」に記入してください。
 - ・ **意見伺いで設置された学部等の専任教員を変更する場合は**、当該専任教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し、大学設置・学校法人審議会による教員資格審査(AC教員審査)を受けてください。**AC教員審査を受けずに専任教員として授業等を担当することは出来ません。**
 - ・ 「専任教員採用等変更書(AC)」を提出し「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済」、変更書を提出予定の場合は「〇年〇月変更書提出予定」と記入してください。
 なお、設置審査時に教員審査省略となっている場合は、「備考」に「(教員審査省略)」及びその変更の理由、変更年度()書き等のみを記入してください。
 - ・ **「事前伺い」により設置された学部等については、本項目を記載する必要はありません。**

(2) 専任教員数等

(2) - ① 専任教員数

設置時の計画					現在（報告書提出時）の状況					現在（報告書提出時）の完成年度時の計画				
教授	准教授	講師	助教	計	教授	准教授	講師	助教	計 (A)	教授	准教授	講師	助教	計 (B)
17	20	0	10	47	17	21	0	10	48	17	20	0	10	47
(17)	(21)	(0)	(10)	(48)						[0]	[0]	[0]	[0]	[0]

- (注) ・「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、() 内に開設時の状況を記入してください。
 ・「現在（報告書提出時）の状況」には、報告書提出年度の5月1日の教員数（実人数）を記入してください。
 ・「現在（報告書提出時）の完成年度時の計画」には、報告書提出年度の5月1日現在、完成年度時に計画している教員数を記入するとともに、[] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：△1）

(2) - ② 年齢構成

年齢構成		
定年規定の定める定年年齢（歳）	報告書提出時（上記（A））の教員のうち、定年を延長して採用している教員数	完成年度時（上記（B））の教員うち、定年を延長して採用する教員数
65	0	0
歳	名	名

- (注) ・「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢（特例等による定年年齢ではありません）、および、平成28年5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数および完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。
 ・なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二段書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。

(3) 専任教員辞任等の理由

(3) - ① 専任教員の就任辞退（未就任）の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	就任辞退（未就任）の理由				
合計 (A)					後任補充状況の集計 (B)					
就任を辞退した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)			①の合計数 (a)		②の合計数 (b)		③の合計数 (c)	
人	必修	科目	必修	科目	必修	科目	必修	科目	必修	科目
	選択	科目	選択	科目	選択	科目	選択	科目	選択	科目
	自由	科目	自由	科目	自由	科目	自由	科目	自由	科目
	計	科目	計	科目	計	科目	計	科目	計	科目

- (注) ・ 設置時以降、就任を辞退した**全ての専任教員**の就任辞退の理由を具体的に記入してください。
 ・ 「就任辞退（未就任）」とは、設置時に就任予定としながら、実際には就任しなかった教員のことです。就任した後に辞任した教員は、以下「(3) - ②専任教員辞任の理由及び後任補充状況」に記入してください。
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに就任を辞退した場合、赤字にて記入するとともに、「就任辞退（未就任）の理由」に就任辞退の理由等および（ ）書きで報告年度を記入してください。
 ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」
 ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

・ 「事前伺い」により設置された学部等については、本項目を記載する必要はありません。

(3) - ② 専任教員辞任の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由				
合計 (C)					後任補充状況の集計 (D)					
辞任した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)			①の合計数 (a)		②の合計数 (b)		③の合計数 (c)	
人	必修	科目	必修	科目	必修	科目	必修	科目	必修	科目
	選択	科目	選択	科目	選択	科目	選択	科目	選択	科目
	自由	科目	自由	科目	自由	科目	自由	科目	自由	科目
	計	科目	計	科目	計	科目	計	科目	計	科目

- (注) ・ 一度就任した後に、辞任した**全ての専任教員**の辞任の理由を具体的に記入してください。
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等および（ ）書きで報告年度を記入してください。
 ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」
 ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

・ 「事前伺い」により設置された学部等については、本項目を記載する必要はありません。

上記 (3) - ① ・ (3) - ② の合計

合計 (A) + (C)					後任補充状況の集計 (B) + (D)					
辞任等した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)			①の合計数 (a)		②の合計数 (b)		③の合計数 (c)	
人	必修	科目	必修	科目	必修	科目	必修	科目	必修	科目
	選択	科目	選択	科目	選択	科目	選択	科目	選択	科目
	自由	科目	自由	科目	自由	科目	自由	科目	自由	科目
	計	科目	計	科目	計	科目	計	科目	計	科目

- (注) ・ 就任辞退（未就任）及び辞任した**全専任教員**について、教員数、担当科目数の合計、後任補充の状況を記入ください。
 ・ 「事前伺い」により設置された学部等については、本項目を記載する必要はありません。

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

--

(注) ・ 上記(3)の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください
・ 「事前伺い」により設置された学部等については、本項目を記載する必要はありません。

6 留意事項等に対する履行状況等

区 分	留 意 事 項 等		履 行 状 況	未履行事項について の実施計画
設 置 時 (〇〇年〇〇月)				
設置計画履行状況 調 査 時 (△△年2月)				
設置計画履行状況 調 査 時 (□□年2月)				
設置計画履行状況 調 査 時 (●●年2月)				

- (注) ・ 「設置時」には、当該大学等の設置時に付された留意事項と、それに対する履行状況等について、具体的に記入し、報告年度を()書きで付記してください。
- ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該設置計画履行状況調査の結果、付された意見に対する履行状況等について、具体的に記入するとともに、その履行状況等を裏付ける資料があれば、添付してください。
 - ・ 定員管理に係る留意事項への履行状況は、指摘を受けた学科等についてのみ記入してください。
 - ・ 該当がない場合には、「該当なし」と記入してください。
 - ・ 「事前伺い」により設置された学部等については、本項目を記載する必要はありません。

7 その他全般的事項

<工学部 電子情報システム工学科>

(1) 設置計画変更事項等

設置時の計画	変更内容・状況, 今後の見通しなど

- (注) ・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの（未実施を含む。）及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。
- ・ 設置時の「設置の趣旨等を記載した書類」の項目に沿って作成し、それ以外の事柄については適宜項目を設けてください。（記入例参照）
 - ・ 「事前伺い」により設置された学部等については、当該項目を記載する必要はありません。

(2) 教員の資質の維持向上の方策（FD活動含む）

<p>① 実施体制</p> <ul style="list-style-type: none">a 委員会の設置状況b 委員会の開催状況（教員の参加状況含む）c 委員会の審議事項等 <p>② 実施状況</p> <ul style="list-style-type: none">a 実施内容b 実施方法c 開催状況（教員の参加状況含む）d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況 <p>③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況</p> <ul style="list-style-type: none">a 実施の有無及び実施時期b 教員や学生への公開状況、方法等
--

- (注) ・ 「①a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。
- 「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。（記入例参照）
- ・ 「事前伺い」により設置された学部等については、本項目を記載する必要はありません。

(3) 自己点検・評価等に関する事項

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見
② 自己点検・評価報告書
a 公表（予定）時期
b 公表方法
③ 認証評価を受ける計画

- (注) ・ 設置時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。
また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。
なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。
・ 「事前伺い」により設置された学部等については、本項目を記載する必要はありません。

(4) 情報公表に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書	
a ホームページに公表の有無	(<input checked="" type="radio"/> 有 ・ 無)
b 公表時期（未公表の場合は予定時期）	(平成 2 8 年 6 月 1 日)

1 調査対象大学等の概要等

(1) 設置者

国立大学法人 信州大学

(2) 大学名

信州大学

(3) 大学の位置

〒380-8553 長野県長野市若里4丁目17番地1号
(本部：〒390-8621 長野県松本市旭3丁目1番1号)

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を()書きで記入してください。
・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

(4) 管理運営組織

職名	設置時	変更状況	備考
学長			
理事			
学部長			
学科長等			

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を()書きで記入してください。
(例) 平成26年度に報告済の内容 → (26)
平成28年度に報告する内容 → (28)
・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
・「事前伺い」により設置された学部等については、本項目を記載する必要はありません。

(5) 調査対象学部等の名称, 定員, 入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部の学科または研究科の専攻等, 定員を定めている組織ごとに記入してください (入試区分ごとではありません)。
 ・ なお, 課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は, 法令上規定されている最小単位 (大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」)でも記載してください。その場合適宜各項目の表を追加してください。
 ・ 様式は, 平成25年度開設の4年制の学科の場合 (平成28年度までの4年間) ですが, 開設年度・修業年限に合わせて作成してください。(修業年限が3年以下の場合には欄を削除し, 5年以上の場合には, 欄を設けてください。)

(5) - ① 調査対象学部等の名称, 定員

調査対象学部等の名称 (学位)	設置時の計画				備考
	修業年限	入学定員	編入学定員	收容定員	
工学部 水環境・土木 工学科 学士 (工学)	4年	60人	3年次 3人	246人	

- (注) ・ 定員を変更した場合は, 「備考」に変更前的人数, 変更年月及び報告年度を () 書きで記入してください。
 ・ 学生募集停止を予定している場合は, 「備考」にその旨記載してください。

(5) - ② 調査対象学部等の入学者の状況

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		平成31年度		平均入学定員 超過率	備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期		
A 入学定員	60 (-) [若干人]								1.06倍	
志願者数	305 (-) [15]	- (-) [-]								
受験者数	298 (-) [14]	- (-) [-]								
合格者数	75 (-) [2]	- (-) [-]								
B 入学者数	64 (-) [1]	- (-) [-]								
入学定員超過率 B/A	1.06									

- (注) ・ 数字は, 平成28年5月1日現在の数字を記入してください。
 ・ () 内には, 編入学の状況について外数で記入してください。なお, 編入学を複数年次で行っている場合には, (())書きとするなどし, その旨を「備考」に付記してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 ・ []内には, 留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 ・ 留学生については, 「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格 (いわゆる「留学ビザ」) により, 我が国の大学 (大学院を含む。), 短期大学, 高等専門学校, 専修学校 (専門課程) 及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 ・ 短期交換留学生など, 定員内に含めていない学生については記入しないでください。
 ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は, 春季入学とその他の学期 (春季入学以外の学期区分を設けている場合) に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は, その他の学期欄は「-」を記入してください。また, その他の学期に入学定員を設けている場合は, 備考欄にその人数を記入してください。
 ・ 「入学定員超過率」については, 各年度の春季入学とその他を合計した入学定員, 入学者数で算出してください。なお, 計算の際は小数点以下第3位を切り捨て, 小数点以下第2位まで記入してください。
 ・ 「平均入学定員超過率」には, 開設年度から提出年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。なお, 計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。

(5) - ③ 調査対象学部等の在学者の状況

学 年	平成28年度		平成29年度		平成30年度		平成31年度		備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1年次	[1] (-) 64	[-] (-) -	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	
2年次	/		[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	
3年次			/		[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()
4年次	/				[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()
計			[1] (-) 64	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()

- (注) ・ 数字は、平成28年5月1日現在の数字を記入してください。
- ・ []内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 - ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 - ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
 - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 - ・ 「計」については、**各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数**を記入してください。
 - ・ ()内には、**留年者の状況について、内数**で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。

2 授業科目の概要

<工学部 水環境・土木工学科>

(1) 授業科目表

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数					専任教員等の配置					備考		
			必修	選択	自由	教	准教授	講師	助教	助手	手				
共通教育科目	教養科目	教養ゼミナール群	技術とエネルギーの入門ゼミ (技術・環境分野)	1後	2								兼4	カリキュラム見直しのため科目追加 (25)	
			環境問題を化学者と考えるゼミ	1後	2									兼1	
			生態資源論ゼミ	1前	2									兼1	
			地球白書ゼミ	1前	2									兼1	
			環境マインドを現場で体験するゼミ	1前	2									兼2	
			土壌学ゼミ	1前	2									兼1	カリキュラム見直しのため科目追加 (25)
			植物生態学ゼミ	1前	2									兼1	カリキュラム見直しのため科目追加 (25)
			環境マインドを現場で体験するゼミ (熱帯雨林)	1後	2									兼1	カリキュラム見直しのため科目追加 (25)
			芸術教養美術ゼミ	1前	2									兼1	カリキュラム見直しのため科目追加 (25)
			芸術教養音楽ゼミ	1後	2									兼1	カリキュラム見直しのため科目追加 (25)
			アジアの中の日本ゼミ I	1前	2									兼1	カリキュラム見直しのため科目追加 (25)
			アジアの中の日本ゼミ II	1後	2									兼1	カリキュラム見直しのため科目追加 (25)
			日本人のための英作文練習ゼミ	1前	2									兼1	カリキュラム見直しのため科目追加 (25)
			「時」について考えるゼミ	1後	2									兼1	カリキュラム見直しのため科目追加 (25)
			原書で読むシャーロック・ホームズゼミ	1前	2									兼1	
			現代ドイツの言語と日常ゼミ	1前	2									兼1	
			現代ドイツ事情ゼミ	1後	2									兼1	
			異文化研究ゼミ	1後	2									兼1	
			感覚で攻める英文法ゼミ～覚える英文法から感じる英文法へ	1前後	2									兼1	
			日本近代史入門ゼミ	1後	2									兼1	カリキュラム見直しのため科目追加 (25)
			古文書で学ぶ近世ゼミ	1前	2									兼1	カリキュラム見直しのため科目追加 (25)
			フィールドワーク入門ゼミ	1前	2									兼1	カリキュラム見直しのため科目追加 (25)
			スポーツ・ホスピタリティゼミ 秋冬編 (松本山雅FC連携ゼミ)	1後	2									兼1	
			スポーツ・ホスピタリティゼミ 春夏編 (松本山雅FC連携ゼミ)	1前	2									兼1	
			スポーツ観戦文化論ゼミ	1前後	2									兼1	
			テレビのメディアリテラシー (テレビ信州参与ゼミ)	1前	2									兼1	
			大学改革への学生参加ゼミ	1後	2									兼1	カリキュラム見直しのため科目追加 (25)
			「考える」ゼミ	1前後	2									兼1	
			スペシャルオリンピックスで学ぼうゼミ	1前	2									兼4	カリキュラム見直しのため科目追加 (25)
			心理学思考法ゼミ	1後	2									兼1	カリキュラム見直しのため科目追加 (25)
			身体心理学ゼミ	1前	2									兼1	カリキュラム見直しのため科目追加 (25)
			環境心理学ゼミ	1前	2									兼1	カリキュラム見直しのため科目追加 (25)
			経済学の視点で考える企業行動ゼミ	1後	2									兼1	カリキュラム見直しのため科目追加 (25)
			地域ブランド実践ゼミ	1後	2									兼1	カリキュラム見直しのため科目追加 (25)
			企業経営ゼミ	1前	2									兼2	カリキュラム見直しのため科目追加 (25)
			化学計算入門ゼミ	1前後	2									兼1	
			ロボティクス入門ゼミ	1前後	2									兼1	カリキュラム見直しのため科目追加 (25)
			自然誌・博物学ゼミ	1前	2									兼1	カリキュラム見直しのため科目追加 (25)
			「物質化学の世界」ゼミ	1前	2									兼2	カリキュラム見直しのため科目追加 (25)
			ものづくり入門ゼミ	1後	2									兼2	カリキュラム見直しのため科目追加 (25)
			文系学生のための野外地質学ゼミ	1前	2									兼1	
			利己的遺伝子説から生物像を描くゼミ	1後	2									兼1	カリキュラム見直しのため科目追加 (25)
			統計図解ゼミ	1前後	2									兼1	
			アナログ再発見ゼミ	1前	2									兼1	
			情報社会論ゼミ	1前後	2									兼1	
			Web制作ゼミ	1前後	2									兼1	カリキュラム見直しのため科目追加 (25)
			新聞で広げる社会の見方ゼミ (信濃毎日新聞社寄付講座)	1後	2									兼1	カリキュラム見直しのため科目追加 (25)
			ネットワーク時代の古典を原著で読むゼミ	1後	2									兼1	カリキュラム見直しのため科目追加 (25)
			人工知能を知ろうゼミ	1後	2									兼1	カリキュラム見直しのため科目追加 (25)
			電子出版を知ろうゼミ	1前	2									兼1	カリキュラム見直しのため科目追加 (25)
			大学生基礎力ゼミ	1前	2									兼4	
			ゼロ～254に生きるゼミ	1前	2									兼2	カリキュラム見直しのため科目追加 (25)
			新聞をつくらう! (タウン情報制作ゼミ)	1前	2									兼1	
			スポーツ活動論ゼミ I	1前	2									兼1	
			スポーツ活動論ゼミ II	1後	2									兼1	
			ドイツ環境ゼミ	1後	2									兼1	
社会科学の方法ゼミ	1前	2									兼1				
自然活動論ゼミ	1前	2									兼1	カリキュラム見直しのため科目追加 (25)			
自然と人間を考えるゼミ	1後	2									兼1	カリキュラム見直しのため科目追加 (25)			
臨床検査を体験するゼミ	1後	2									兼1	カリキュラム見直しのため科目追加 (25)			
体と心のリハビリテーションを考えるゼミ	1前	2									兼1	カリキュラム見直しのため科目追加 (25)			
科学的な見方・考え方ゼミ	1前	2									兼1	カリキュラム見直しのため科目追加 (25)			
身体運動科学ゼミ	1前	2									兼1	カリキュラム見直しのため科目追加 (25)			
環境社会学入門	1前	2									兼1				
熱帯雨林と社会	1前	2									兼1				
Low Energy Building (省エネルギー住宅)	1後	2									兼1	カリキュラム見直しのため科目追加 (25)			
環境～その人文・社会科学的アプローチ	1後	2									兼5				
ライフサイクルアセスメント入門	1前後	2									兼1				
環境と生活とのかかわり	1前後	2									兼1				
環境政策の社会学	1後	2									兼1	カリキュラム見直しのため科目追加 (25)			
環境問題のしくみ	1前	2									兼1	カリキュラム見直しのため科目追加 (25)			

環境科学群	環境科学入門	1前	2						兼1	カリキュラム見直しのため科目追加 (28)	
	グリーンテクノロジー	1前	2						兼3	カリキュラム見直しのため科目追加 (28)	
	環境配慮素材と自然エネルギー	1前	2						兼4	カリキュラム見直しのため科目追加 (28)	
	エコ水車の開発と地域バイオマス利用	1前	2						兼2	カリキュラム見直しのため科目追加 (28)	
	地球環境の歴史	1前	2						兼1		
	循環型社会入門	1前	2						兼1	カリキュラム見直しのため科目追加 (28)	
	環境とエネルギー	1後	2						兼1	カリキュラム見直しのため科目追加 (28)	
	ネイチャーライティングのすすめ (環境文学Ⅰ)	1前	2						兼1		
	環境文学のすすめ (環境文学Ⅱ)	1後	2						兼1		
	自然環境と文化	1後	2						兼1		
	環境管理会計	1後	2						兼1	カリキュラム見直しのため科目追加 (28)	
	材料の科学と技術(基礎編)	1前	2						兼1	カリキュラム見直しのため科目追加 (28)	
	材料の科学と技術(先端編)	1後	2						兼1	カリキュラム見直しのため科目追加 (28)	
	生物と環境	1後	2						兼1		
	NHKビデオで学ぶ地球環境の歴史	1前	2						兼1	カリキュラム見直しのため科目追加 (28)	
	自然災害と環境	1前	2						兼1		
	ナノテクと環境	1後	2						兼1	カリキュラム見直しのため科目追加 (28)	
	人とすまい	1前	2						兼3	カリキュラム見直しのため科目追加 (28)	
	水の環境科学	1後	2						兼1	カリキュラム見直しのため科目追加 (28)	
	森林サイエンス	1前	2						兼1	カリキュラム見直しのため科目追加 (28)	
	農山村と環境	1前	2						兼1	カリキュラム見直しのため科目追加 (28)	
	環境と緑の文化	1後	2						兼1	カリキュラム見直しのため科目追加 (28)	
	生活の中の科学	1後	2						兼1		
	環境法入門	1後	2						兼1		
	人文科学群	言語教育の観点から学ぶ人間と世界	1後	2						兼1	カリキュラム見直しのため科目追加 (28)
		Englishes in the World (国際語としての英語)	1前	2						兼1	カリキュラム見直しのため科目追加 (28)
		日本学入門	4前	2						兼1	カリキュラム見直しのため科目追加 (28)
		日本近代文学入門	1後	2						兼1	カリキュラム見直しのため科目追加 (28)
映像・人類学		1前	2						兼1		
Top Level English (トップレベルイングリッシュ)		1前後	2						兼2		
「田園環境健康都市須賀」を「共創」(須賀市寄付書籍講義)		1後	2						兼1	カリキュラム見直しのため科目名変更 (28)	
映画史入門		1前	2						兼1	カリキュラム見直しのため科目追加 (28)	
身体表現レクチャー&ワークショップ		1前	2						兼1	カリキュラム見直しのため科目追加 (28)	
近現代のアジアと日本		1後	2						兼1	カリキュラム見直しのため科目追加 (28)	
絶対王政期フランスの制度と社会		1前	2						兼1	カリキュラム見直しのため科目追加 (28)	
世界の音楽		1後	2						兼1	カリキュラム見直しのため科目追加 (28)	
方言からみた日本語		1後	2						兼1	カリキュラム見直しのため科目追加 (28)	
日本語教育学入門		1後	2						兼1	カリキュラム見直しのため科目追加 (28)	
「心の哲学」入門		1後	2						兼1	カリキュラム見直しのため科目追加 (28)	
江戸時代の本屋さんと本		1後	2						兼1	カリキュラム見直しのため科目追加 (28)	
英語基礎Ⅰ (たてなおしの英語Ⅰ)		1前	2						兼1	カリキュラム見直しのため科目追加 (28)	
英語基礎Ⅱ (たてなおしの英語Ⅱ)		1後	2						兼1	カリキュラム見直しのため科目追加 (28)	
自己発見の方法		1後	2						兼1	カリキュラム見直しのため科目追加 (28)	
日本古典文学入門		1前	2						兼1	カリキュラム見直しのため科目追加 (28)	
中国古典小説		1後	2						兼1	カリキュラム見直しのため科目追加 (28)	
哲学者たちの智慧～人生を生きる～		1前	2						兼1	カリキュラム見直しのため科目追加 (28)	
物との関わり、人との関わり		1後	2						兼1	カリキュラム見直しのため科目追加 (28)	
日本の古典文学を読む		1前	2						兼1	カリキュラム見直しのため科目追加 (28)	
現代倫理学入門		1後	2						兼1	カリキュラム見直しのため科目追加 (28)	
映像で見て読んで考えるアメリカの文学と歴史・社会		1後	2						兼1	カリキュラム見直しのため科目追加 (28)	
変体仮名入門		1後	2						兼1	カリキュラム見直しのため科目追加 (28)	
日本古代史入門—文学・美術の歴史学—		1前	2						兼1	カリキュラム見直しのため科目追加 (28)	
世界史のなかの中国		1前	2						兼1	カリキュラム見直しのため科目追加 (28)	
寺と社から学ぶ信濃の歴史		1前	2						兼1	カリキュラム見直しのため科目追加 (28)	
山国信州の風土とくらし (風土の中の衣食住)		1前	2						兼1	カリキュラム見直しのため科目追加 (28)	
韓国の文化 (食文化)		1前	2						兼1		
韓国の文化 (映画で学ぶ)		1前	2						兼1		
韓国の文化 (若者の世界)		1後	2						兼1		
韓国の文化 (メディア)		1後	2						兼1		
フランスの文化Ⅰ		4前	2						兼1	カリキュラム見直しのため科目追加 (28)	
フランスの文化Ⅱ		4後	2						兼1	カリキュラム見直しのため科目追加 (28)	
ドイツ語圏の文化Ⅰ		1前	2						兼1		
ドイツ語圏の文化Ⅱ		1後	2						兼1		
アフリカ文化論		1後	2						兼1		
中国の文化 (現代中国事情①)		1前	2						兼1	カリキュラム見直しのため科目追加 (28)	
中国の文化 (現代中国事情②)		1後	2						兼1	カリキュラム見直しのため科目追加 (28)	
ロシアの文化 (風土と歴史)		1前	2						兼1	カリキュラム見直しのため科目追加 (28)	
スペイン語圏の文化 (スペインの言語と風土)		1前	2						兼1	カリキュラム見直しのため科目追加 (28)	
スペイン語圏の文化 (ラテンアメリカの言語と文化)		1後	2						兼1	カリキュラム見直しのため科目追加 (28)	
科学論		1後	2						兼1	カリキュラム見直しのため科目追加 (28)	
明日を生きるための心理学 リスク社会と防災を学ぶ		1前	2						兼1	カリキュラム見直しのため科目追加 (28)	
ベンチャービジネス概論		1前	2						兼1	カリキュラム見直しのため科目追加 (28)	
キャリアとしての公務員		1後	2						兼1	カリキュラム見直しのため科目追加 (28)	
スポーツ考現学		1前後	2						兼1		
スポーツ文化を考える		1後	2						兼1		
新聞と私たちの社会 (信濃毎日新聞社寄付書籍講義)		1後	2						兼1	カリキュラム見直しのため科目名変更 (28)	
教を読む技術	1前	2						兼1			
電子出版の現代	1前後	2						兼1			
日本国憲法	1前後	2						兼1			
世界経済の歩み	1前	2						兼1			
ミクロ経済学入門	1後	2						兼5			
マクロ経済学入門	1前	2						兼5			
大学生が会える経済・経営問題	1前	2						兼5			
公法入門	1後	2						兼1			

社会科学群	法学入門	1前	2							兼1		
	大学生が会おう法律問題	1前	2							兼10		
	現代政治分析	1前	2							兼1		
	Understanding Global Mindset	1前	2							兼1	カリキュラム見直しのため科目追加 (2)	
	ケースメソッド&クリティカル・シンキング	1後	2							兼1	カリキュラム見直しのため科目追加 (2)	
	国際理解と多文化共生を考える I	1前	2							兼1	カリキュラム見直しのため科目追加 (2)	
	国際理解と多文化共生を考える II	1後	2							兼1	カリキュラム見直しのため科目追加 (2)	
	国際教養A	1前後	2							兼2	カリキュラム見直しのため科目追加 (2)	
	国際教養B	1前後	2							兼2	カリキュラム見直しのため科目追加 (2)	
	臨床心理学	1前	2							兼1	カリキュラム見直しのため科目追加 (2)	
	経済指標の読み方	1後	2							兼1	カリキュラム見直しのため科目追加 (2)	
	メディア心理学	1後	2							兼1	カリキュラム見直しのため科目追加 (2)	
	ポジティブ心理学	1前	2							兼1	カリキュラム見直しのため科目追加 (2)	
	消費社会学入門	1前	2							兼1	カリキュラム見直しのため科目追加 (2)	
	コミュニティの社会心理学	1後	2							兼1	カリキュラム見直しのため科目追加 (2)	
	臨床心理学の基礎を学ぶ	1後	2							兼1	カリキュラム見直しのため科目追加 (2)	
	青年の海外ボランティア活動	1後	2							兼1	カリキュラム見直しのため科目追加 (2)	
	キャリア形成論Ⅰー本当の自分を理解するステップー	1前	2							兼2	カリキュラム見直しのため科目追加 (2)	
	キャリア形成論Ⅱー自分の将来像を探るステップー	1後	2							兼2	カリキュラム見直しのため科目追加 (2)	
	手話コミュニケーションと社会	1後	2							兼2	カリキュラム見直しのため科目追加 (2)	
	手話と社会	1前	2							兼2	カリキュラム見直しのため科目追加 (2)	
	地域活性化システム論	1前	2							兼1	カリキュラム見直しのため科目追加 (2)	
	法と政治の哲学	1前	2							兼1	カリキュラム見直しのため科目追加 (2)	
	戦後政策と憲法及び行政法	1後	2							兼1	カリキュラム見直しのため科目追加 (2)	
	政治とは何かー10代の君たちへー	1後	2							兼1	カリキュラム見直しのため科目追加 (2)	
	グローバルビジネス入門Ⅰ	1前	2							兼1	カリキュラム見直しのため科目追加 (2)	
	グローバルビジネス入門Ⅱ	1後	2							兼1	カリキュラム見直しのため科目追加 (2)	
	Global Mindset & Practical Approach	1前	2							兼1	カリキュラム見直しのため科目追加 (2)	
	障害と共生社会	1後	2							兼1	カリキュラム見直しのため科目追加 (2)	
	ジェンダー論	1前	2							兼1	カリキュラム見直しのため科目追加 (2)	
	Canadian Studies	1前	2							兼1	カリキュラム見直しのため科目追加 (2)	
	A Canadian View of Global Issues	1後	2							兼1	カリキュラム見直しのため科目追加 (2)	
	ヒューマンセクシュアリティ	1後	2							兼1	カリキュラム見直しのため科目追加 (2)	
	世界の国々は今ーグローバル社会を生きるためにーⅠ	1前	2							兼1	カリキュラム見直しのため科目追加 (2)	
	世界の国々は今ーグローバル社会を生きるためにーⅡ	1後	2							兼1	カリキュラム見直しのため科目追加 (2)	
	日中比較文化	1後	2							兼1	カリキュラム見直しのため科目追加 (2)	
	地域を探る	1前	2							兼1	カリキュラム見直しのため科目追加 (2)	
	家庭生活基礎A	1後	2							兼1	カリキュラム見直しのため科目追加 (2)	
	キャリアビジョンと男女共同参画：男女がともに輝く社会を考えよう	1前	2							兼1	カリキュラム見直しのため科目追加 (2)	
	自然科学群	数と形	1前	2							兼1	カリキュラム見直しのため科目廃止 (2)
		伝えておきたい数学	1後	2							兼1	カリキュラム見直しのため科目廃止 (2)
		素数の不思議	1前	2							兼1	
		教養としての物理学	1前	2							兼1	
観測天文学入門		1後	2							兼1		
生活のなかの天文学		1前	2							兼1		
現代医療における物理学		1後	2							兼1	カリキュラム見直しのため科目追加 (2)	
物理学の世界		1前	2							兼1	カリキュラム見直しのため科目追加 (2)	
Activity-Based Astronomyー現代天文学入門		1前	2							兼1	カリキュラム見直しのため科目追加 (2)	
時間と空間の物理学		1前	2							兼1	カリキュラム見直しのため科目追加 (2)	
応用化学～千夜一夜～		1前	2							兼1	カリキュラム見直しのため科目追加 (2)	
身近な化学		1前	2							兼2	カリキュラム見直しのため科目追加 (2)	
生活の中の高分子		1前	2							兼1	カリキュラム見直しのため科目追加 (2)	
基礎 分子遺伝学の世界		1後	2							兼1	カリキュラム見直しのため科目追加 (2)	
バイオリソースと生命科学		1後	2							兼1	カリキュラム見直しのため科目追加 (2)	
生態学入門		1後	2							兼1		
地域から学ぶ地球		1前	2							兼1		
教養としての物質科学		1後	2							兼1	カリキュラム見直しのため科目廃止 (2)	
環境保全学		1後	2							兼1	カリキュラム見直しのため科目追加 (2)	
ニューバイオテクノロジー入門		1後	2							兼1	カリキュラム見直しのため科目追加 (2)	
動物と私たちの暮らし		1前	2							兼1	カリキュラム見直しのため科目追加 (2)	
動物生命科学		1後	2							兼1	カリキュラム見直しのため科目追加 (2)	
食と植物の文化論		1前	2							兼1	カリキュラム見直しのため科目追加 (2)	
応用生物学への招待		1前	2							兼1	カリキュラム見直しのため科目追加 (2)	
ネットワーク社会における情報科学		1前後	2							兼1		
統計学の基礎		1前後	2							兼1		
検索の科学		1前後	2							兼1		
情報学入門 (コンピュータの構成, アルゴリズム)		1前	2							兼4	カリキュラム見直しのため科目追加 (2)	
情報学入門 (プログラミング, ネットワーク)		1後	2							兼4	カリキュラム見直しのため科目追加 (2)	
情報の利活用がもたらす社会イノベーション		1前	2							兼1	カリキュラム見直しのため科目追加 (2)	
心理学概論		1後	2							兼1	カリキュラム見直しのため科目追加 (2)	
脳の不思議を探る (認知神経科学入門)		1前	2							兼1		
脳の不思議をもっと探る (認知神経科学入門)		1後	2							兼1		
宇宙から原子への旅		1前	2							兼12		
国際看護学Ⅰ		1前	2							兼1	カリキュラム見直しのため科目追加 (2)	
看護倫理学		1前	2							兼1	カリキュラム見直しのため科目追加 (2)	
国際技術論		1後	2							兼1	カリキュラム見直しのため科目追加 (2)	
基礎心理学		1前	2							兼1	カリキュラム見直しのため科目追加 (2)	
スポーツ		ソフトボール	1前	1							兼1	
		テニス	1前	1							兼1	
		アダプトテッドスポーツ	1前	1							兼1	
		弓道	1前	1							兼1	
		コーディネーションエクササイズ	1前	1							兼1	
	剣道形の世界	1前	1							兼1		
	バドミントン	1前	1							兼1		
	コンディショニングバレー	1前	1							兼1		

学科共通科目	必修科目	応用水理学	2後	2				1				
		応用水理学演習	2後	1				1				
		土の力学	2前	2		1						
		土の力学演習	2前	1				1				
		構造力学Ⅰ	2前	2		1						
		構造力学Ⅰ演習	2前	1				1				
		地域の分析と計画	2前	2			1					
		地域の分析と計画演習	2前	1			1					
		空間情報学	2後	2		1	1					
		総合演習	3後	1		5	8		3			
		建設構造物設計製図Ⅰ	3後	1		1						
		卒業研究	4通	10		5	8		3			
		水資源工学	2後	2		1						
		水処理工学	3前	2			2					
		水保全工学	3前	2			1					
		水環境化学	2前	2			1					
		地下水工学	2後	2		1						
		選択科目	物理学実験	2・3・4前後		1						兼3
			水文気象学	3後	2			1				
			環境エネルギー工学	3後	2		1			1		
			上下水道工学	3後	2			1				
			地圏環境学	3後	2		1					
			環境生態学	4前	2			1				
河川・海岸工学	3前		2			1		1				
景観分析論	3前		2			1						
橋梁工学	3後		2					1				
交通計画	3後		2			1						
空間情報実習	3前		1		1	1		1				
数値計算法	3後		2			1						
応用数学Ⅰ	2前		2							兼1		
応用数学Ⅱ	2後		2							兼1		
応用数学Ⅲ	3前		2							兼1		
確率・統計	2後		2							兼1		
解析力学	2前		2							兼1		
防災システム論	3後		2		1			1				
建設構造物設計製図Ⅱ	4前		1		1							
地盤工学	3後		2		1							
鋼構造学	3前		2			1						
コンクリート構造学	3前		2		1							
地震・耐震工学	3後		2			1						
交通施設工学	3前		2			1						
環境計画	3後		2			1						
都市・地域計画	2後		2			1						
地盤の力学演習	2後		1			1						
構造力学Ⅱ演習	2後		1					1				
土木計画学演習	2後		1			1						
学外特別講義Ⅰ	2・3・4通		2			1						
学外特別講義Ⅱ	2・3・4通		2			1						
学外特別講義Ⅲ	2・3・4通		2			1						
学外特別実習	2・3・4通		2			1						
生物学実験	2・3・4前			1					兼1			
地学実験	2・3・4前			1	1				兼1			
職業指導	2・3・4前			2					兼1	カリキュラム見直しのため学科共通科目に変更(28)		
分野専門科目	●水環境分析	2後	2			1						
	●水資源分離材料科学	2後	2		1			1				
	●水資源分離膜技術	3前	2			1						
	●水環境実験	3前	1		1	3		1				
	▲地盤の力学	2後	2			1						
	▲構造力学Ⅱ	2後	2		1							
	▲土木計画学	2後	2			1						
	▲土木実験	3前	1		1	2		1				
	教職論	1前		2						兼5		
	教育学概論	1前		2						兼2		
発達と教育	1前		2						兼2			
発達障害の理解と支援	1後		4						兼1	カリキュラム見直しのため科目履修(29)		
特別支援教育の理論	1後		4						兼1	カリキュラム見直しのため科目履修(29)		
障害の理解と支援	1前		2						兼1	カリキュラム見直しのため科目履修(29)		
発達心理学概論	1・2・3前		1						兼1			
教育方法論	2前		1						兼2			
特別活動の理論と実践	2前		1						兼2			
道徳教育の理論と実践	2・3前		2						兼3			
工業科指導法	2・3前		4						兼1			
数学科指導法Ⅰ	2・3前		2						兼1			
数学科指導法Ⅱ	2・3前		2						兼1			
数学科指導法演習Ⅰ	2・3前		1						兼1			
数学科指導法演習Ⅱ	2・3後		1						兼1			
数学科指導法特論	2・3前		2						兼1			
情報科指導法	2・3後		4						兼2			
理科指導法Ⅰ	2前		2						兼1			

	理科指導法Ⅱ	2後			2							兼2	
	理科指導法特論	3通			4							兼2	
	工芸科指導法基礎	3前			2							兼1	カリキュラム見直しのため科目廃止 (28)
	工芸科指導法	3後			2							兼1	カリキュラム見直しのため科目廃止 (28)
	生徒指導・進路指導の理論と実践	2後			2							兼4	カリキュラム見直しのため科目名変更 (28)
	教育相談の理論と実践	1後			2							兼2	
	教育相談特論	1・2・3前			2							兼1	
	教育実習事前・事後指導	4通			1							兼6	
	中等基礎教育実習	4通			4							兼6	
	高等学校教育実習	4通			2							兼6	
	教職実践演習(中・高)	4通			2			1				兼14	
	教育の思想と歴史	1・2・3前			2							兼4	
	学校教育の歴史と現状	1・2・3前			1							兼5	
	教育法学概論	1・2・3前			2							兼1	
	教育経営学概論	1・2・3後			2							兼1	
	教育行政学概論	1・2・3後			2							兼1	
	教育社会学概論	1・2・3後			2							兼1	
	教育課程の編成法	1・2・3後			1							兼2	
	メディアリテラシー概論(メディアと教育)	1・2・3前			2							兼1	カリキュラム見直しのため科目廃止 (28)
	学校教育と情報	1・2・3前			2							兼1	カリキュラム見直しのため科目追加 (28)
	教育方法特論	2・3前			1							兼2	
	キャリア教育の理論と実践	1・2・3前			2							兼2	
職教 に科 関又 すは る教 科 目	現代社会と子どもの学習	1後			2							兼6	
	介護等体験の意義と実際	2通			1							兼1	
	ノーマライゼーションとバリアフリー	1前			2							兼1	
	コミュニケーションの障害と学習 障害児早期療育論	1前			2							兼1	カリキュラム見直しのため科目名変更 (28)
主 教 る 科 に 関 連 す る 教 科 目	職業指導	2・3・4前			2							兼1	学科共通科目に変更 (28)

- (注) ・ 設置計画書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
- ・ 設置時の授業科目全て(兼任、兼任教員が担当する科目を含む。)を黒字で記載してください。その上で、前年度報告時(平成28年度に設置された大学等は設置時)より変更されているものは赤字で見え消し修正し、「備考」に赤字で理由・変更年月等を記入してください。
 - ・ なお、昨年度の報告書において赤字で見え消した部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
 - ・ 兼任、兼担の教員が担当する授業科目については、備考欄に担当する教員数を「兼〇」と記入してください。
 - ・ 授業科目を追加又は内容を変更する場合、専任教員が担当するため教員審査が必要なものについては、「専任教員採用等設置計画変更書」の審査予定年月等を「備考」に記入してください。(今後審査を受ける場合には、「平成〇年〇月 提出予定」と記入してください。)
 - ・ 「配当年次」について、設置計画時に開講時期を記入する必要がなかった学部等(平成19年度設置以前)についても、設置時の状況を黒字で記入してください。また、前年度報告時より修正があれば、赤字で見え消し修正をしてください。
 - ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても記入してください。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計	必修	選択	自由	計	
科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	
32	231	58	321	32	403	55	490	
				[0]	[172]	[Δ3]	[169]	

- (注) ・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[] 内に、設置時の計画からの増減を記入してください。(記入例：1科目減の場合：Δ1)
- ・ 資格に関する課程など、別課程としている授業科目については算入する必要はありません。

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由，代替措置の有無
	該当なし					

- (注) ・ 設置時の計画にあった授業科目が配当年次に達しているにも関わらず，何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお，理由については可能な限り具体的に記入してください。
 ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については，記入しないでください。
 ・ 教職大学院の場合は，「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由，代替措置の有無
1	「時」について考えるゼミ	2	1後	一般	選択	カリキュラム見直しのため
2	グローバルに生きるゼミ	2	1前	一般	選択	カリキュラム見直しのため
3	日本学入門	2	1前	一般	選択	カリキュラム見直しのため
4	日本近代文学入門	2	1後	一般	選択	カリキュラム見直しのため
5	フランスの文化Ⅰ	2	1前	一般	選択	カリキュラム見直しのため
6	フランスの文化Ⅱ	2	1後	一般	選択	カリキュラム見直しのため
7	数と形	2	1前	一般	選択	カリキュラム見直しのため
8	伝えておきたい数学	2	1後	一般	選択	カリキュラム見直しのため
9	教養としての物質科学	2	1後	一般	選択	カリキュラム見直しのため
10	発達障害の理解と支援	1	1後	専門	自由	カリキュラム見直しのため
11	特別支援教育の理論	1	1後	専門	自由	カリキュラム見直しのため
12	工芸科指導法基礎	2	3前	専門	自由	カリキュラム見直しに伴い申請予定だった教職課程（高等学校一種（工芸））を廃止したため。
13	工芸科指導法	2	3後	専門	自由	カリキュラム見直しに伴い申請予定だった教職課程（高等学校一種（工芸））を廃止したため。
14	メディアリテラシー概論（メディアと教育）	2	1・2・3前	専門	自由	カリキュラム見直しのため

- (注) ・ 設置時の計画にあり，何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお，理由については可能な限り具体的に記入してください。
 ・ 教職大学院の場合は，「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

<上記（4）廃止科目の「1～9」>
 共通教育科目のカリキュラム見直しの結果，9科目が廃止となったが，181科目を追加し，より充実した内容で実施するため，学生の履修に支障はない。「2016共通教育履修案内」を配布して周知するとともに，ホームページに掲載した。

<上記（4）廃止科目の「10～14」>
 教職科目についてカリキュラム見直しを行った結果，当初計画から5科目が廃止となったが，2科目を追加し，十分な数の自由科目が提供されており，学生の履修に支障はない。「12」及び「13」については，取得可能免許について入学試験前から周知を行っているため，影響はない。「平成28年度工学部学生便覧」を配布して周知した。

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

未開講科目と廃止科目の計	=	0.04
設置時の計画の授業科目数の計		

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て，小数点以下第2位までを記入してください。

3 施設・設備の整備状況、経費

区 分		内 容				備考		
(1) 校 地 等	区 分	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計			
	校舎敷地	m ²	m ²	m ²	m ²			
	運動場用地	m ²	m ²	m ²	m ²			
	小 計	m ²	m ²	m ²	m ²			
	そ の 他	m ²	m ²	m ²	m ²			
	合 計	m ²	m ²	m ²	m ²			
(2) 校 舎		専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計			
		m ² (m ²)	m ² (m ²)	m ² (m ²)	m ² (m ²)			
(3) 教 室 等		講 義 室	演 習 室	実験実習室	情報処理学習施設	語学学習施設		
		室	室	室	室 (補助職員 人)	室 (補助職員 人)		
(4) 専任教員研究室		新設学部等の名称			室 数			
					室			
(5) 図 書 ・ 設 備	新設学部等の 名称	図 書 〔うち外国書〕 冊	学術雑誌 〔うち外国書〕 種	電子ジャーナル 〔うち外国書〕	視聴覚資料 点	機 械 ・ 器 具 点	標 本 点	
	〇〇学部	[] ([])	[] ([])	[] ([])	()	()	()	
	計	[] ([])	[] ([])	[] ([])	()	()	()	
(6) 図 書 館		面 積	閱 覧 座 席 数	収 納 可 能 冊 数				
		m ²						
(7) 体 育 館		面 積	体育館以外のスポーツ施設の概要					
		m ²						
(8) 経費の見積り及び維持方法の概要	経費の見積り	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度
		教員1人当り研究費等	千円	千円	図書購入費	千円	千円	千円
	共同研究費等	千円	千円	設備購入費	千円	千円	千円	
	学生1人当り 納付金	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次	
		千円	千円	千円	千円	千円	千円	
		学生納付金以外の維持方法の概要						

- (注) ・ 設置時の計画を、設置計画書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はAC対象学部等の数値を記入してください。)
- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。
 - ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には平成28年5月1日現在の数値を記入してください。
 - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(28)」を「備考」に赤字で記入してください。
なお、昨年度の報告において赤字で見え消した部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
 - ・ 「事前伺い」により設置された学部等については、本項目を記載する必要はありません。

4 既設大学等の状況

大学の名称	信州大学								備考
既設学部等の名称	修業年限	入学員	編入学員	収容員	学位又は称号	平均入学定員超過率	開年度	所在地	
	年	人	年次人	人		倍			
人文学部									
人間情報学科	4	—	—	—	学士(文学)	—	平成7年度	長野県松本市旭3丁目1番1号	平成25年度より学生募集停止
文化コミュニケーション学科	4	—	—	—	〃	—	〃	〃	〃
人文学科	4	155	3年次 5	630	〃	1.05	平成25年度	〃	〃
教育学部									
学校教育教員養成課程	4	240	—	900	学士(教育学)	1.02	平成11年度	長野県長野市大字西長野6の口	
特別支援学校教員養成課程	4	—	—	—	〃	—	〃	〃	平成28年度より学生募集停止
生涯スポーツ課程	4	—	—	—	〃	—	〃	〃	〃
教育カウンセリング課程	4	—	—	—	〃	—	〃	〃	〃
経済学部									
経済学科	4	—	3年次 20	—	学士(経済学)	—	昭和53年度	長野県松本市旭3丁目1番1号	平成28年度より学生募集停止
経済システム法学科	4	—	3年次 10	—	〃	—	平成7年度	〃	〃
経法学部									
応用経済学科	4	100	—	100	学士(経済学)	1.07	平成28年度	長野県松本市旭3丁目1番1号	
総合法律学科	4	80	—	80	学士(法学)	1.17	〃	〃	〃
理学部									
数理・自然情報科学科	4	—	—	—	学士(理学)	—	平成7年度	長野県松本市旭3丁目1番1号	平成27年度より学生募集停止
物理科学科	4	—	—	—	〃	—	〃	〃	〃
化学科	4	—	—	—	〃	—	〃	〃	〃
地質科学科	4	—	—	—	〃	—	〃	〃	〃
生物科学科	4	—	—	—	〃	—	〃	〃	〃
物質循環学科 (各学科共通)	4	—	—	—	〃	—	〃	〃	〃
数学科	4	54	3年次 10	108	〃	1.04	平成27年度	〃	〃
理学科	4	151	—	302	〃	1.01	〃	〃	〃
医学部									
医学科	6	120	—	703	学士(医学)	0.99	昭和26年度	長野県松本市旭3丁目1番1号	
保健学科	4	143	3年次 17	606	学士(看護学) 学士(保健学)	1.02	平成15年度	〃	〃
看護学専攻	4	70	3年次 10	300	学士(看護学)	1.00	平成15年度	〃	〃
検査技術学専攻	4	37	3年次 3	154	学士(保健学)	1.00	平成15年度	〃	〃

理学療法専攻	4	18	3年次 ₂	76	学士(保健学)	1.10	平成15年度	長野県長野市若里4丁目17番1号	〃
作業療法専攻	4	18	3年次 ₂	76	学士(保健学)	1.06	平成15年度	〃	〃
工学部									
機械システム工学科	4	—	3年次 ₃	—	学士(工学)	—	平成10年度	長野県長野市若里4丁目17番1号	平成28年度より学生募集停止
電気電子工学科	4	—	3年次 ₃	—	〃	—	平成元年度	〃	〃
社会開発工学科	4	—	—	—	〃	—	〃	〃	平成20年度より学生募集停止
土木工学科	4	—	3年次 ₂	—	〃	—	平成20年度	〃	平成28年度より学生募集停止
建築学科	4	—	3年次 ₂	—	〃	—	〃	〃	〃
物質工学科	4	—	3年次 ₃	—	〃	—	平成10年度	〃	〃
情報工学科	4	—	3年次 ₅	—	〃	—	平成元年度	〃	〃
環境機能工学科	4	—	3年次 ₂	—	〃	—	平成10年度	〃	〃
物質化学科	4	95	—	95	学士(工学)	1.02	平成28年度	〃	〃
電気情報システム工学科	4	170	—	170	〃	1.04	〃	〃	〃
水環境・土木工学科	4	60	—	60	〃	1.06	〃	〃	〃
機械システム工学科	4	100	—	100	〃	1.09	〃	〃	〃
建築学科	4	60	—	60	〃	1.06	〃	〃	〃
農学部									
食料生産科学科	4	—	—	—	学士(農学)	—	平成9年度	長野県上伊那郡南箕輪村8304	平成27年度より学生募集停止
森林科学科	4	—	—	—	〃	—	〃	〃	〃
応用生命科学科 (各学科共通)	4	—	3年次 ₁₀	—	〃	—	〃	〃	〃
農学生命科学科	4	170	—	340	〃	1.06	平成27年度	〃	〃
繊維学部									
先進繊維工学課程	4	—	3年次 ₁	—	学士(工学)	—	平成20年度	長野県上田市常田3丁目15番1号	平成28年度より学生募集停止
感性工学課程	4	—	3年次 ₁	—	〃	—	〃	〃	〃
機能機械学課程	4	—	3年次 ₁	—	〃	—	〃	〃	〃
バイオエンジニアリング課程	4	—	3年次 ₁	—	〃	—	〃	〃	〃
応用化学課程	4	—	3年次 ₁	—	〃	—	〃	〃	〃
材料化学工学課程	4	—	3年次 ₁	—	〃	—	〃	〃	〃
機能高分子学課程	4	—	3年次 ₂	—	〃	—	〃	〃	〃
生物機能科学課程	4	—	3年次 ₁	—	〃	—	〃	〃	〃
生物資源・環境科学課程	4	—	3年次 ₁	—	学士(農学)	—	〃	〃	〃
先進繊維・感性工学科	4	65	—	65	学士(工学)	1.09	平成28年度	〃	〃
機械・ロボット学科	4	60	—	60	〃	1.03	〃	〃	〃
化学・材料学科	4	105	—	105	〃	1.01	〃	〃	〃
応用生物科学科	4	50	—	50	学士(農学)	1.00	〃	〃	〃

大学の名称	信州大学大学院								備考
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均定員超過率	開設年度	所在地	
	年	人	年次人	人		倍			
人文科学研究科									
地域文化専攻	2	5		10	修士(文学)	0.30	昭和57年度	長野県松本市旭3丁目1番1号	
言語文化専攻	2	5		10	"	1.40	"	"	
教育学研究科									
学校教育専攻	2	20		28	修士(教育学)	1.41	平成3年度	長野県長野市大学西長野6の口	平成28年度より学生募集停止
教科教育専攻	2	—		—	"	—	"	"	
高度教職実践専攻	2	20		20	教職修士(専門職)	1.05	平成28年度	"	
経済・社会政策科学研究科									
経済・社会政策科学専攻	2	6		12	修士(経済学)	0.91	平成元年度	長野県松本市旭3丁目1番1号	
イノベーション・マネジメント専攻	2	10		20	修士(マネジメント)	0.90	平成15年度	長野県長野市若里4丁目17番1号	
理工学系研究科									
数理・自然情報科学専攻	2	—		—	修士(理学)	—	平成24年度	長野県松本市旭3丁目1番1号	平成28年度より学生募集停止
物質基礎科学専攻	2	—		—	"	—	"	"	"
地球生物圏科学専攻	2	—		—	"	—	"	"	"
機械システム工学専攻	2	—		—	修士(工学)	—	"	長野県長野市若里4丁目17番1号	"
電気電子工学専攻	2	—		—	"	—	"	"	"
土木工学専攻	2	—		—	"	—	"	"	"
建築学専攻	2	—		—	"	—	"	"	"
物質工学専攻	2	—		—	"	—	"	"	"
情報工学専攻	2	—		—	"	—	"	"	"
環境機能工学専攻	2	—		—	"	—	"	"	"
繊維・感性工学専攻	2	—		—	"	—	"	長野県上田市常田3丁目15番1号	"
機械・ロボット学専攻	2	—		—	"	—	"	"	"
化学・材料専攻	2	—		—	"	—	"	"	"
応用生物科学専攻	2	—		—	修士(農学)	—	"	"	"
農学研究科									
食料生産科学専攻	2	—		—	修士(農学)	—	平成13年度	長野県上伊那郡南箕輪村8304	平成28年度より学生募集停止
森林科学専攻	2	—		—	"	—	平成4年度	"	"
応用生命科学専攻	2	—		—	"	—	平成13年度	"	"
機能性食料開発学専攻	2	—		—	"	—	"	"	"
総合理工学研究科									
理学専攻	2	75		75	修士(理学)	0.73	平成28年度	長野県松本市旭3丁目1番1号	
工学専攻	2	240		240	修士(工学)	1.00	"	長野県長野市若里4丁目17番1号	
繊維学専攻	2	160		160	修士(工学) 修士(農学)	1.18	"	長野県上田市常田3丁目15番1号	
農学専攻	2	65		65	修士(農学)	0.89	"	長野県上伊那郡南箕輪村8304	
生命医工学専攻	2	35		35	修士(医工学)	1.08	"	長野県松本市旭3丁目1番1号 長野県長野市若里4丁目17番1号 長野県上田市常田3丁目15番1号 長野県上伊那郡南箕輪村8304	

医学系研究科									
医科学専攻（修士課程）	2	12		24	修士(医科学)	1.08	平成14年度	長野県松本市旭3丁目1番1号	
保健学専攻（博士前期課程）	2	14		28	修士(看護学) 修士(保健学)	1.14	平成19年度	〃	
医学系専攻（博士課程）	4	40		160	博士(医学)	1.04	平成24年度	〃	
疾患予防医科学系専攻（博士課程）	4	8		32	〃	1.02	〃	〃	
医学系専攻（博士課程）	4	—		—	〃	—	平成15年度	〃	平成24年度より学生募集停止
臓器移植細胞工学医科学系専攻（博士課程）	4	—		—	〃	—	平成12年度	〃	〃
加齢適応医科学系専攻（博士課程）	4	—		—	〃	—	平成15年度	〃	〃
保健学専攻（博士後期課程）	3	4		12	博士(保健学)	1.33	平成21年度	〃	
総合工学系研究科									
生命機能・ファイバー工学専攻	3	15		45		0.75	平成17年度		
システム開発工学専攻	3	12		36	博士(学術)	1.02	〃	長野県松本市旭3丁目1番1号	
物質創成科学専攻	3	7		21	博士(理学)	0.71	〃	長野県長野市若里4丁目17番1号	
山岳地域環境科学専攻	3	8		24	博士(工学)	0.74	〃	長野県上田市常田3丁目15番1号	
生物・食料科学専攻	3	7		21	博士(農学)	1.09	〃	長野県上伊那郡南箕輪村8304	
法曹法務研究科									
法曹法務専攻	3	—		—	法務博士(専門職)	—	平成17年度	長野県松本市旭3丁目1番1号	平成27年度より学生募集停止

- (注) ・ 本調査の対象となっている大学等の設置者（国立大学法人）が設置している全ての大学（学部，学科）及び大学院（専攻）（AC対象学部等含む）について，それぞれの学校種ごとに，平成28年5月1日現在の上記項目の情報を記入してください。
- ・ 学部の学科または研究科の専攻等，「入学定員を定めている組織」ごとに記入してください。
 ※「入学定員を定めている組織ごと」には，課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めます。履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。
 - ※なお，課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は，法令上規定されている組織上の最小単位（大学であれば「学科」，短期大学であれば「専攻課程」）でも記載してください。
 - ・ 専攻科に係るものについては，記入する必要はありません。
 - ・ AC対象学部等についても必ず記入してください。
 - ・ 「平均入学定員超過率」には，標準修業年限に相当する期間における入学定員に対する入学者の割合の平均の小数点以下第2位まで（小数点以下第3位を切り捨て）を記入してください。
 - ・ 学生募集を停止している学部等がある場合，入学定員・収容定員・平均入学定員超過率は「—」とし，「備考」に「平成〇〇年より学生募集停止」と記入してください。

5 教員組織の状況

<工学部 水環境・土木工学科>

(1) 担当教員表

設置時の計画					変更状況					備考
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	

- (注) ・ 設置計画書の様式第3号(その2の1)に準じて作成してください。
 なお、当該設置に係る学部、学科等に所属しない教員であって、全学共通、学部共通などの授業科目を担当する教員組織に所属している場合は、〈〇〇学部 △△学科〉の箇所を「共通」とし、表を分けて作成してください。
- ・ 後任が決まっていない場合には、「後任未定」と記入してください。
 - ・ 辞任者は「備考」に退職年月、氏名、理由を記入してください。
 - ・ 年齢は、「**設置時の計画**」には当該学部等の就任時における満年齢を、「**変更状況**」には平成28年5月1日現在の満年齢を記入してください。
 - ・ 教員を学年進行中に変更した又は変更する予定の場合(「新規採用」、「担当授業科目の変更」又は「昇格」をいう。)は、変更後の状況を記入するとともに、その理由、後任者が決まっていない場合は、「変更状況」の「氏名」に「後任未定」と記入し、及び今後の採用計画を「備考」に記入してください。
 - ・ **意見伺いで設置された学部等の専任教員を変更する場合は**、当該専任教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し、大学設置・学校法人審議会による教員資格審査(AC教員審査)を受けてください。**AC教員審査を受けずに専任教員として授業等を担当することは出来ません。**
 - ・ 「専任教員採用等変更書(AC)」を提出し「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済」、変更書を提出予定の場合は「〇年〇月変更書提出予定」と記入してください。
 なお、設置審査時に教員審査省略となっている場合は、「備考」に「(教員審査省略)」及びその変更の理由、変更年度()書き等のみを記入してください。
 - ・ **「事前伺い」により設置された学部等については、本項目を記載する必要はありません。**

(2) 専任教員数等

(2) - ① 専任教員数

設置時の計画					現在（報告書提出時）の状況					現在（報告書提出時）の完成年度時の計画				
教授	准教授	講師	助教	計	教授	准教授	講師	助教	計 (A)	教授	准教授	講師	助教	計 (B)
5	8	0	3	16	6	8	0	4	18	5	8	0	3	16
(6)	(8)	(0)	(4)	(18)						[0]	[0]	[0]	[0]	[0]

- (注) ・「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、() 内に開設時の状況を記入してください。
 ・「現在（報告書提出時）の状況」には、報告書提出年度の5月1日の教員数（実人数）を記入してください。
 ・「現在（報告書提出時）の完成年度時の計画」には、報告書提出年度の5月1日現在、完成年度時に計画している教員数を記入するとともに、[] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：△1）

(2) - ② 年齢構成

年齢構成		
定年規定の定める定年年齢（歳）	報告書提出時（上記（A））の教員のうち、定年を延長して採用している教員数	完成年度時（上記（B））の教員うち、定年を延長して採用する教員数
65	0	0
歳	名	名

- (注) ・「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢（特例等による定年年齢ではありません）、および、平成28年5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数および完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。
 ・なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二段書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。

(3) 専任教員辞任等の理由

(3) - ① 専任教員の就任辞退（未就任）の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	就任辞退（未就任）の理由				
合計（A）					後任補充状況の集計（B）					
就任を辞退した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)			①の合計数 (a)		②の合計数 (b)		③の合計数 (c)	
人	必修	科目	必修	科目	必修	科目	必修	科目	必修	科目
	選択	科目	選択	科目	選択	科目	選択	科目	選択	科目
	自由	科目	自由	科目	自由	科目	自由	科目	自由	科目
	計	科目	計	科目	計	科目	計	科目	計	科目

- (注) ・ 設置時以降、就任を辞退した**全ての専任教員**の就任辞退の理由を具体的に記入してください。
 ・ 「就任辞退（未就任）」とは、設置時に就任予定としながら、実際には就任しなかった教員のことです。就任した後に辞任した教員は、以下「(3) - ②専任教員辞任の理由及び後任補充状況」に記入してください。
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに就任を辞退した場合、赤字にて記入するとともに、「就任辞退（未就任）の理由」に就任辞退の理由等および（ ）書きで報告年度を記入してください。
 ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」
 ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

・ 「事前伺い」により設置された学部等については、本項目を記載する必要はありません。

(3) - ② 専任教員辞任の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由				
合計（C）					後任補充状況の集計（D）					
辞任した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)			①の合計数 (a)		②の合計数 (b)		③の合計数 (c)	
人	必修	科目	必修	科目	必修	科目	必修	科目	必修	科目
	選択	科目	選択	科目	選択	科目	選択	科目	選択	科目
	自由	科目	自由	科目	自由	科目	自由	科目	自由	科目
	計	科目	計	科目	計	科目	計	科目	計	科目

- (注) ・ 一度就任した後に、辞任した**全ての専任教員**の辞任の理由を具体的に記入してください。
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等および（ ）書きで報告年度を記入してください。
 ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」
 ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

・ 「事前伺い」により設置された学部等については、本項目を記載する必要はありません。

上記 (3) - ① ・ (3) - ② の合計

合計（A）+（C）				後任補充状況の集計（B）+（D）						
辞任等した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)			①の合計数 (a)		②の合計数 (b)		③の合計数 (c)	
人	必修	科目	必修	科目	必修	科目	必修	科目	必修	科目
	選択	科目	選択	科目	選択	科目	選択	科目	選択	科目
	自由	科目	自由	科目	自由	科目	自由	科目	自由	科目
	計	科目	計	科目	計	科目	計	科目	計	科目

- (注) ・ 就任辞退（未就任）及び辞任した**全専任教員**について、教員数、担当科目数の合計、後任補充の状況を記入ください。
 ・ 「事前伺い」により設置された学部等については、本項目を記載する必要はありません。

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

--

(注) ・ 上記(3)の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください
・ 「事前伺い」により設置された学部等については、本項目を記載する必要はありません。

6 留意事項等に対する履行状況等

区 分	留 意 事 項 等		履 行 状 況	未履行事項について の実施計画
設 置 時 (〇〇年〇〇月)				
設置計画履行状況 調 査 時 (△△年2月)				
設置計画履行状況 調 査 時 (□□年2月)				
設置計画履行状況 調 査 時 (●●年2月)				

- (注) ・ 「設置時」には、当該大学等の設置時に付された留意事項と、それに対する履行状況等について、具体的に記入し、報告年度を()書きで付記してください。
- ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該設置計画履行状況調査の結果、付された意見に対する履行状況等について、具体的に記入するとともに、その履行状況等を裏付ける資料があれば、添付してください。
 - ・ 定員管理に係る留意事項への履行状況は、指摘を受けた学科等についてのみ記入してください。
 - ・ 該当がない場合には、「該当なし」と記入してください。
 - ・ 「事前伺い」により設置された学部等については、本項目を記載する必要はありません。

7 その他全般的事項

<工学部 水環境・土木工学科>

(1) 設置計画変更事項等

設置時の計画	変更内容・状況, 今後の見通しなど

- (注) ・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの（未実施を含む。）及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。
- ・ 設置時の「設置の趣旨等を記載した書類」の項目に沿って作成し、それ以外の事柄については適宜項目を設けてください。（記入例参照）
 - ・ 「事前伺い」により設置された学部等については、当該項目を記載する必要はありません。

(2) 教員の資質の維持向上の方策（FD活動含む）

<p>① 実施体制</p> <p>a 委員会の設置状況</p> <p>b 委員会の開催状況（教員の参加状況含む）</p> <p>c 委員会の審議事項等</p> <p>② 実施状況</p> <p>a 実施内容</p> <p>b 実施方法</p> <p>c 開催状況（教員の参加状況含む）</p> <p>d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況</p> <p>③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況</p> <p>a 実施の有無及び実施時期</p> <p>b 教員や学生への公開状況, 方法等</p>
--

- (注) ・ 「①a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。
- 「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。（記入例参照）
- ・ 「事前伺い」により設置された学部等については、本項目を記載する必要はありません。

(3) 自己点検・評価等に関する事項

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見
② 自己点検・評価報告書
a 公表（予定）時期
b 公表方法
③ 認証評価を受ける計画

- (注) ・ 設置時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。
また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。
なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。
・ 「事前伺い」により設置された学部等については、本項目を記載する必要はありません。

(4) 情報公表に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書	
a ホームページに公表の有無	(<input checked="" type="radio"/> 有 ・ 無)
b 公表時期（未公表の場合は予定時期）	(平成 2 8 年 6 月 1 日)

1 調査対象大学等の概要等

(1) 設置者

国立大学法人 信州大学

(2) 大学名

信州大学

(3) 大学の位置

〒380-8553 長野県長野市若里4丁目17番地1号
(本部：〒390-8621 長野県松本市旭3丁目1番1号)

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を()書きで記入してください。
・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

(4) 管理運営組織

職名	設置時	変更状況	備考
学長			
理事			
学部長			
学科長等			

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を()書きで記入してください。
(例) 平成26年度に報告済の内容 → (26)
平成28年度に報告する内容 → (28)
- ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
 - ・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
 - ・「事前伺い」により設置された学部等については、本項目を記載する必要はありません。

(5) 調査対象学部等の名称, 定員, 入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部の学科または研究科の専攻等, 定員を定めている組織ごとに記入してください (入試区分ごとではありません)。
 ・ なお, 課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は, 法令上規定されている最小単位 (大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」)でも記載してください。その場合適宜各項目の表を追加してください。
 ・ 様式は, 平成25年度開設の4年制の学科の場合 (平成28年度までの4年間) ですが, 開設年度・修業年限に合わせて作成してください。(修業年限が3年以下の場合には欄を削除し, 5年以上の場合には, 欄を設けてください。)

(5) - ① 調査対象学部等の名称, 定員

調査対象学部等の名称 (学位)	設置時の計画				備考
	修業年限	入学定員	編入学定員	收容定員	
工学部 機械システム 工学科 学士 (工学)	4年	100人	3年次 4人	408人	

- (注) ・ 定員を変更した場合は, 「備考」に変更前的人数, 変更年月及び報告年度を () 書きで記入してください。
 ・ 学生募集停止を予定している場合は, 「備考」にその旨記載してください。

(5) - ② 調査対象学部等の入学者の状況

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		平成31年度		平均入学定員 超過率	備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期		
A 入学定員	100 (-) [若干人]		() []		() []		() []		1.09倍	
志願者数	347 (-) [21]	- (-) [-]	() []	() []	() []	() []	() []	() []		
受験者数	304 (-) [18]	- (-) [-]	() []	() []	() []	() []	() []	() []		
合格者数	119 (-) [11]	- (-) [-]	() []	() []	() []	() []	() []	() []		
B 入学者数	109 (-) [9]	- (-) [-]	() []	() []	() []	() []	() []	() []		
入学定員超過率 B/A	1.09									

- (注) ・ 数字は, 平成28年5月1日現在の数字を記入してください。
 ・ () 内には, 編入学の状況について **外数** で記入してください。なお, 編入学を複数年次で行っている場合には, (()) 書きとするなどし, その旨を「備考」に付記してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 ・ [] 内には, 留学生の状況について **内数** で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 ・ 留学生については, 「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格 (いわゆる「留学ビザ」) により, 我が国の大学 (大学院を含む。), 短期大学, 高等専門学校, 専修学校 (専門課程) 及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 ・ 短期交換留学生など, 定員内に含めていない学生については記入しないでください。
 ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は, 春季入学とその他の学期 (春季入学以外の学期区分を設けている場合) に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は, その他の学期欄は「-」を記入してください。また, その他の学期に入学定員を設けている場合は, 備考欄にその人数を記入してください。
 ・ 「入学定員超過率」については, **各年度の春季入学とその他を合計した入学定員, 入学者数で算出** してください。なお, 計算の際は **小数点以下第3位を切り捨て, 小数点以下第2位まで** 記入してください。
 ・ 「平均入学定員超過率」には, 開設年度から提出年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。なお, 計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。

(5) - ③ 調査対象学部等の在学者の状況

学 年	平成28年度		平成29年度		平成30年度		平成31年度		備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1年次	[9] (-) 109	[-] (-) -	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	
2年次	/		[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	
3年次			/		[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()
4年次	/				[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()
計			[9] (-) 109	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()

- (注) ・ 数字は、平成28年5月1日現在の数字を記入してください。
- ・ []内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 - ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 - ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
 - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 - ・ 「計」については、**各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数**を記入してください。
 - ・ ()内には、**留年者の状況について、内数**で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。

(5) -④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	入学者数(b)	退学者数(a)	退学者数(内訳)			主な退学理由	入学者数に 対する退学者数 の割合 (a/b)
			退学した年度	退学者数	退学者数の うち留学生数		
平成28年度 入学者	109 人	0 人	平成28年度	0 人	0 人		0.0 %
			平成29年度	人	人		
			平成30年度	人	人		
			平成31年度	人	人		
平成29年度 入学者	人	人	平成29年度	人	人		%
			平成30年度	人	人		
			平成31年度	人	人		
平成30年度 入学者	人	人	平成30年度	人	人		%
			平成31年度	人	人		
平成31年度 入学者	人	人	平成31年度	人	人		%
合 計	109 人	0 人					0.0 %

(注)・数字は、平成28年5月1日現在の数字を記入してください。

- ・各年度の入学者数については、該当年度当初に入学した人数を記入してください。(途中で退学者がいた場合でも、その退学者数を減らす必要はありません。)
- ・各年度の退学者数については、退学年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
- ・留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により、我が国の大学(大学院を含む。)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記入してください。
- ・短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
- ・「入学者数に対する退学者数の割合」は、【当該対象年度の入学者のうち、平成28年5月1日現在までに退学した学生数の合計】を、【当該対象年度の入学者数】で除した割合(%)を記入してください。その際、小数点以下第2位を四捨五入し、小数点以下第1位までを記入してください。
- ・「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(○人)」というように、その人数も含めて記入してください。
 (記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学
 ・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

2 授業科目の概要

<工学部 機械システム工学科>

(1) 授業科目表

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数					専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	教	准教授	講師	助教	助手	手			
共通教育科目	技術とエネルギーの入門ゼミ (技術・環境分野)	1後		2									兼4	カリキュラム見直しのため科目追加 (25)
	環境問題を化学者と考えるゼミ	1後		2									兼1	
	生態資源論ゼミ	1前		2									兼1	
	地球白書ゼミ	1前		2									兼1	
	環境マインドを現場で体験するゼミ	1前		2									兼2	
	土壌学ゼミ	1前		2									兼1	カリキュラム見直しのため科目追加 (25)
	植物生態学ゼミ	1前		2									兼1	カリキュラム見直しのため科目追加 (25)
	環境マインドを現場で体験するゼミ (熱帯雨林)	1後		2									兼1	カリキュラム見直しのため科目追加 (25)
	芸術教養美術ゼミ	1前		2									兼1	カリキュラム見直しのため科目追加 (25)
	芸術教養音楽ゼミ	1後		2									兼1	カリキュラム見直しのため科目追加 (25)
	アジアの中の日本ゼミⅠ	1前		2									兼1	カリキュラム見直しのため科目追加 (25)
	アジアの中の日本ゼミⅡ	1後		2									兼1	カリキュラム見直しのため科目追加 (25)
	日本人のための英作文練習ゼミ	1前		2									兼1	カリキュラム見直しのため科目追加 (25)
	「時」について考えるゼミ	1後		2									兼1	カリキュラム見直しのため科目追加 (25)
	原書で読むシャーロック・ホームズゼミ	1前		2									兼1	
	現代ドイツの言語と日常ゼミ	1前		2									兼1	
	現代ドイツ事情ゼミ	1後		2									兼1	
	異文化研究ゼミ	1後		2									兼1	
	感覚で攻める英文法ゼミ～覚える英文法から感じる英文法へ～	1前後		2									兼1	
	日本近代史入門ゼミ	1後		2									兼1	カリキュラム見直しのため科目追加 (25)
	古文書で学ぶ近世ゼミ	1前		2									兼1	カリキュラム見直しのため科目追加 (25)
	フィールドワーク入門ゼミ	1前		2									兼1	カリキュラム見直しのため科目追加 (25)
	スポーツ・ホスピタリティゼミ 秋冬編 (松本山雅FC連携ゼミ)	1後		2									兼1	
	スポーツ・ホスピタリティゼミ 春夏編 (松本山雅FC連携ゼミ)	1前		2									兼1	
	スポーツ観戦文化論ゼミ	1前後		2									兼1	
	テレビのメディアリテラシー (テレビ信州参与ゼミ)	1前		2									兼1	
	大学改革への学生参加ゼミ	1後		2									兼1	カリキュラム見直しのため科目追加 (25)
	「考える」ゼミ	1前後		2									兼1	
	スペシャルオリンピックスで学ぼうゼミ	1前		2									兼4	カリキュラム見直しのため科目追加 (25)
	心理学思考法ゼミ	1後		2									兼1	カリキュラム見直しのため科目追加 (25)
	身体心理学ゼミ	1前		2									兼1	カリキュラム見直しのため科目追加 (25)
	環境心理学ゼミ	1前		2									兼1	カリキュラム見直しのため科目追加 (25)
	経済学の視点で考える企業行動ゼミ	1後		2									兼1	カリキュラム見直しのため科目追加 (25)
	地域ブランド実践ゼミ	1後		2									兼1	カリキュラム見直しのため科目追加 (25)
	企業経営ゼミ	1前		2									兼2	カリキュラム見直しのため科目追加 (25)
	化学計算入門ゼミ	1前後		2									兼1	
	ロボティクス入門ゼミ	1前後		2									兼1	カリキュラム見直しのため科目追加 (25)
	自然誌・博物学ゼミ	1前		2									兼1	カリキュラム見直しのため科目追加 (25)
	「物質化学の世界」ゼミ	1前		2									兼2	カリキュラム見直しのため科目追加 (25)
	ものづくり入門ゼミ	1後		2									兼2	カリキュラム見直しのため科目追加 (25)
	文系学生のための野外地質学ゼミ	1前		2									兼1	
	利己的遺伝子説から生物像を描くゼミ	1後		2									兼1	カリキュラム見直しのため科目追加 (25)
	統計図解ゼミ	1前後		2									兼1	
	アナログ再発見ゼミ	1前		2									兼1	
	情報社会論ゼミ	1前後		2									兼1	
	Web制作ゼミ	1前後		2									兼1	カリキュラム見直しのため科目追加 (25)
	新聞で広げる社会の見方ゼミ (信濃毎日新聞社寄付講座)	1後		2									兼1	カリキュラム見直しのため科目追加 (25)
	ネットワーク時代の古典を原著で読むゼミ	1後		2									兼1	カリキュラム見直しのため科目追加 (25)
	人工知能を知ろうゼミ	1後		2									兼1	カリキュラム見直しのため科目追加 (25)
	電子出版を知ろうゼミ	1前		2									兼1	カリキュラム見直しのため科目追加 (25)
	大学生基礎力ゼミ	1前		2									兼4	
	ゼロ～254℃に生きるゼミ	1前		2									兼2	カリキュラム見直しのため科目追加 (25)
	新聞をつくろう! (タウン情報制作ゼミ)	1前		2									兼1	
	スポーツ活動論ゼミⅠ	1前		2									兼1	
	スポーツ活動論ゼミⅡ	1後		2									兼1	
	ドイツ環境ゼミ	1後		2									兼1	
	社会科学の方法ゼミ	1前		2									兼1	
自然活動論ゼミ	1前		2									兼1	カリキュラム見直しのため科目追加 (25)	
自然と人間を考えるゼミ	1後		2									兼1	カリキュラム見直しのため科目追加 (25)	
臨床検査を体験するゼミ	1後		2									兼1	カリキュラム見直しのため科目追加 (25)	
体と心のリハビリテーションを考えるゼミ	1前		2									兼1	カリキュラム見直しのため科目追加 (25)	
科学的な見方・考え方ゼミ	1前		2									兼1	カリキュラム見直しのため科目追加 (25)	
身体運動科学ゼミ	1前		2									兼1	カリキュラム見直しのため科目追加 (25)	
環境社会学入門	1前		2									兼1		
熱帯雨林と社会	1前		2									兼1		
Low Energy Building (省エネルギー住宅)	1後		2									兼1	カリキュラム見直しのため科目追加 (25)	
環境～その人文・社会科学的アプローチ	1後		2									兼5		
ライフサイクルアセスメント入門	1前後		2									兼1		
環境と生活とのかかわり	1前後		2									兼1		
環境政策の社会学	1後		2									兼1	カリキュラム見直しのため科目追加 (25)	
環境問題のしくみ	1前		2									兼1	カリキュラム見直しのため科目追加 (25)	

環境科学群	環境科学入門	1前	2						兼1	カリキュラム見直しのため科目追加 (28)	
	グリーンテクノロジー	1前	2						兼3	カリキュラム見直しのため科目追加 (28)	
	環境配慮素材と自然エネルギー	1前	2						兼4	カリキュラム見直しのため科目追加 (28)	
	エコ水車の開発と地域バイオマス利用	1前	2						兼2	カリキュラム見直しのため科目追加 (28)	
	地球環境の歴史	1前	2						兼1		
	循環型社会入門	1前	2						兼1	カリキュラム見直しのため科目追加 (28)	
	環境とエネルギー	1後	2						兼1	カリキュラム見直しのため科目追加 (28)	
	ネイチャーライティングのすすめ (環境文学Ⅰ)	1前	2						兼1		
	環境文学のすすめ (環境文学Ⅱ)	1後	2						兼1		
	自然環境と文化	1後	2						兼1		
	環境管理会計	1後	2						兼1	カリキュラム見直しのため科目追加 (28)	
	材料の科学と技術(基礎編)	1前	2						兼1	カリキュラム見直しのため科目追加 (28)	
	材料の科学と技術(先端編)	1後	2						兼1	カリキュラム見直しのため科目追加 (28)	
	生物と環境	1後	2						兼1		
	NHKビデオで学ぶ地球環境の歴史	1前	2						兼1	カリキュラム見直しのため科目追加 (28)	
	自然災害と環境	1前	2						兼1		
	ナノテクと環境	1後	2						兼1	カリキュラム見直しのため科目追加 (28)	
	人とすまい	1前	2						兼3	カリキュラム見直しのため科目追加 (28)	
	水の環境科学	1後	2						兼1	カリキュラム見直しのため科目追加 (28)	
	森林サイエンス	1前	2						兼1	カリキュラム見直しのため科目追加 (28)	
	農山村と環境	1前	2						兼1	カリキュラム見直しのため科目追加 (28)	
	環境と緑の文化	1後	2						兼1	カリキュラム見直しのため科目追加 (28)	
	生活の中の科学	1後	2						兼1		
	環境法入門	1後	2						兼1		
	人文科学群	言語教育の観点から学ぶ人間と世界	1後	2						兼1	カリキュラム見直しのため科目追加 (28)
		Englishes in the World (国際語としての英語)	1前	2						兼1	カリキュラム見直しのため科目追加 (28)
		日本学入門	4前	2						兼1	カリキュラム見直しのため科目追加 (28)
		日本近代文学入門	1後	2						兼1	カリキュラム見直しのため科目追加 (28)
映像・人類学		1前	2						兼1		
Top Level English (トップレベルイングリッシュ)		1前後	2						兼2		
「田園環境健康都市須賀」を「共創」(須賀市寄付書籍講義)		1後	2						兼1	カリキュラム見直しのため科目名変更 (28)	
映画史入門		1前	2						兼1	カリキュラム見直しのため科目追加 (28)	
身体表現レクチャー&ワークショップ		1前	2						兼1	カリキュラム見直しのため科目追加 (28)	
近現代のアジアと日本		1後	2						兼1	カリキュラム見直しのため科目追加 (28)	
絶対王政期フランスの制度と社会		1前	2						兼1	カリキュラム見直しのため科目追加 (28)	
世界の音楽		1後	2						兼1	カリキュラム見直しのため科目追加 (28)	
方言からみた日本語		1後	2						兼1	カリキュラム見直しのため科目追加 (28)	
日本語教育入門		1後	2						兼1	カリキュラム見直しのため科目追加 (28)	
「心の哲学」入門		1後	2						兼1	カリキュラム見直しのため科目追加 (28)	
江戸時代の本屋さんと本		1後	2						兼1	カリキュラム見直しのため科目追加 (28)	
英語基礎Ⅰ (たてなおしの英語Ⅰ)		1前	2						兼1	カリキュラム見直しのため科目追加 (28)	
英語基礎Ⅱ (たてなおしの英語Ⅱ)		1後	2						兼1	カリキュラム見直しのため科目追加 (28)	
自己発見の方法		1後	2						兼1	カリキュラム見直しのため科目追加 (28)	
日本古典文学入門		1前	2						兼1	カリキュラム見直しのため科目追加 (28)	
中国古典小説		1後	2						兼1	カリキュラム見直しのため科目追加 (28)	
哲学者たちの智慧～人生を生きる～		1前	2						兼1	カリキュラム見直しのため科目追加 (28)	
物との関わり、人との関わり		1後	2						兼1	カリキュラム見直しのため科目追加 (28)	
日本の古典文学を読む		1前	2						兼1	カリキュラム見直しのため科目追加 (28)	
現代倫理学入門		1後	2						兼1	カリキュラム見直しのため科目追加 (28)	
映像で見て読んで考えるアメリカの文学と歴史・社会		1後	2						兼1	カリキュラム見直しのため科目追加 (28)	
変体仮名入門		1後	2						兼1	カリキュラム見直しのため科目追加 (28)	
日本古代史入門—文学・美術の歴史学—		1前	2						兼1	カリキュラム見直しのため科目追加 (28)	
世界史のなかの中国		1前	2						兼1	カリキュラム見直しのため科目追加 (28)	
寺と社から学ぶ信濃の歴史		1前	2						兼1	カリキュラム見直しのため科目追加 (28)	
山国信州の風土とくらし (風土の中の衣食住)		1前	2						兼1	カリキュラム見直しのため科目追加 (28)	
韓国の文化 (食文化)		1前	2						兼1		
韓国の文化 (映画で学ぶ)		1前	2						兼1		
韓国の文化 (若者の世界)		1後	2						兼1		
韓国の文化 (メディア)		1後	2						兼1		
フランスの文化Ⅰ		4前	2						兼1	カリキュラム見直しのため科目追加 (28)	
フランスの文化Ⅱ		4後	2						兼1	カリキュラム見直しのため科目追加 (28)	
ドイツ語圏の文化Ⅰ		1前	2						兼1		
ドイツ語圏の文化Ⅱ		1後	2						兼1		
アフリカ文化論		1後	2						兼1		
中国の文化 (現代中国事情①)		1前	2						兼1	カリキュラム見直しのため科目追加 (28)	
中国の文化 (現代中国事情②)		1後	2						兼1	カリキュラム見直しのため科目追加 (28)	
ロシアの文化 (風土と歴史)		1前	2						兼1	カリキュラム見直しのため科目追加 (28)	
スペイン語圏の文化 (スペインの言語と風土)		1前	2						兼1	カリキュラム見直しのため科目追加 (28)	
スペイン語圏の文化 (ラテンアメリカの言語と文化)		1後	2						兼1	カリキュラム見直しのため科目追加 (28)	
科学論		1後	2						兼1	カリキュラム見直しのため科目追加 (28)	
明日を生きるための心理学 リスク社会と防災を学ぶ		1前	2						兼1	カリキュラム見直しのため科目追加 (28)	
ベンチャービジネス概論		1前	2						兼1	カリキュラム見直しのため科目追加 (28)	
キャリアとしての公務員		1後	2						兼1	カリキュラム見直しのため科目追加 (28)	
スポーツ考現学		1前後	2						兼1		
スポーツ文化を考える	1後	2						兼1			
新聞と私たちの社会 (信濃毎日新聞社寄付書籍講義)	1後	2						兼1	カリキュラム見直しのため科目名変更 (28)		
教を読む技術	1前	2						兼1			
電子出版の現代	1前後	2						兼1			
日本国憲法	1前後	2						兼1			
世界経済の歩み	1前	2						兼1			
ミクロ経済学入門	1後	2						兼5			
マクロ経済学入門	1前	2						兼5			
大学生が会える経済・経営問題	1前	2						兼5			
公法入門	1後	2						兼1			

社会科学群	法学入門	1前	2							兼1		
	大学生が会おう法律問題	1前	2							兼10		
	現代政治分析	1前	2							兼1		
	Understanding Global Mindset	1前	2							兼1	カリキュラム見直しのため科目追加 (2)	
	ケースメソッド&クリティカル・シンキング	1後	2							兼1	カリキュラム見直しのため科目追加 (2)	
	国際理解と多文化共生を考える I	1前	2							兼1	カリキュラム見直しのため科目追加 (2)	
	国際理解と多文化共生を考える II	1後	2							兼1	カリキュラム見直しのため科目追加 (2)	
	国際教養A	1前後	2							兼2	カリキュラム見直しのため科目追加 (2)	
	国際教養B	1前後	2							兼2	カリキュラム見直しのため科目追加 (2)	
	臨床心理学	1前	2							兼1	カリキュラム見直しのため科目追加 (2)	
	経済指標の読み方	1後	2							兼1	カリキュラム見直しのため科目追加 (2)	
	メディア心理学	1後	2							兼1	カリキュラム見直しのため科目追加 (2)	
	ポジティブ心理学	1前	2							兼1	カリキュラム見直しのため科目追加 (2)	
	消費社会学入門	1前	2							兼1	カリキュラム見直しのため科目追加 (2)	
	コミュニティの社会心理学	1後	2							兼1	カリキュラム見直しのため科目追加 (2)	
	臨床心理学の基礎を学ぶ	1後	2							兼1	カリキュラム見直しのため科目追加 (2)	
	青年の海外ボランティア活動	1後	2							兼1	カリキュラム見直しのため科目追加 (2)	
	キャリア形成論Ⅰー本当の自分を理解するステップー	1前	2							兼2	カリキュラム見直しのため科目追加 (2)	
	キャリア形成論Ⅱー自分の将来像を探るステップー	1後	2							兼2	カリキュラム見直しのため科目追加 (2)	
	手話コミュニケーションと社会	1後	2							兼2	カリキュラム見直しのため科目追加 (2)	
	手話と社会	1前	2							兼2	カリキュラム見直しのため科目追加 (2)	
	地域活性化システム論	1前	2							兼1	カリキュラム見直しのため科目追加 (2)	
	法と政治の哲学	1前	2							兼1	カリキュラム見直しのため科目追加 (2)	
	戦後政策と憲法及び行政法	1後	2							兼1	カリキュラム見直しのため科目追加 (2)	
	政治とは何かー10代の君たちへー	1後	2							兼1	カリキュラム見直しのため科目追加 (2)	
	グローバルビジネス入門Ⅰ	1前	2							兼1	カリキュラム見直しのため科目追加 (2)	
	グローバルビジネス入門Ⅱ	1後	2							兼1	カリキュラム見直しのため科目追加 (2)	
	Global Mindset & Practical Approach	1前	2							兼1	カリキュラム見直しのため科目追加 (2)	
	障害と共生社会	1後	2							兼1	カリキュラム見直しのため科目追加 (2)	
	ジェンダー論	1前	2							兼1	カリキュラム見直しのため科目追加 (2)	
	Canadian Studies	1前	2							兼1	カリキュラム見直しのため科目追加 (2)	
	A Canadian View of Global Issues	1後	2							兼1	カリキュラム見直しのため科目追加 (2)	
	ヒューマンセクシュアリティ	1後	2							兼1	カリキュラム見直しのため科目追加 (2)	
	世界の国々は今ーグローバル社会を生きるためにーⅠ	1前	2							兼1	カリキュラム見直しのため科目追加 (2)	
	世界の国々は今ーグローバル社会を生きるためにーⅡ	1後	2							兼1	カリキュラム見直しのため科目追加 (2)	
	日中比較文化	1後	2							兼1	カリキュラム見直しのため科目追加 (2)	
	地域を探る	1前	2							兼1	カリキュラム見直しのため科目追加 (2)	
	家庭生活基礎A	1後	2							兼1	カリキュラム見直しのため科目追加 (2)	
	キャリアビジョンと男女共同参画：男女がともに輝く社会を考えよう	1前	2							兼1	カリキュラム見直しのため科目追加 (2)	
	自然科学群	数と形	1前	2							兼1	カリキュラム見直しのため科目廃止 (2)
		伝えておきたい数学	1後	2							兼1	カリキュラム見直しのため科目廃止 (2)
		素数の不思議	1前	2							兼1	
		教養としての物理学	1前	2							兼1	
観測天文学入門		1後	2							兼1		
生活のなかの天文学		1前	2							兼1		
現代医療における物理学		1後	2							兼1	カリキュラム見直しのため科目追加 (2)	
物理学の世界		1前	2							兼1	カリキュラム見直しのため科目追加 (2)	
Activity-Based Astronomyー現代天文学入門		1前	2							兼1	カリキュラム見直しのため科目追加 (2)	
時間と空間の物理学		1前	2							兼1	カリキュラム見直しのため科目追加 (2)	
応用化学～千夜一夜～		1前	2							兼1	カリキュラム見直しのため科目追加 (2)	
身近な化学		1前	2							兼2	カリキュラム見直しのため科目追加 (2)	
生活の中の高分子		1前	2							兼1	カリキュラム見直しのため科目追加 (2)	
基礎 分子遺伝学の世界		1後	2							兼1	カリキュラム見直しのため科目追加 (2)	
バイオリソースと生命科学		1後	2							兼1	カリキュラム見直しのため科目追加 (2)	
生態学入門		1後	2							兼1		
地域から学ぶ地球		1前	2							兼1		
教養としての物質科学		1後	2							兼1	カリキュラム見直しのため科目廃止 (2)	
環境保全学		1後	2							兼1	カリキュラム見直しのため科目追加 (2)	
ニューバイオテクノロジー入門		1後	2							兼1	カリキュラム見直しのため科目追加 (2)	
動物と私たちの暮らし		1前	2							兼1	カリキュラム見直しのため科目追加 (2)	
動物生命科学		1後	2							兼1	カリキュラム見直しのため科目追加 (2)	
食と植物の文化論		1前	2							兼1	カリキュラム見直しのため科目追加 (2)	
応用生物学への招待		1前	2							兼1	カリキュラム見直しのため科目追加 (2)	
ネットワーク社会における情報科学		1前後	2							兼1		
統計学の基礎		1前後	2							兼1		
検索の科学		1前後	2							兼1		
情報学入門 (コンピュータの構成, アルゴリズム)		1前	2							兼4	カリキュラム見直しのため科目追加 (2)	
情報学入門 (プログラミング, ネットワーク)		1後	2							兼4	カリキュラム見直しのため科目追加 (2)	
情報の利活用がもたらす社会イノベーション		1前	2							兼1	カリキュラム見直しのため科目追加 (2)	
心理学概論		1後	2							兼1	カリキュラム見直しのため科目追加 (2)	
脳の不思議を探る (認知神経科学入門)		1前	2							兼1		
脳の不思議をもっと探る (認知神経科学入門)		1後	2							兼1		
宇宙から原子への旅		1前	2							兼12		
国際看護学Ⅰ		1前	2							兼1	カリキュラム見直しのため科目追加 (2)	
看護倫理学		1前	2							兼1	カリキュラム見直しのため科目追加 (2)	
国際技術論		1後	2							兼1	カリキュラム見直しのため科目追加 (2)	
基礎心理学		1前	2							兼1	カリキュラム見直しのため科目追加 (2)	
体育・スポーツ群		ソフトボール	1前	1							兼1	
		テニス	1前	1							兼1	
		アダプトテッドスポーツ	1前	1							兼1	
		弓道	1前	1							兼1	
		コーディネーションエクササイズ	1前	1							兼1	
	剣道形の世界	1前	1							兼1		
	バドミントン	1前	1							兼1		
コンディショニングバレー	1前	1							兼1			

スペイン語	スペイン語初級(総合)Ⅰ	1前	1						兼1	カリキュラム見直しのため科目追加(28)	
	スペイン語初級(総合)Ⅱ	1後	1						兼1	カリキュラム見直しのため科目追加(28)	
	スペイン語初級(文法)Ⅰ	1前	1						兼1	カリキュラム見直しのため科目追加(28)	
	スペイン語初級(文法)Ⅱ	1前	1						兼1	カリキュラム見直しのため科目追加(28)	
	スペイン語初級(読解・会話)Ⅰ	1後	1						兼1	カリキュラム見直しのため科目追加(28)	
	スペイン語初級(読解・会話)Ⅱ	1後	1						兼1	カリキュラム見直しのため科目追加(28)	
	スペイン語中級(読解・会話)Ⅰ	2前	2						兼1	カリキュラム見直しのため科目追加(28)	
	スペイン語中級(読解・会話)Ⅱ	2後	2						兼1	カリキュラム見直しのため科目追加(28)	
	ロシア語	ロシア語初級(総合)Ⅰ	1前	1						兼1	カリキュラム見直しのため科目追加(28)
		ロシア語初級(総合)Ⅱ	1後	1						兼1	カリキュラム見直しのため科目追加(28)
		ロシア語初級(文法)Ⅰ	1前	1						兼1	カリキュラム見直しのため科目追加(28)
		ロシア語初級(文法)Ⅱ	1後	1						兼1	カリキュラム見直しのため科目追加(28)
		ロシア語初級(読解・会話)Ⅰ	1前	1						兼1	カリキュラム見直しのため科目追加(28)
		ロシア語初級(読解・会話)Ⅱ	1後	1						兼1	カリキュラム見直しのため科目追加(28)
		ロシア語中級(読解・会話)Ⅰ	2前	2						兼1	カリキュラム見直しのため科目追加(28)
		ロシア語中級(読解・会話)Ⅱ	2後	2						兼1	カリキュラム見直しのため科目追加(28)
		ロシア語中級Ⅰ	2前	2						兼1	カリキュラム見直しのため科目追加(28)
	ロシア語中級Ⅱ	2後	2						兼1	カリキュラム見直しのため科目追加(28)	
	健康科学・理論と実践	1後	1							兼28	
	ナゼ入生 ナゼ入生 ナゼ入生	機械システム工学ゼミナール	1前	2		1			1		
基礎科学科目	数学	微分積分学Ⅰ	1前	2						兼3	
		微分積分学Ⅱ	1後	2						兼3	
		線形代数学Ⅰ	1後	2						兼3	
		線形代数学Ⅱ	2前	2						兼3	
	物理学	力学	1後	2						兼2	
		生物学	一般化学Ⅰ	1前	2						兼2
生物学A	1後			2					兼1	カリキュラム見直しのため履修区分の変更(28)	
生物学B	1後		2					兼1	カリキュラム見直しのため履修区分の変更(28)		
日本語・日本事情	日本語・日本事情科目	読解(日本語)Ⅰ	1前	1						兼3	
		読解(日本語)Ⅱ	1後	1						兼3	
		作文(日本語)Ⅰ	1前	1						兼2	
		作文(日本語)Ⅱ	1後	1						兼2	
		ビジネス・ジャパニーズⅠ	1前	1						兼1	
		ビジネス・ジャパニーズⅡ	1後	1						兼1	
		科学技術日本語Ⅰ	1前	1						兼1	
		科学技術日本語Ⅱ	1後	1						兼1	
		日本語表現・文型Ⅰ	1前	1						兼1	カリキュラム見直しのため科目追加(28)
		日本語表現・文型Ⅱ	1後	1						兼1	カリキュラム見直しのため科目追加(28)
		聴解(日本語)Ⅰ	1前	1						兼1	カリキュラム見直しのため科目追加(28)
		聴解(日本語)Ⅱ	1後	1						兼1	カリキュラム見直しのため科目追加(28)
		会話(日本語)Ⅰ	1前	1						兼1	カリキュラム見直しのため科目追加(28)
		会話(日本語)Ⅱ	1後	1						兼1	カリキュラム見直しのため科目追加(28)
		日本社会と日本人Ⅰ	1前	2						兼1	
		日本社会と日本人Ⅱ	1後	2						兼1	
		武道・伝統文化実習Ⅰ	1前	1						兼2	
武道・伝統文化実習Ⅱ	1後	1						兼2			
専門科目	学部共通科目	技術者倫理	3後	1		1					
		量子物理	2・3・4前	2						兼1	
		現代天文学	2・3・4後	2						兼1	
		経営工学	4前	2						兼1	
		現代技術論	4後	2						兼1	
		特許実務概論	3前	2						兼1	
		環境マネジメントシステム	3前	2						兼1	
		地域環境演習Ⅰ	2・3・4前	1		1				兼2	
		地域環境演習Ⅱ	2・3・4通	1		1				兼2	
		環境内部監査実務	2・3・4前	2		1					
		環境政策概論	3通	2						兼1	
		先鋭研究特別講義	4通	2						兼8	
		ボランティア特別実習Ⅰ	2・3・4通		1		1				
		ボランティア特別実習Ⅱ	2・3・4通		1		1				
		生涯学習概論	2・3・4前後		2					兼1	
		博物館概論	2・3・4前後		2					兼1	
		博物館経営論	2・3・4前後		2					兼1	
		博物館資料論	2・3・4前後		2					兼1	
		博物館資料保存論	2・3・4前後		2					兼1	
		博物館展示論	2・3・4前後		2					兼1	
	博物館教育論	2・3・4前後		2					兼1		
	博物館情報・メディア論	2・3・4前後		2					兼1		
	博物館実習Ⅰ	2・3・4前後		1					兼1		
	博物館実習Ⅱ	2・3・4前後		1					兼1		
	博物館実習Ⅲ	2・3・4前後		1					兼1		
	アエ 科リ 目ジ グニ	物質化学概論	2前後	1						兼18	
		電子情報システム概論	2前後	1						兼1	
		水環境・土木工学概論	2前後	1						兼7	
		建築・デザイン概論	2前後	1						兼1	
	必修科目	数学演習	1前	1		1					
		工業力学演習	2前	1		1			1		
		機械設計製図Ⅰ	1後	1			1				
		機械設計製図Ⅱ	2前	1			1		1		兼2
機械設計製図Ⅲ		2後	1			1				兼2	
ものづくりプロジェクト	1前	2		1	4		1		教員配置見直しのため(28)		

教職関係科目	教職に関する科目	数学科指導法特論	2・3前		2							兼1			
		情報科指導法	2・3後		4								兼2		
		理科指導法Ⅰ	2前		2								兼1		
		理科指導法Ⅱ	2後		2								兼2		
		理科指導法特論	3通		4								兼1		
		王芸科指導法基礎	3前		2								兼1	カリキュラム見直しのため科目廃止 (28)	
		王芸科指導法	3後		2								兼1	カリキュラム見直しのため科目廃止 (28)	
		生徒指導・進路指導の理論と実践	2後		2								兼4	カリキュラム見直しのため科目名変更 (28)	
		教育相談の理論と実践	1後		2								兼2		
		教育相談特論	1・2・3前		2								兼1		
		教育実習事前・事後指導	4通		1								兼6		
		中等基礎教育実習	4通		4								兼6		
		高等学校教育実習	4通		2								兼6		
		教職実践演習(中・高)	4通		2	1							兼14		
		教育の思想と歴史	1・2・3前		2								兼4		
		学校教育の歴史と現状	1・2・3前		1								兼5		
		教育法学概論	1・2・3前		2								兼1		
		教育経営学概論	1・2・3後		2								兼1		
		教育行政学概論	1・2・3後		2								兼1		
		教育社会学概論	1・2・3後		2								兼1		
		教育課程の編成法	1・2・3後		1								兼2		
		メディアリテラシー概論(メディアと教育)	1・2・3前		2								兼1	カリキュラム見直しのため科目廃止 (28)	
		学校教育と情報	1・2・3前		2								兼1	カリキュラム見直しのため科目追加 (28)	
		教育方法特論	2・3前		1								兼2		
		キャリア教育の理論と実践	1・2・3前		2								兼2		
		職教科 目 関 又 す は 教 科 目	現代社会と子どもの学習	1後		2								兼6	
			介護等体験の意義と実際	2通		1								兼1	
	ノーマライゼーションとバリアフリー		1前		2								兼1		
	コミュニケーションの障害と学習障害児早期療育論		1前		2								兼1	カリキュラム見直しのため科目名変更 (28)	
	主 教 育 科 目 に 関 連	職業指導	2・3・4前		2								兼1	学科共通科目に変更 (28)	

- (注) ・ 設置計画書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
- ・ 設置時の授業科目全て(兼任、兼担教員が担当する科目を含む。)を黒字で記載してください。その上で、前年度報告時(平成28年度に設置された大学等は設置時)より変更されているものは赤字で見え消し修正し、「備考」に赤字で理由・変更年月等を記入してください。
 - ・ なお、昨年度の報告書において赤字で見え消した部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
 - ・ 兼任、兼担の教員が担当する授業科目については、備考欄に担当する教員数を「兼〇」と記入してください。
 - ・ 授業科目を追加又は内容を変更する場合、専任教員が担当するため教員審査が必要なものについては、「専任教員採用等設置計画変更書」の審査予定年月等を「備考」に記入してください。(今後審査を受ける場合には、「平成〇年〇月 提出予定」と記入してください。)
 - ・ 「配当年次」について、設置計画時に開講時期を記入する必要がなかった学部等(平成19年度設置以前)についても、設置時の状況を黒字で記入してください。また、前年度報告時より修正があれば、赤字で見え消し修正をしてください。
 - ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても記入してください。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計	必修	選択	自由	計	
科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	
25	245	58	328	25	417	57	499	
				[0]	[172]	[Δ1]	[171]	

- (注) ・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[] 内に、設置時の計画からの増減を記入してください。(記入例：1科目減の場合：Δ1)
- ・ 資格に関する課程など、別課程としている授業科目については算入する必要はありません。

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由、代替措置の有無
	該当なし					

- (注) ・ 設置時の計画にあった授業科目が配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については、記入しないでください。
 - ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由、代替措置の有無
1	「時」について考えるゼミ	2	1後	一般	選択	カリキュラム見直しのため
2	グローバルに生きるゼミ	2	1前	一般	選択	カリキュラム見直しのため
3	日本学入門	2	1前	一般	選択	カリキュラム見直しのため
4	日本近代文学入門	2	1後	一般	選択	カリキュラム見直しのため
5	フランスの文化Ⅰ	2	1前	一般	選択	カリキュラム見直しのため
6	フランスの文化Ⅱ	2	1後	一般	選択	カリキュラム見直しのため
7	数と形	2	1前	一般	選択	カリキュラム見直しのため
8	伝えておきたい数学	2	1後	一般	選択	カリキュラム見直しのため
9	教養としての物質科学	2	1後	一般	選択	カリキュラム見直しのため
10	発達障害の理解と支援	1	1後	専門	自由	カリキュラム見直しのため
11	特別支援教育の理論	1	1後	専門	自由	カリキュラム見直しのため
12	工芸科指導法基礎	2	3前	専門	自由	カリキュラム見直しに伴い申請予定だった教職課程（高等学校一種（工芸））を廃止したため。
13	工芸科指導法	2	3後	専門	自由	カリキュラム見直しに伴い申請予定だった教職課程（高等学校一種（工芸））を廃止したため。
14	メディアリテラシー概論（メディアと教育）	2	1・2・3前	専門	自由	カリキュラム見直しのため

- (注) ・ 設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

<上記（４）廃止科目の「１～９」>

共通教育科目のカリキュラム見直しの結果、９科目が廃止となったが、183科目を追加し、より充実した内容で実施するため、学生の履修に支障はない。「2016共通教育履修案内」を配布して周知するとともに、ホームページに掲載した。

<上記（４）廃止科目の「１０～１４」>

教職科目についてカリキュラム見直しを行った結果、当初計画から５科目が廃止となったが、２科目を追加し、十分な数の自由科目が提供されており、学生の履修に支障はない。「12」及び「13」については、取得可能免許について入学試験前から周知を行っているため、影響はない。「平成28年度工学部学生便覧」を配布して周知した。

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目と廃止科目の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計}} = 0.04$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位までを記入してください。

3 施設・設備の整備状況、経費

区 分		内 容				備考		
(1) 校 地 等	区 分	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計			
	校舎敷地	m ²	m ²	m ²	m ²			
	運動場用地	m ²	m ²	m ²	m ²			
	小 計	m ²	m ²	m ²	m ²			
	そ の 他	m ²	m ²	m ²	m ²			
	合 計	m ²	m ²	m ²	m ²			
(2) 校 舎		専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計			
		m ² (m ²)	m ² (m ²)	m ² (m ²)	m ² (m ²)			
(3) 教 室 等		講 義 室	演 習 室	実験実習室	情報処理学習施設	語学学習施設		
		室	室	室	室 (補助職員 人)	室 (補助職員 人)		
(4) 専任教員研究室		新設学部等の名称			室 数			
					室			
(5) 図 書 ・ 設 備	新設学部等の 名称	図 書 〔うち外国書〕 冊	学術雑誌 〔うち外国書〕 種	電子ジャーナル 〔うち外国書〕	視聴覚資料 点	機械・器具 点	標 本 点	
	〇〇学部	[] ([])	[] ([])	[] ([])	()	()	()	
	計	[] ([])	[] ([])	[] ([])	()	()	()	
(6) 図 書 館		面 積	閱 覧 座 席 数	収 納 可 能 冊 数				
		m ²						
(7) 体 育 館		面 積	体育館以外のスポーツ施設の概要					
		m ²						
(8) 経費の見積り及び維持方法の概要	経費の見積り	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度
		教員1人当り研究費等	千円	千円	図書購入費	千円	千円	千円
	共同研究費等	千円	千円	設備購入費	千円	千円	千円	
	学生1人当り 納付金	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次	
		千円	千円	千円	千円	千円	千円	
		学生納付金以外の維持方法の概要						

- (注) ・ 設置時の計画を、設置計画書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はAC対象学部等の数値を記入してください。)
- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。
 - ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には平成28年5月1日現在の数値を記入してください。
 - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(28)」を「備考」に赤字で記入してください。
なお、昨年度の報告において赤字で見え消した部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
 - ・ 「事前伺い」により設置された学部等については、本項目を記載する必要はありません。

4 既設大学等の状況

大学の名称	信州大学								備考
既設学部等の名称	修業年限	入学員	編入学員	収容員	学位又は称号	平均入学定員超過率	開年度	所在地	
	年	人	年次人	人		倍			
人文学部									
人間情報学科	4	—	—	—	学士(文学)	—	平成7年度	長野県松本市旭3丁目1番1号	平成25年度より学生募集停止
文化コミュニケーション学科	4	—	—	—	〃	—	〃	〃	〃
人文学科	4	155	3年次 5	630	〃	1.05	平成25年度	〃	〃
教育学部									
学校教育教員養成課程	4	240	—	900	学士(教育学)	1.02	平成11年度	長野県長野市大字西長野6の口	
特別支援学校教員養成課程	4	—	—	—	〃	—	〃	〃	平成28年度より学生募集停止
生涯スポーツ課程	4	—	—	—	〃	—	〃	〃	〃
教育カウンセリング課程	4	—	—	—	〃	—	〃	〃	〃
経済学部									
経済学科	4	—	3年次 20	—	学士(経済学)	—	昭和53年度	長野県松本市旭3丁目1番1号	平成28年度より学生募集停止
経済システム法学科	4	—	3年次 10	—	〃	—	平成7年度	〃	〃
経法学部									
応用経済学科	4	100	—	100	学士(経済学)	1.07	平成28年度	長野県松本市旭3丁目1番1号	
総合法律学科	4	80	—	80	学士(法学)	1.17	〃	〃	〃
理学部									
数理・自然情報科学科	4	—	—	—	学士(理学)	—	平成7年度	長野県松本市旭3丁目1番1号	平成27年度より学生募集停止
物理科学科	4	—	—	—	〃	—	〃	〃	〃
化学科	4	—	—	—	〃	—	〃	〃	〃
地質科学科	4	—	—	—	〃	—	〃	〃	〃
生物科学科	4	—	—	—	〃	—	〃	〃	〃
物質循環学科 (各学科共通)	4	—	—	—	〃	—	〃	〃	〃
数学科	4	54	3年次 10	108	〃	1.04	平成27年度	〃	〃
理学科	4	151	—	302	〃	1.01	〃	〃	〃
医学部									
医学科	6	120	—	703	学士(医学)	0.99	昭和26年度	長野県松本市旭3丁目1番1号	
保健学科	4	143	3年次 17	606	学士(看護学) 学士(保健学)	1.02	平成15年度	〃	〃
看護学専攻	4	70	3年次 10	300	学士(看護学)	1.00	平成15年度	〃	〃
検査技術学専攻	4	37	3年次 3	154	学士(保健学)	1.00	平成15年度	〃	〃

理学療法専攻	4	18	3年次 ₂	76	学士(保健学)	1.10	平成15年度	長野県長野市若里4丁目17番1号	〃	
作業療法専攻	4	18	3年次 ₂	76	学士(保健学)	1.06	平成15年度		〃	
工学部										
機械システム工学科	4	—	3年次 ₃	—	学士(工学)	—	平成10年度			平成28年度より学生募集停止
電気電子工学科	4	—	3年次 ₃	—	〃	—	平成元年度		〃	〃
社会開発工学科	4	—	—	—	〃	—	〃		〃	平成20年度より学生募集停止
土木工学科	4	—	3年次 ₂	—	〃	—	平成20年度		〃	平成28年度より学生募集停止
建築学科	4	—	3年次 ₂	—	〃	—	〃		〃	〃
物質工学科	4	—	3年次 ₃	—	〃	—	平成10年度		〃	〃
情報工学科	4	—	3年次 ₅	—	〃	—	平成元年度		〃	〃
環境機能工学科	4	—	3年次 ₂	—	〃	—	平成10年度		〃	〃
物質化学科	4	95	—	95	学士(工学)	1.02	平成28年度		〃	
電気情報システム工学科	4	170	—	170	〃	1.04	〃		〃	
水環境・土木工学科	4	60	—	60	〃	1.06	〃		〃	
機械システム工学科	4	100	—	100	〃	1.09	〃		〃	
建築学科	4	60	—	60	〃	1.06	〃		〃	
農学部										
食料生産科学科	4	—	—	—	学士(農学)	—	平成9年度	長野県上伊那郡南箕輪村8304		平成27年度より学生募集停止
森林科学科	4	—	—	—	〃	—	〃		〃	〃
応用生命科学科 (各学科共通)	4	—	3年次 ₁₀	—	〃	—	〃		〃	〃
農学生命科学科	4	170	—	340	〃	1.06	平成27年度		〃	
繊維学部										
先進繊維工学課程	4	—	3年次 ₁	—	学士(工学)	—	平成20年度	長野県上田市常田3丁目15番1号		平成28年度より学生募集停止
感性工学課程	4	—	3年次 ₁	—	〃	—	〃		〃	〃
機能機械学課程	4	—	3年次 ₁	—	〃	—	〃		〃	〃
バイオエンジニアリング課程	4	—	3年次 ₁	—	〃	—	〃		〃	〃
応用化学課程	4	—	3年次 ₁	—	〃	—	〃		〃	〃
材料化学工学課程	4	—	3年次 ₁	—	〃	—	〃		〃	〃
機能高分子学課程	4	—	3年次 ₂	—	〃	—	〃		〃	〃
生物機能科学課程	4	—	3年次 ₁	—	〃	—	〃		〃	〃
生物資源・環境科学課程	4	—	3年次 ₁	—	学士(農学)	—	〃		〃	〃
先進繊維・感性工学科	4	65	—	65	学士(工学)	1.09	平成28年度		〃	
機械・ロボット学科	4	60	—	60	〃	1.03	〃		〃	
化学・材料学科	4	105	—	105	〃	1.01	〃		〃	
応用生物科学科	4	50	—	50	学士(農学)	1.00	〃		〃	

大学の名称	信州大学大学院								備考
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均定員超過率	開設年度	所在地	
	年	人	年次人	人		倍			
人文科学研究科									
地域文化専攻	2	5		10	修士(文学)	0.30	昭和57年度	長野県松本市旭3丁目1番1号	
言語文化専攻	2	5		10	"	1.40	"	"	
教育学研究科									
学校教育専攻	2	20		28	修士(教育学)	1.41	平成3年度	長野県長野市大学西長野6の口	平成28年度より学生募集停止
教科教育専攻	2	—		—	"	—	"	"	
高度教職実践専攻	2	20		20	教職修士(専門職)	1.05	平成28年度	"	
経済・社会政策科学研究科									
経済・社会政策科学専攻	2	6		12	修士(経済学)	0.91	平成元年度	長野県松本市旭3丁目1番1号	
イノベーション・マネジメント専攻	2	10		20	修士(マネジメント)	0.90	平成15年度	長野県長野市若里4丁目17番1号	
理工学系研究科									
数理・自然情報科学専攻	2	—		—	修士(理学)	—	平成24年度	長野県松本市旭3丁目1番1号	平成28年度より学生募集停止
物質基礎科学専攻	2	—		—	"	—	"	"	"
地球生物圏科学専攻	2	—		—	"	—	"	"	"
機械システム工学専攻	2	—		—	修士(工学)	—	"	長野県長野市若里4丁目17番1号	"
電気電子工学専攻	2	—		—	"	—	"	"	"
土木工学専攻	2	—		—	"	—	"	"	"
建築学専攻	2	—		—	"	—	"	"	"
物質工学専攻	2	—		—	"	—	"	"	"
情報工学専攻	2	—		—	"	—	"	"	"
環境機能工学専攻	2	—		—	"	—	"	"	"
繊維・感性工学専攻	2	—		—	"	—	"	長野県上田市常田3丁目15番1号	"
機械・ロボット学専攻	2	—		—	"	—	"	"	"
化学・材料専攻	2	—		—	"	—	"	"	"
応用生物科学専攻	2	—		—	修士(農学)	—	"	"	"
農学研究科									
食料生産科学専攻	2	—		—	修士(農学)	—	平成13年度	長野県上伊那郡南箕輪村8304	平成28年度より学生募集停止
森林科学専攻	2	—		—	"	—	平成4年度	"	"
応用生命科学専攻	2	—		—	"	—	平成13年度	"	"
機能性食料開発学専攻	2	—		—	"	—	"	"	"
総合理工学研究科									
理学専攻	2	75		75	修士(理学)	0.73	平成28年度	長野県松本市旭3丁目1番1号	
工学専攻	2	240		240	修士(工学)	1.00	"	長野県長野市若里4丁目17番1号	
繊維学専攻	2	160		160	修士(工学) 修士(農学)	1.18	"	長野県上田市常田3丁目15番1号	
農学専攻	2	65		65	修士(農学)	0.89	"	長野県上伊那郡南箕輪村8304	
生命医工学専攻	2	35		35	修士(医工学)	1.08	"	長野県松本市旭3丁目1番1号 長野県長野市若里4丁目17番1号 長野県上田市常田3丁目15番1号 長野県上伊那郡南箕輪村8304	

医学系研究科									
医科学専攻（修士課程）	2	12		24	修士(医科学)	1.08	平成14年度	長野県松本市旭3丁目1番1号	
保健学専攻（博士前期課程）	2	14		28	修士(看護学) 修士(保健学)	1.14	平成19年度	〃	
医学系専攻（博士課程）	4	40		160	博士(医学)	1.04	平成24年度	〃	
疾患予防医科学系専攻（博士課程）	4	8		32	〃	1.02	〃	〃	
医学系専攻（博士課程）	4	—		—	〃	—	平成15年度	〃	平成24年度より学生募集停止
臓器移植細胞工学医科学系専攻（博士課程）	4	—		—	〃	—	平成12年度	〃	〃
加齢適応医科学系専攻（博士課程）	4	—		—	〃	—	平成15年度	〃	〃
保健学専攻（博士後期課程）	3	4		12	博士(保健学)	1.33	平成21年度	〃	
総合工学系研究科									
生命機能・ファイバー工学専攻	3	15		45		0.75	平成17年度		
システム開発工学専攻	3	12		36	博士(学術)	1.02	〃	長野県松本市旭3丁目1番1号	
物質創成科学専攻	3	7		21	博士(理学)	0.71	〃	長野県長野市若里4丁目17番1号	
山岳地域環境科学専攻	3	8		24	博士(工学)	0.74	〃	長野県上田市常田3丁目15番1号	
生物・食料科学専攻	3	7		21	博士(農学)	1.09	〃	長野県上伊那郡南箕輪村8304	
法曹法務研究科									
法曹法務専攻	3	—		—	法務博士(専門職)	—	平成17年度	長野県松本市旭3丁目1番1号	平成27年度より学生募集停止

- (注) ・ 本調査の対象となっている大学等の設置者（国立大学法人）が設置している全ての大学（学部，学科）及び大学院（専攻）（AC対象学部等含む）について，それぞれの学校種ごとに，平成28年5月1日現在の上記項目の情報を記入してください。
- ・ 学部の学科または研究科の専攻等，「入学定員を定めている組織」ごとに記入してください。
 ※「入学定員を定めている組織ごと」には，課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めます。履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。
 ※なお，課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は，法令上規定されている組織上の最小単位（大学であれば「学科」，短期大学であれば「専攻課程」）でも記載してください。
 - ・ 専攻科に係るものについては，記入する必要はありません。
 - ・ AC対象学部等についても必ず記入してください。
 - ・ 「平均入学定員超過率」には，標準修業年限に相当する期間における入学定員に対する入学者の割合の平均の小数点以下第2位まで（小数点以下第3位を切り捨て）を記入してください。
 - ・ 学生募集を停止している学部等がある場合，入学定員・収容定員・平均入学定員超過率は「—」とし，「備考」に「平成〇〇年より学生募集停止」と記入してください。

5 教員組織の状況

<工学部 機械システム工学科>

(1) 担当教員表

設置時の計画					変更状況					備考
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	

- (注) ・ 設置計画書の様式第3号(その2の1)に準じて作成してください。
 なお、当該設置に係る学部、学科等に所属しない教員であって、全学共通、学部共通などの授業科目を担当する教員組織に所属している場合は、〈〇〇学部 △△学科〉の箇所を「共通」とし、表を分けて作成してください。
- ・ 後任が決まっていない場合には、「後任未定」と記入してください。
 - ・ 辞任者は「備考」に退職年月、氏名、理由を記入してください。
 - ・ 年齢は、「**設置時の計画**」には当該学部等の就任時における満年齢を、「**変更状況**」には平成28年5月1日現在の満年齢を記入してください。
 - ・ 教員を学年進行中に変更した又は変更する予定の場合(「新規採用」、「担当授業科目の変更」又は「昇格」をいう。)は、変更後の状況を記入するとともに、その理由、後任者が決まっていない場合は、「変更状況」の「氏名」に「後任未定」と記入し、及び今後の採用計画を「備考」に記入してください。
 - ・ **意見伺いで設置された学部等の専任教員を変更する場合は、当該専任教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し、大学設置・学校法人審議会による教員資格審査(AC教員審査)を受けてください。AC教員審査を受けずに専任教員として授業等を担当することは出来ません。**
 - ・ 「専任教員採用等変更書(AC)」を提出し「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済」、変更書を提出予定の場合は「〇年〇月変更書提出予定」と記入してください。
 なお、設置審査時に教員審査省略となっている場合は、「備考」に「(教員審査省略)」及びその変更の理由、変更年度()書き等のみを記入してください。
 - ・ **「事前伺い」により設置された学部等については、本項目を記載する必要はありません。**

(2) 専任教員数等

(2) - ① 専任教員数

設置時の計画					現在（報告書提出時）の状況					現在（報告書提出時）の完成年度時の計画				
教授	准教授	講師	助教	計	教授	准教授	講師	助教	計 (A)	教授	准教授	講師	助教	計 (B)
9	10	1	4	24	9	10	1	3	23	9	10	1	4	24
(9)	(10)	(1)	(3)	(23)						[0]	[0]	[0]	[0]	[0]

- (注) ・「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、() 内に開設時の状況を記入してください。
 ・「現在（報告書提出時）の状況」には、報告書提出年度の5月1日の教員数（実人数）を記入してください。
 ・「現在（報告書提出時）の完成年度時の計画」には、報告書提出年度の5月1日現在、完成年度時に計画している教員数を記入するとともに、[] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：△1）

(2) - ② 年齢構成

年齢構成		
定年規定の定める定年年齢（歳）	報告書提出時（上記（A））の教員のうち、定年を延長して採用している教員数	完成年度時（上記（B））の教員うち、定年を延長して採用する教員数
65 歳	0 名	0 名

- (注) ・「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢（特例等による定年年齢ではありません）、および、平成28年5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数および完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。
 ・なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二段書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。

(3) 専任教員辞任等の理由

(3) - ① 専任教員の就任辞退（未就任）の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	就任辞退（未就任）の理由				
合計（A）					後任補充状況の集計（B）					
就任を辞退した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)			①の合計数 (a)		②の合計数 (b)		③の合計数 (c)	
人	必修	科目	必修	科目	必修	科目	必修	科目	必修	科目
	選択	科目	選択	科目	選択	科目	選択	科目	選択	科目
	自由	科目	自由	科目	自由	科目	自由	科目	自由	科目
	計	科目	計	科目	計	科目	計	科目	計	科目

- (注) ・ 設置時以降、就任を辞退した**全ての専任教員**の就任辞退の理由を具体的に記入してください。
 ・ 「就任辞退（未就任）」とは、設置時に就任予定としながら、実際には就任しなかった教員のことです。就任した後に辞任した教員は、以下「(3) - ②専任教員辞任の理由及び後任補充状況」に記入してください。
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに就任を辞退した場合、赤字にて記入するとともに、「就任辞退（未就任）の理由」に就任辞退の理由等および（ ）書きで報告年度を記入してください。
 ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」
 ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

・ 「事前伺い」により設置された学部等については、本項目を記載する必要はありません。

(3) - ② 専任教員辞任の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由				
合計（C）					後任補充状況の集計（D）					
辞任した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)			①の合計数 (a)		②の合計数 (b)		③の合計数 (c)	
人	必修	科目	必修	科目	必修	科目	必修	科目	必修	科目
	選択	科目	選択	科目	選択	科目	選択	科目	選択	科目
	自由	科目	自由	科目	自由	科目	自由	科目	自由	科目
	計	科目	計	科目	計	科目	計	科目	計	科目

- (注) ・ 一度就任した後に、辞任した**全ての専任教員**の辞任の理由を具体的に記入してください。
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等および（ ）書きで報告年度を記入してください。
 ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」
 ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

・ 「事前伺い」により設置された学部等については、本項目を記載する必要はありません。

上記 (3) - ① ・ (3) - ② の合計

合計（A）+（C）				後任補充状況の集計（B）+（D）						
辞任等した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)			①の合計数 (a)		②の合計数 (b)		③の合計数 (c)	
人	必修	科目	必修	科目	必修	科目	必修	科目	必修	科目
	選択	科目	選択	科目	選択	科目	選択	科目	選択	科目
	自由	科目	自由	科目	自由	科目	自由	科目	自由	科目
	計	科目	計	科目	計	科目	計	科目	計	科目

- (注) ・ 就任辞退（未就任）及び辞任した**全専任教員**について、教員数、担当科目数の合計、後任補充の状況を記入ください。
 ・ 「事前伺い」により設置された学部等については、本項目を記載する必要はありません。

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

--

(注) ・ 上記(3)の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください
・ 「事前伺い」により設置された学部等については、本項目を記載する必要はありません。

6 留意事項等に対する履行状況等

区 分	留 意 事 項 等		履 行 状 況	未履行事項について の実施計画
設 置 時 (〇〇年〇〇月)				
設置計画履行状況 調 査 時 (△△年2月)				
設置計画履行状況 調 査 時 (□□年2月)				
設置計画履行状況 調 査 時 (●●年2月)				

- (注) ・ 「設置時」には、当該大学等の設置時に付された留意事項と、それに対する履行状況等について、具体的に記入し、報告年度を()書きで付記してください。
- ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該設置計画履行状況調査の結果、付された意見に対する履行状況等について、具体的に記入するとともに、その履行状況等を裏付ける資料があれば、添付してください。
 - ・ 定員管理に係る留意事項への履行状況は、指摘を受けた学科等についてのみ記入してください。
 - ・ 該当がない場合には、「該当なし」と記入してください。
 - ・ 「事前伺い」により設置された学部等については、本項目を記載する必要はありません。

7 その他全般的事項

<工学部 機械システム工学科>

(1) 設置計画変更事項等

設置時の計画	変更内容・状況, 今後の見通しなど

- (注) ・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの（未実施を含む。）及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。
- ・ 設置時の「設置の趣旨等を記載した書類」の項目に沿って作成し、それ以外の事柄については適宜項目を設けてください。（記入例参照）
 - ・ 「事前伺い」により設置された学部等については、当該項目を記載する必要はありません。

(2) 教員の資質の維持向上の方策（FD活動含む）

<p>① 実施体制</p> <ul style="list-style-type: none">a 委員会の設置状況b 委員会の開催状況（教員の参加状況含む）c 委員会の審議事項等 <p>② 実施状況</p> <ul style="list-style-type: none">a 実施内容b 実施方法c 開催状況（教員の参加状況含む）d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況 <p>③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況</p> <ul style="list-style-type: none">a 実施の有無及び実施時期b 教員や学生への公開状況、方法等
--

- (注) ・ 「①a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。
- 「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。（記入例参照）
- ・ 「事前伺い」により設置された学部等については、本項目を記載する必要はありません。

(3) 自己点検・評価等に関する事項

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見
② 自己点検・評価報告書
a 公表（予定）時期
b 公表方法
③ 認証評価を受ける計画

- (注) ・ 設置時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。
また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。
なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。
・ 「事前伺い」により設置された学部等については、本項目を記載する必要はありません。

(4) 情報公表に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書	
a ホームページに公表の有無	(<input checked="" type="radio"/> 有 ・ 無)
b 公表時期（未公表の場合は予定時期）	(平成 2 8 年 6 月 1 日)

1 調査対象大学等の概要等

(1) 設置者

国立大学法人 信州大学

(2) 大学名

信州大学

(3) 大学の位置

〒380-8553 長野県長野市若里4丁目17番地1号
(本部：〒390-8621 長野県松本市旭3丁目1番1号)

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を()書きで記入してください。
・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

(4) 管理運営組織

職名	設置時	変更状況	備考
学長			
理事			
学部長			
学科長等			

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を()書きで記入してください。
(例) 平成26年度に報告済の内容 → (26)
平成28年度に報告する内容 → (28)
- ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
 - ・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
 - ・「事前伺い」により設置された学部等については、本項目を記載する必要はありません。

(5) 調査対象学部等の名称, 定員, 入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部の学科または研究科の専攻等, 定員を定めている組織ごとに記入してください (入試区分ごとではありません)。
 ・ なお, 課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は, 法令上規定されている最小単位 (大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」)でも記載してください。その場合適宜各項目の表を追加してください。
 ・ 様式は, 平成25年度開設の4年制の学科の場合 (平成28年度までの4年間) ですが, 開設年度・修業年限に合わせて作成してください。(修業年限が3年以下の場合には欄を削除し, 5年以上の場合には, 欄を設けてください。)

(5) - ① 調査対象学部等の名称, 定員

調査対象学部等の名称 (学位)	設置時の計画				備考
	修業年限	入学定員	編入学定員	收容定員	
工学部 建築学科 学士 (工学)	4年	60人	2人 3年次人	244人	

- (注) ・ 定員を変更した場合は, 「備考」に変更前的人数, 変更年月及び報告年度を () 書きで記入してください。
 ・ 学生募集停止を予定している場合は, 「備考」にその旨記載してください。

(5) - ② 調査対象学部等の入学者の状況

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		平成31年度		平均入学定員 超過率	備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期		
A 入学定員	60 (-) [若干人]								1.06倍	
志願者数	333 (-) [13]	- (-) [-]								
受験者数	247 (-) [10]	- (-) [-]								
合格者数	73 (-) [2]	- (-) [-]								
B 入学者数	64 (-) [1]	- (-) [-]								
入学定員超過率 B/A	1.06									

- (注) ・ 数字は, 平成28年5月1日現在の数字を記入してください。
 ・ () 内には, 編入学の状況について外数で記入してください。なお, 編入学を複数年次で行っている場合には, (())書きとするなどし, その旨を「備考」に付記してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 ・ []内には, 留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 ・ 留学生については, 「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格 (いわゆる「留学ビザ」) により, 我が国の大学 (大学院を含む。), 短期大学, 高等専門学校, 専修学校 (専門課程) 及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 ・ 短期交換留学生など, 定員内に含めていない学生については記入しないでください。
 ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は, 春季入学とその他の学期 (春季入学以外の学期区分を設けている場合) に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は, その他の学期欄は「-」を記入してください。また, その他の学期に入学定員を設けている場合は, 備考欄にその人数を記入してください。
 ・ 「入学定員超過率」については, 各年度の春季入学とその他を合計した入学定員, 入学者数で算出してください。なお, 計算の際は小数点以下第3位を切り捨て, 小数点以下第2位まで記入してください。
 ・ 「平均入学定員超過率」には, 開設年度から提出年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。なお, 計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。

(5) - ③ 調査対象学部等の在学者の状況

学 年	平成28年度		平成29年度		平成30年度		平成31年度		備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1年次	[1] (-) 64	[-] (-) -	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	
2年次	/		[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	
3年次			/		[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()
4年次	/				[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()
計			[1] (-) 64	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()

- (注) ・ 数字は、平成28年5月1日現在の数字を記入してください。
- ・ []内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 - ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 - ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
 - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 - ・ 「計」については、**各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数**を記入してください。
 - ・ ()内には、**留年者の状況について、内数で**記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。

2 授業科目の概要

<工学部 建築学科>

(1) 授業科目表

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考		
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手			
共通教育科目	技術とエネルギーの入門ゼミ (技術・環境分野)	1後		2								兼4	カリキュラム見直しのため科目追加 (28)
	環境問題を化学者と考えるゼミ	1後		2								兼1	
	生態資源論ゼミ	1前		2								兼1	
	地球白書ゼミ	1前		2								兼1	
	環境マインドを現場で体験するゼミ	1前		2								兼2	
	土壌学ゼミ	1前		2								兼1	カリキュラム見直しのため科目追加 (28)
	植物生態学ゼミ	1前		2								兼1	カリキュラム見直しのため科目追加 (28)
	環境マインドを現場で体験するゼミ (熱帯雨林)	1後		2								兼1	カリキュラム見直しのため科目追加 (28)
	芸術教養美術ゼミ	1前		2								兼1	カリキュラム見直しのため科目追加 (28)
	芸術教養音楽ゼミ	1後		2								兼1	カリキュラム見直しのため科目追加 (28)
	アジアの中の日本ゼミⅠ	1前		2								兼1	カリキュラム見直しのため科目追加 (28)
	アジアの中の日本ゼミⅡ	1後		2								兼1	カリキュラム見直しのため科目追加 (28)
	日本人のための英作文練習ゼミ	1前		2								兼1	カリキュラム見直しのため科目追加 (28)
	「時」について考えるゼミ	1後		2								兼1	カリキュラム見直しのため科目追加 (28)
	原書で読むシャーロック・ホームズゼミ	1前		2								兼1	
	現代ドイツの言語と日常ゼミ	1前		2								兼1	
	現代ドイツ事情ゼミ	1後		2								兼1	
	異文化研究ゼミ	1後		2								兼1	
	感覚で攻める英文法ゼミ～覚える英文法から感じる英文法へ～	1前後		2								兼1	
	日本近現代史入門ゼミ	1後		2								兼1	カリキュラム見直しのため科目追加 (28)
	古文書で学ぶ近世ゼミ	1前		2								兼1	カリキュラム見直しのため科目追加 (28)
	フィールドワーク入門ゼミ	1前		2								兼1	カリキュラム見直しのため科目追加 (28)
	スポーツ・ホスピタリティゼミ 秋冬編(松本山雅FC連携ゼミ)	1後		2								兼1	
	スポーツ・ホスピタリティゼミ 春夏編(松本山雅FC連携ゼミ)	1前		2								兼1	
	スポーツ観戦文化論ゼミ	1前後		2								兼1	
	テレビのメディアリテラシー (テレビ信州参与ゼミ)	1前		2								兼1	
	大学改革への学生参加ゼミ	1後		2								兼1	カリキュラム見直しのため科目追加 (28)
	「考える」ゼミ	1前後		2								兼1	
	スペシャルオリンピックスで学ぼうゼミ	1前		2								兼4	カリキュラム見直しのため科目追加 (28)
	心理学思考法ゼミ	1後		2								兼1	カリキュラム見直しのため科目追加 (28)
	身体心理学ゼミ	1前		2								兼1	カリキュラム見直しのため科目追加 (28)
	環境心理学ゼミ	1前		2								兼1	カリキュラム見直しのため科目追加 (28)
	経済学の視点で考える企業行動ゼミ	1後		2								兼1	カリキュラム見直しのため科目追加 (28)
	地域ブランド実践ゼミ	1後		2								兼1	カリキュラム見直しのため科目追加 (28)
	企業経営ゼミ	1前		2								兼2	カリキュラム見直しのため科目追加 (28)
	化学計算入門ゼミ	1前後		2								兼1	
	ロボティクス入門ゼミ	1前後		2								兼1	カリキュラム見直しのため科目追加 (28)
	自然誌・博物学ゼミ	1前		2								兼1	カリキュラム見直しのため科目追加 (28)
	「物質化学の世界」ゼミ	1前		2								兼2	カリキュラム見直しのため科目追加 (28)
	ものづくり入門ゼミ	1後		2								兼2	カリキュラム見直しのため科目追加 (28)
	文系学生のための野外地質学ゼミ	1前		2								兼1	
	利己的遺伝子説から生物像を描くゼミ	1後		2								兼1	カリキュラム見直しのため科目追加 (28)
	統計図解ゼミ	1前後		2								兼1	
	アナログ再発見ゼミ	1前		2								兼1	
	情報社会論ゼミ	1前後		2								兼1	
	Web制作ゼミ	1前後		2								兼1	カリキュラム見直しのため科目追加 (28)
	新聞で広げる社会の見方ゼミ (信濃毎日新聞社寄付講義)	1後		2								兼1	カリキュラム見直しのため科目追加 (28)
	ネットワーク時代の古典を原著で読むゼミ	1後		2								兼1	カリキュラム見直しのため科目追加 (28)
	人工知能を知ろうゼミ	1後		2								兼1	カリキュラム見直しのため科目追加 (28)
	電子出版を知ろうゼミ	1前		2								兼1	カリキュラム見直しのため科目追加 (28)
	大学生基礎力ゼミ	1前		2								兼4	
	グローバルに生きるゼミ	1後		2								兼2	カリキュラム見直しのため科目追加 (28)
新聞をつくろう！(タウン情報制作ゼミ)	1前		2								兼1		
スポーツ活動論ゼミⅠ	1前		2								兼1		
スポーツ活動論ゼミⅡ	1後		2								兼1		
ドイツ環境ゼミ	1後		2								兼1		
社会科学の方法ゼミ	1前		2								兼1		
自然活動論ゼミ	1前		2								兼1	カリキュラム見直しのため科目追加 (28)	
自然と人間を考えるゼミ	1後		2								兼1	カリキュラム見直しのため科目追加 (28)	
臨床検査を体験するゼミ	1後		2								兼1	カリキュラム見直しのため科目追加 (28)	
体と心のリハビリテーションを考えるゼミ	1前		2								兼1	カリキュラム見直しのため科目追加 (28)	
科学的な見方・考え方ゼミ	1前		2								兼1	カリキュラム見直しのため科目追加 (28)	
身体運動科学ゼミ	1前		2								兼1	カリキュラム見直しのため科目追加 (28)	
環境社会学入門	1前		2								兼1		
熱帯雨林と社会	1前		2								兼1		
Low Energy Building (省エネルギー住宅)	1後		2								兼1	カリキュラム見直しのため科目追加 (28)	
環境～その人文・社会科学的アプローチ	1後		2								兼5		
ライフサイクルアセスメント入門	1前後		2								兼1		
環境と生活とのかかわり	1前後		2								兼1		
環境政策の社会学	1後		2								兼1	カリキュラム見直しのため科目追加 (28)	
環境問題のしくみ	1前		2								兼1	カリキュラム見直しのため科目追加 (28)	
環境科学入門	1前		2								兼1	カリキュラム見直しのため科目追加 (28)	
グリーンテクノロジー	1前		2								兼3	カリキュラム見直しのため科目追加 (28)	

体育・スポーツ群	バレーボール	1前	1							兼1	
	トレッキング	1前	1							兼1	
	ゴルフ	1前	1							兼1	
	スポーツフィッシング	1前	1							兼1	
	マリンスポーツ	1前	1							兼1	
	信大マラソン	1前	1							兼2	
	アウトドアの達人	1前	1							兼2	
	サバイバル活動	1前	1							兼1	
	スクーパダイビング	1前	1							兼1	
	レジャースポーツ	1前	1							兼1	
	スポーツボウリング	1後	1							兼1	
	ニュースポーツ	1後	1							兼1	
	アスレティックトレーニング	1後	1							兼1	
	バスケットボール	1後	1							兼1	
	ネイチャースキー	1後	1							兼2	
	スノー・スポーツ	1後	1							兼4	
	フライングディスク	1前	1							兼1	
	アウトドアマスターⅠ	1前	1							兼4	カリキュラム見直しのため科目追加 (28)
	アウトドアマスターⅡ	1前	1							兼4	カリキュラム見直しのため科目追加 (28)
	ゴルフマスターⅠ	1前	1							兼4	カリキュラム見直しのため科目追加 (28)
ゴルフマスターⅡ	1前	1							兼4	カリキュラム見直しのため科目追加 (28)	
基礎科目 外国語科目	英語	フレッシュマン・アカデミック・イングリッシュⅠ (上級)	1前	1						兼1	
		フレッシュマン・アカデミック・イングリッシュⅠ (中級)	1前	1						兼1	
		フレッシュマン・アカデミック・イングリッシュⅠ (初級)	1前	1						兼1	
		フレッシュマン・アカデミック・イングリッシュⅠ	2・3・4前	1						兼1	カリキュラム見直しのため科目追加 (28)
		フレッシュマン・アカデミック・イングリッシュⅡ (上級)	1後	1						兼1	
		フレッシュマン・アカデミック・イングリッシュⅡ (中級)	1後	1						兼1	
		フレッシュマン・アカデミック・イングリッシュⅡ (初級)	1後	1						兼1	
		フレッシュマン・アカデミック・イングリッシュⅡ	2・3・4後	1						兼1	カリキュラム見直しのため科目追加 (28)
		コミュニケーション・イングリッシュⅠ (上級)	1前	1						兼1	
		コミュニケーション・イングリッシュⅠ (中級)	1前	1						兼1	
		コミュニケーション・イングリッシュⅠ (初級)	1前	1						兼1	
		コミュニケーション・イングリッシュⅡ (上級)	1後	1						兼1	
		コミュニケーション・イングリッシュⅡ (中級)	1後	1						兼1	
		コミュニケーション・イングリッシュⅡ (初級)	1後	1						兼1	
		アカデミック・イングリッシュⅠ (上級)	2前	2						兼1	
		アカデミック・イングリッシュⅠ (中級)	2前	2						兼1	
		アカデミック・イングリッシュⅠ (初級)	2前	2						兼1	
		アカデミック・イングリッシュⅡ (上級)	2後	2						兼1	
		アカデミック・イングリッシュⅡ (中級)	2後	2						兼1	
		アカデミック・イングリッシュⅡ (初級)	2後	2						兼1	
	ドイツ語	ドイツ語初級 (総合)Ⅰ	1前	1						兼1	
		ドイツ語初級 (総合)Ⅱ	1後	1						兼1	
		ドイツ語初級 (文法)Ⅰ	1前	1						兼1	
		ドイツ語初級 (文法)Ⅱ	1後	1						兼1	
		ドイツ語初級 (読解・会話)Ⅰ	1前	1						兼1	
		ドイツ語初級 (読解・会話)Ⅱ	1後	1						兼1	
		ドイツ語中級 (読解)Ⅰ	2前	2						兼1	カリキュラム見直しのため単位数変更 (28)
		ドイツ語中級 (読解)Ⅱ	2後	2						兼1	カリキュラム見直しのため単位数変更 (28)
	フランス語	ドイツ語中級 (会話)Ⅰ	2前	2						兼1	カリキュラム見直しのため単位数変更 (28)
		ドイツ語中級 (会話)Ⅱ	2後	2						兼1	カリキュラム見直しのため単位数変更 (28)
		フランス語初級 (総合)Ⅰ	1前	1						兼1	
		フランス語初級 (総合)Ⅱ	1後	1						兼1	
		フランス語初級 (文法)Ⅰ	1前	1						兼1	
		フランス語初級 (文法)Ⅱ	1後	1						兼1	
		フランス語初級 (読解・会話)Ⅰ	1前	1						兼1	
	フランス語初級 (読解・会話)Ⅱ	1後	1						兼1		
	フランス語中級 (読解・会話)Ⅰ	2前	2						兼1	カリキュラム見直しのため単位数変更 (28)	
	フランス語中級 (読解・会話)Ⅱ	2後	2						兼1	カリキュラム見直しのため単位数変更 (28)	
	中国語	中国語初級 (総合)Ⅰ	1前	1						兼1	
		中国語初級 (総合)Ⅱ	1後	1						兼1	
中国語初級 (文法)Ⅰ		1前	1						兼1		
中国語初級 (文法)Ⅱ		1後	1						兼1		
中国語初級 (読解・会話)Ⅰ		1前	1						兼1		
中国語初級 (読解・会話)Ⅱ		1後	1						兼1		
中国語演習Ⅰ		2前	2						兼1	カリキュラム見直しのため単位数変更 (28)	
中国語演習Ⅱ	2後	2						兼1	カリキュラム見直しのため単位数変更 (28)		
ハンガール	ハンガール初級 (総合)Ⅰ	1前	1						兼1		
	ハンガール初級 (総合)Ⅱ	1後	1						兼1		
	ハンガール初級 (文法)Ⅰ	1前	1						兼1		
	ハンガール初級 (文法)Ⅱ	1後	1						兼1		
	ハンガール初級 (読解・会話)Ⅰ	1前	1						兼1		
	ハンガール初級 (読解・会話)Ⅱ	1後	1						兼1		
	ハンガール中級 (読解・会話)Ⅰ	2前	2						兼1	カリキュラム見直しのため単位数変更 (28)	
	ハンガール中級 (読解・会話)Ⅱ	2後	2						兼1	カリキュラム見直しのため単位数変更 (28)	

			ハングル中級Ⅰ	2前		2												兼1	カリキュラム見直しのため科目追加 (28)					
			ハングル中級Ⅱ	2後		2														兼1	カリキュラム見直しのため科目追加 (28)			
スペイン語			スペイン語初級(総合)Ⅰ	1前		1													兼1	カリキュラム見直しのため科目追加 (28)				
			スペイン語初級(総合)Ⅱ	1後		1														兼1	カリキュラム見直しのため科目追加 (28)			
			スペイン語初級(文法)Ⅰ	1前		1														兼1	カリキュラム見直しのため科目追加 (28)			
			スペイン語初級(文法)Ⅱ	1前		1															兼1	カリキュラム見直しのため科目追加 (28)		
			スペイン語初級(読解・会話)Ⅰ	1後		1															兼1	カリキュラム見直しのため科目追加 (28)		
			スペイン語初級(読解・会話)Ⅱ	1後		1															兼1	カリキュラム見直しのため科目追加 (28)		
			スペイン語中級(読解・会話)Ⅰ	2前		2															兼1	カリキュラム見直しのため科目追加 (28)		
			スペイン語中級(読解・会話)Ⅱ	2後		2																兼1	カリキュラム見直しのため科目追加 (28)	
			ロシア語			ロシア語初級(総合)Ⅰ	1前		1														兼1	カリキュラム見直しのため科目追加 (28)
						ロシア語初級(総合)Ⅱ	1後		1															兼1
ロシア語初級(文法)Ⅰ	1前					1															兼1	カリキュラム見直しのため科目追加 (28)		
ロシア語初級(文法)Ⅱ	1後					1																兼1	カリキュラム見直しのため科目追加 (28)	
ロシア語初級(読解・会話)Ⅰ	1前					1																兼1	カリキュラム見直しのため科目追加 (28)	
ロシア語初級(読解・会話)Ⅱ	1後					1																兼1	カリキュラム見直しのため科目追加 (28)	
ロシア語中級(読解・会話)Ⅰ	2前					2																兼1	カリキュラム見直しのため科目追加 (28)	
ロシア語中級(読解・会話)Ⅱ	2後					2																兼1	カリキュラム見直しのため科目追加 (28)	
健康科学	実践	健康科学	健康科学・理論と実践	1後	1															兼28				
			建築ゼミナール	1前	2		4	3																
基礎科学科目		数学	微分積分学Ⅰ	1前	2															兼3				
			微分積分学Ⅱ	1後	2																兼3			
			線形代数学Ⅰ	1後	2																兼3			
			線形代数学Ⅱ	2前	2																	兼3		
			物理学	力学	1前	2																	兼2	
				波動と光	2前	2																	兼1	
			化学	一般化学Ⅰ	1前	2																	兼2	
				生物学A	1後	2																	兼1	
			生物学	生物学B	1後	2																	兼1	
				地学	地学概論Ⅰ	1後	2																兼1	
		地学	地学概論Ⅱ	1後	2																兼1			
			日本語・日本事情	日本語・日本事情科目	読解(日本語)Ⅰ	1前	1																兼3	
読解(日本語)Ⅱ	1後	1																			兼3			
作文(日本語)Ⅰ	1前	1																			兼2			
作文(日本語)Ⅱ	1後	1																			兼2			
ビジネス・ジャパニーズⅠ	1前	1																			兼1			
ビジネス・ジャパニーズⅡ	1後	1																			兼1			
科学技術日本語Ⅰ	1前	1																			兼1			
科学技術日本語Ⅱ	1後	1																			兼1			
日本語表現・文型Ⅰ	1前	1																			兼1	カリキュラム見直しのため科目追加 (28)		
日本語表現・文型Ⅱ	1後	1																			兼1	カリキュラム見直しのため科目追加 (28)		
聴解(日本語)Ⅰ	1前	1																			兼1	カリキュラム見直しのため科目追加 (28)		
聴解(日本語)Ⅱ	1後	1																			兼1	カリキュラム見直しのため科目追加 (28)		
会話(日本語)Ⅰ	1前	1																			兼1	カリキュラム見直しのため科目追加 (28)		
会話(日本語)Ⅱ	1後	1																			兼1	カリキュラム見直しのため科目追加 (28)		
日本社会と日本人Ⅰ	1前	2																				兼1		
日本社会と日本人Ⅱ	1後	2																				兼1		
武道・伝統文化実習Ⅰ	1前	1																		兼2				
武道・伝統文化実習Ⅱ	1後	1																		兼2				
専門科目		学部共通科目	技術者倫理	3後	1			1																
			量子物理	2・3・4前		2																兼1		
			現代天文学	2・3・4後		2																	兼1	
			経営工学	4前		2																	兼1	
			現代技術論	4後		2																	兼2	
			特許実務概論	3前		2																	兼1	
			環境マネジメントシステム	3前		2																	兼1	
			地域環境演習Ⅰ	2・3・4前		1		1															兼2	
			地域環境演習Ⅱ	2・3・4通		1		1															兼2	
			環境内部監査実務	2・3・4前		2																	兼1	
			環境政策概論	2・3・4通		2																	兼1	
			先鋭研究特別講義	4通		2																	兼8	
			ボランティア特別実習Ⅰ	2・3・4通			1		1															
			ボランティア特別実習Ⅱ	2・3・4通			1		1															
			生涯学習概論	2・3・4前後		2																	兼1	
			博物館概論	2・3・4前後		2																	兼1	
			博物館経営論	2・3・4前後		2																	兼1	
			博物館資料論	2・3・4前後		2																	兼1	
			博物館資料保存論	2・3・4前後		2																	兼1	
			博物館展示論	2・3・4前後		2																	兼1	
			博物館教育論	2・3・4前後		2																	兼1	
			博物館情報・メディア論	2・3・4前後		2																	兼1	
			博物館実習Ⅰ	2・3・4前後		1																	兼1	
			博物館実習Ⅱ	2・3・4前後		1																	兼1	
			博物館実習Ⅲ	2・3・4前後		1																	兼1	

ア エ リ ン ジ ニ	物質化学概論	2前後	1																兼18			
	電子情報システム概論	2前後	1																兼1			
	水環境・土木工学概論	2前後	1																兼7			
	機械システム概論	2前後	1																兼1			
学 科 共 通 科 目	必 修 科 目	応用数学Ⅰ	2前	2															兼1			
		確率・統計	2後	2																兼1		
		応用数学Ⅱ	2後	2																兼1	カリキュラム見直しのため履修区分の変更 (28)	
		応用数学Ⅲ	3前	2																	兼1	カリキュラム見直しのため履修区分の変更 (28)
		解析力学	2前	2																	兼1	カリキュラム見直しのため履修区分の変更 (28)
		建築計画	2前	2					1													
		日本建築史	2前	2					1													
		保存再生論	3前	2					1													
		建築環境工学Ⅰ	2前	2					1													
		建築環境工学Ⅱ	2後	2								1										
		建築設備Ⅰ	3前	2					1													
		建築設備Ⅱ	3後	2					1													
		建築エネルギーマネジメント	2後	2							1											
		プロダクトマネジメント論	3前	2							1											
		建築構造力学Ⅰ	2前	2					1													
		建築構造力学Ⅰ演習	2前	1					1													
		建築構造力学Ⅱ演習	2後	1							1											
		鋼構造	3前	2					1													
		建築構造力学Ⅱ	2後	2							1											
		鉄筋コンクリート構造	3後	2					1													
	建築材料	2後	2									1										
	設計基礎Ⅰ	1前	2							3 2											教員配置見直しのため(28)	
	設計基礎Ⅱ	1後	2						4	3 2			2								教員配置見直しのため(28)	
	設計基礎演習	1後	1						4	3 2			2								教員配置見直しのため(28)	
	建築・デザイン工学設計製図Ⅰ	2前	2					1	2													
	建築・デザイン工学設計製図Ⅱ	2後	2					1	1				1									
	卒業研究	4通	10						4	5			2									
	選 択 科 目	物理学実験	2・3・4前後		1																兼3	
		応用数学Ⅱ	2後		2																兼1	カリキュラム見直しのため履修区分の変更 (28)
		応用数学Ⅲ	3前		2																兼1	カリキュラム見直しのため履修区分の変更 (28)
		解析力学	2前		2																兼1	カリキュラム見直しのため履修区分の変更 (28)
		建築施工	2・3後		2																兼1	隔年開講
建築法規		2・3後		1																兼1	隔年開講	
建築・デザイン工学設計製図Ⅲ		4前		2			1	1				1										
学外特別講義Ⅰ		2・3・4通		2					1													
学外特別講義Ⅱ		2・3・4通		2					1													
学外特別講義Ⅲ		2・3・4通		2					1													
学外特別実習		2・3・4通					1		1													
生物学実験		2・3・4前					1													兼1		
地学実験		2・3・4前					1													兼1		
職業指導		2・3・4前					2													兼1	カリキュラム見直しのため学科共通科目に変更 (28)	
分 野 専 門 科 目	(ブ ロ グ ラ ム 別 の 必 修 科 目 は 選 択 科 目) ▲●建築学デザインプログラム	●建築環境工学実験	3前	1			2	1				1										
		●建築地盤工学	3後	2						1												
		●建築構造材料実験	3後	1				1	1				1									
		●都市計画史	3前	2						1												
		●建築設備演習	3後	1				1														
		●建築耐震設計	3前	2						1												
		●建築構法	2前	2									1									
		●地域計画	3後	2						1												
		●西洋建築史	2後	2				1														
		●建築設計製図Ⅰ	3前	2							2											
		●建築設計製図Ⅱ	3後	2				1					1									
		▲工芸デザイン製図Ⅰ	3前	2				1	1													
		▲工芸デザイン製図Ⅱ	3後	2						2												
		▲現代デザイン学	3後	2						1												
		▲現代デザイン学演習	3後	1						1												
		▲インタラクションデザイン学	2前	2						1												
		▲インタラクションデザイン学演習	2前	1						1												
		▲美術・デザイン史	3後	2						1												
		▲プロダクトマネジメント演習	3前	1						1												
		▲プロダクトローディネイト学	3後	2				1														
▲デザイン心理	3後	2							1													

教職関係科目	教職に関する科目	教職論	1前		2							兼5		
		教育学概論	1前		2								兼2	
		発達と教育	1前		2								兼2	
		発達障害の理解と支援	1後		1								兼1	カリキュラム見直しのため科目廃止 (28)
		特別支援教育の理論	1後		1								兼1	カリキュラム見直しのため科目廃止 (28)
		障害の理解と支援	1前		2								兼1	カリキュラム見直しのため科目追加 (28)
		発達心理学概論	1・2・3前		1								兼1	
		教育方法論	2前		1								兼2	
		特別活動の理論と実践	2前		1								兼2	
		道徳教育の理論と実践	2・3前		2								兼3	
		工業科指導法	2・3前		4								兼1	
		数学科指導法 I	2・3前		2								兼1	
		数学科指導法 II	2・3前		2								兼1	
		数学科指導法演習 I	2・3前		1								兼1	
		数学科指導法演習 II	2・3後		1								兼1	
		数学科指導法特論	2・3前		2								兼1	
		情報科指導法	2・3後		4								兼2	
		理科指導法 I	2前		2								兼1	
		理科指導法 II	2後		2								兼2	
		理科指導法特論	3通		4								兼1	
		工業科指導法基礎	3前		2								兼1	カリキュラム見直しのため科目廃止 (28)
		工業科指導法	3後		2								兼1	カリキュラム見直しのため科目追加 (28)
		生徒指導・進路指導の理論と実践	2後		2								兼4	カリキュラム見直しのため科目変更 (28)
		教育相談の理論と実践	1後		2								兼2	
		教育相談特論	1・2・3前		2								兼1	
		教育実習事前・事後指導	4通		1								兼6	
		中等基礎教育実習	4通		4								兼6	
		高等学校教育実習	4通		2								兼6	
		教職実践演習(中・高)	4通		2		1						兼14	
		教育の思想と歴史	1・2・3前		2								兼4	
		学校教育の歴史と現状	1・2・3前		1								兼5	
		教育法学概論	1・2・3前		2								兼1	
		教育経営学概論	1・2・3後		2								兼1	
		教育行政学概論	1・2・3後		2								兼1	
		教育社会学概論	1・2・3後		2								兼1	
		教育課程の編成法	1・2・3後		1								兼2	
		メディアリテラシー概論(メディアと教育)	1・2・3前		2								兼1	カリキュラム見直しのため科目廃止 (28)
		学校教育と情報	1・2・3前		2								兼1	カリキュラム見直しのため科目追加 (28)
		教育方法特論	2・3前		1								兼2	
		キャリア教育の理論と実践	1・2・3前		2								兼2	
		現代社会と子どもの学習	1後		2								兼6	
		介護等体験の意義と実際	2通		1								兼1	
		ノーマライゼーションとバリアフリー	1前		2								兼1	
		コミュニケーションの障害と学習障害児早期療育論	1前		2								兼1	カリキュラム見直しのため科目変更 (28)
		中教 科に 関 する 教 科 目	職業指導	2・3・4前		2							兼1	学科共通科目に変更 (28)

- (注) ・ 設置計画書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
- ・ 設置時の授業科目全て(兼任、兼担教員が担当する科目を含む。)を黒字で記載してください。その上で、前年度報告時(平成28年度に設置された大学等は設置時)より変更されているものは赤字で見え消し修正し、「備考」に赤字で理由・変更年月等を記入してください。
 - ・ なお、昨年度の報告書において赤字で見え消した部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
 - ・ 兼任、兼担の教員が担当する授業科目については、備考欄に担当する教員数を「兼〇」と記入してください。
 - ・ 授業科目を追加又は内容を変更する場合で、専任教員が担当するため教員審査が必要なものについては、「専任教員採用等設置計画変更書」の審査予定年月等を「備考」に記入してください。(今後審査を受ける場合には、「平成〇年〇月 提出予定」と記入してください。)
 - ・ 「配当年次」について、設置計画時に開講時期を記入する必要がなかった学部等(平成19年度設置以前)についても、設置時の状況を黒字で記入してください。また、前年度報告時より修正があれば、赤字で見え消し修正をしてください。
 - ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても記入してください。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計	必修	選択	自由	計	
科目 39	科目 218	科目 59	科目 316	科目 36 [Δ3]	科目 393 [175]	科目 56 [Δ3]	科目 485 [169]	

- (注) ・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[] 内に、設置時の計画からの増減を記入してください。(記入例：1科目減の場合：Δ1)
- ・ 資格に関する課程など、別課程としている授業科目については算入する必要はありません。

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由, 代替措置の有無
	該当なし					

- (注) ・ 設置時の計画にあった授業科目が配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については、記入しないでください。
 - ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由, 代替措置の有無
1	「時」について考えるゼミ	2	1後	一般	選択	カリキュラム見直しのため
2	グローバルに生きるゼミ	2	1前	一般	選択	カリキュラム見直しのため
3	日本学入門	2	1前	一般	選択	カリキュラム見直しのため
4	日本近代文学入門	2	1後	一般	選択	カリキュラム見直しのため
5	フランスの文化Ⅰ	2	1前	一般	選択	カリキュラム見直しのため
6	フランスの文化Ⅱ	2	1後	一般	選択	カリキュラム見直しのため
7	数と形	2	1前	一般	選択	カリキュラム見直しのため
8	伝えておきたい数学	2	1後	一般	選択	カリキュラム見直しのため
9	教養としての物質科学	2	1後	一般	選択	カリキュラム見直しのため
10	発達障害の理解と支援	1	1後	専門	自由	カリキュラム見直しのため
11	特別支援教育の理論	1	1後	専門	自由	カリキュラム見直しのため
12	工芸科指導法基礎	2	3前	専門	自由	カリキュラム見直しに伴い申請予定だった教職課程（高等学校一種（工芸））を廃止したため。
13	工芸科指導法	2	3後	専門	自由	カリキュラム見直しに伴い申請予定だった教職課程（高等学校一種（工芸））を廃止したため。
14	メディアリテラシー概論（メディアと教育）	2	1・2・3前	専門	自由	カリキュラム見直しのため

- (注) ・ 設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

<上記（4）廃止科目の「1～9」>

共通教育科目のカリキュラム見直しの結果、9科目が廃止となったが、181科目を追加し、より充実した内容で実施するため、学生の履修に支障はない。「2016共通教育履修案内」を配布して周知するとともに、ホームページに掲載した。

<上記（4）廃止科目の「10～14」>

教職科目についてカリキュラム見直しを行った結果、当初計画から5科目が廃止となったが、2科目を追加し、十分な数の自由科目が提供されており、学生の履修に支障はない。「12」及び「13」については、取得可能免許について入学試験前から周知を行っているため、影響はない。「平成28年度工学部学生便覧」を配布して周知した。

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目と廃止科目の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計}} = 0.04$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位までを記入してください。

3 施設・設備の整備状況、経費

区 分		内 容				備考		
(1) 校 地 等	区 分	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計			
	校舎敷地	m ²	m ²	m ²	m ²			
	運動場用地	m ²	m ²	m ²	m ²			
	小 計	m ²	m ²	m ²	m ²			
	そ の 他	m ²	m ²	m ²	m ²			
	合 計	m ²	m ²	m ²	m ²			
(2) 校 舎		専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計			
		m ² (m ²)	m ² (m ²)	m ² (m ²)	m ² (m ²)			
(3) 教 室 等		講 義 室	演 習 室	実験実習室	情報処理学習施設	語学学習施設		
		室	室	室	室 (補助職員 人)	室 (補助職員 人)		
(4) 専任教員研究室		新設学部等の名称			室 数			
					室			
(5) 図 書 ・ 設 備	新設学部等の 名称	図 書 〔うち外国書〕 冊	学術雑誌 〔うち外国書〕 種	電子ジャーナル 〔うち外国書〕	視聴覚資料 点	機 械 ・ 器 具 点	標 本 点	
	〇〇学部	[] ([])	[] ([])	[] ([])	()	()	()	
	計	[] ([])	[] ([])	[] ([])	()	()	()	
(6) 図 書 館		面 積	閱 覧 座 席 数	収 納 可 能 冊 数				
		m ²						
(7) 体 育 館		面 積	体育館以外のスポーツ施設の概要					
		m ²						
(8) 経費の見積り及び維持方法の概要	経費の見積り	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度
		教員1人当り研究費等	千円	千円	図書購入費	千円	千円	千円
	共同研究費等	千円	千円	設備購入費	千円	千円	千円	
	学生1人当り 納付金	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次	
		千円	千円	千円	千円	千円	千円	
学生納付金以外の維持方法の概要								

- (注) ・ 設置時の計画を、設置計画書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はAC対象学部等の数値を記入してください。)
- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。
 - ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には平成28年5月1日現在の数値を記入してください。
 - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(28)」を「備考」に赤字で記入してください。
なお、昨年度の報告において赤字で見え消した部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
 - ・ 「事前伺い」により設置された学部等については、本項目を記載する必要はありません。

4 既設大学等の状況

大学の名称	信州大学								備考
既設学部等の名称	修業年限	入学員	編入学員	収容員	学位又は称号	平均入学定員超過率	開年度	所在地	
	年	人	年次人	人		倍			
人文学部									
人間情報学科	4	—	—	—	学士(文学)	—	平成7年度	長野県松本市旭3丁目1番1号	平成25年度より学生募集停止
文化コミュニケーション学科	4	—	—	—	〃	—	〃	〃	〃
人文学科	4	155	3年次 5	630	〃	1.05	平成25年度	〃	〃
教育学部									
学校教育教員養成課程	4	240	—	900	学士(教育学)	1.02	平成11年度	長野県長野市大字西長野6の口	
特別支援学校教員養成課程	4	—	—	—	〃	—	〃	〃	平成28年度より学生募集停止
生涯スポーツ課程	4	—	—	—	〃	—	〃	〃	〃
教育カウンセリング課程	4	—	—	—	〃	—	〃	〃	〃
経済学部									
経済学科	4	—	3年次 20	—	学士(経済学)	—	昭和53年度	長野県松本市旭3丁目1番1号	平成28年度より学生募集停止
経済システム法学科	4	—	3年次 10	—	〃	—	平成7年度	〃	〃
経法学部									
応用経済学科	4	100	—	100	学士(経済学)	1.07	平成28年度	長野県松本市旭3丁目1番1号	
総合法律学科	4	80	—	80	学士(法学)	1.17	〃	〃	〃
理学部									
数理・自然情報科学科	4	—	—	—	学士(理学)	—	平成7年度	長野県松本市旭3丁目1番1号	平成27年度より学生募集停止
物理科学科	4	—	—	—	〃	—	〃	〃	〃
化学科	4	—	—	—	〃	—	〃	〃	〃
地質科学科	4	—	—	—	〃	—	〃	〃	〃
生物科学科	4	—	—	—	〃	—	〃	〃	〃
物質循環学科 (各学科共通)	4	—	—	—	〃	—	〃	〃	〃
数学科	4	54	3年次 10	108	〃	1.04	平成27年度	〃	〃
理学科	4	151	—	302	〃	1.01	〃	〃	〃
医学部									
医学科	6	120	—	703	学士(医学)	0.99	昭和26年度	長野県松本市旭3丁目1番1号	
保健学科	4	143	3年次 17	606	学士(看護学) 学士(保健学)	1.02	平成15年度	〃	〃
看護学専攻	4	70	3年次 10	300	学士(看護学)	1.00	平成15年度	〃	〃
検査技術学専攻	4	37	3年次 3	154	学士(保健学)	1.00	平成15年度	〃	〃

理学療法専攻	4	18	3年次 ₂	76	学士(保健学)	1.10	平成15年度	長野県長野市若里4丁目17番1号	〃	
作業療法専攻	4	18	3年次 ₂	76	学士(保健学)	1.06	平成15年度		〃	
工学部										
機械システム工学科	4	—	3年次 ₃	—	学士(工学)	—	平成10年度	長野県長野市若里4丁目17番1号	〃	平成28年度より学生募集停止
電気電子工学科	4	—	3年次 ₃	—	〃	—	平成元年度		〃	〃
社会開発工学科	4	—	—	—	〃	—	〃		〃	平成20年度より学生募集停止
土木工学科	4	—	3年次 ₂	—	〃	—	平成20年度		〃	平成28年度より学生募集停止
建築学科	4	—	3年次 ₂	—	〃	—	〃		〃	〃
物質工学科	4	—	3年次 ₃	—	〃	—	平成10年度		〃	〃
情報工学科	4	—	3年次 ₅	—	〃	—	平成元年度		〃	〃
環境機能工学科	4	—	3年次 ₂	—	〃	—	平成10年度		〃	〃
物質化学科	4	95	—	95	学士(工学)	1.02	平成28年度		〃	
電気情報システム工学科	4	170	—	170	〃	1.04	〃		〃	
水環境・土木工学科	4	60	—	60	〃	1.06	〃		〃	
機械システム工学科	4	100	—	100	〃	1.09	〃		〃	
建築学科	4	60	—	60	〃	1.06	〃		〃	
農学部										
食料生産科学科	4	—	—	—	学士(農学)	—	平成9年度	長野県上伊那郡南箕輪村8304	〃	平成27年度より学生募集停止
森林科学科	4	—	—	—	〃	—	〃		〃	〃
応用生命科学科 (各学科共通)	4	—	3年次 ₁₀	—	〃	—	〃		〃	〃
農学生命科学科	4	170	—	340	〃	1.06	平成27年度		〃	
繊維学部										
先進繊維工学課程	4	—	3年次 ₁	—	学士(工学)	—	平成20年度	長野県上田市常田3丁目15番1号	〃	平成28年度より学生募集停止
感性工学課程	4	—	3年次 ₁	—	〃	—	〃		〃	〃
機能機械学課程	4	—	3年次 ₁	—	〃	—	〃		〃	〃
バイオエンジニアリング課程	4	—	3年次 ₁	—	〃	—	〃		〃	〃
応用化学課程	4	—	3年次 ₁	—	〃	—	〃		〃	〃
材料化学工学課程	4	—	3年次 ₁	—	〃	—	〃		〃	〃
機能高分子学課程	4	—	3年次 ₂	—	〃	—	〃		〃	〃
生物機能科学課程	4	—	3年次 ₁	—	〃	—	〃		〃	〃
生物資源・環境科学課程	4	—	3年次 ₁	—	学士(農学)	—	〃		〃	〃
先進繊維・感性工学科	4	65	—	65	学士(工学)	1.09	平成28年度		〃	
機械・ロボット学科	4	60	—	60	〃	1.03	〃		〃	
化学・材料学科	4	105	—	105	〃	1.01	〃		〃	
応用生物科学科	4	50	—	50	学士(農学)	1.00	〃		〃	

大学の名称	信州大学大学院								備考
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均定員超過率	開年度	所在地	
	年	人	年次人	人		倍			
人文科学研究科									
地域文化専攻	2	5		10	修士(文学)	0.30	昭和57年度	長野県松本市旭3丁目1番1号	
言語文化専攻	2	5		10	〃	1.40	〃	〃	
教育学研究科									
学校教育専攻	2	20		28	修士(教育学)	1.41	平成3年度	長野県長野市大学西長野6の口	平成28年度より学生募集停止
教科教育専攻	2	—		—	〃	—	〃	〃	
高度教職実践専攻	2	20		20	教職修士(専門職)	1.05	平成28年度	〃	
経済・社会政策科学研究科									
経済・社会政策科学専攻	2	6		12	修士(経済学)	0.91	平成元年度	長野県松本市旭3丁目1番1号	
イノベーション・マネジメント専攻	2	10		20	修士(マネジメント)	0.90	平成15年度	長野県長野市若里4丁目17番1号	
理工学系研究科									
数理・自然情報科学専攻	2	—		—	修士(理学)	—	平成24年度	長野県松本市旭3丁目1番1号	平成28年度より学生募集停止
物質基礎科学専攻	2	—		—	〃	—	〃	〃	〃
地球生物圏科学専攻	2	—		—	〃	—	〃	〃	〃
機械システム工学専攻	2	—		—	修士(工学)	—	〃	長野県長野市若里4丁目17番1号	〃
電気電子工学専攻	2	—		—	〃	—	〃	〃	〃
土木工学専攻	2	—		—	〃	—	〃	〃	〃
建築学専攻	2	—		—	〃	—	〃	〃	〃
物質工学専攻	2	—		—	〃	—	〃	〃	〃
情報工学専攻	2	—		—	〃	—	〃	〃	〃
環境機能工学専攻	2	—		—	〃	—	〃	〃	〃
繊維・感性工学専攻	2	—		—	〃	—	〃	長野県上田市常田3丁目15番1号	〃
機械・ロボット学専攻	2	—		—	〃	—	〃	〃	〃
化学・材料専攻	2	—		—	〃	—	〃	〃	〃
応用生物科学専攻	2	—		—	修士(農学)	—	〃	〃	〃
農学研究科									
食料生産科学専攻	2	—		—	修士(農学)	—	平成13年度	長野県上伊那郡南箕輪村8304	平成28年度より学生募集停止
森林科学専攻	2	—		—	〃	—	平成4年度	〃	〃
応用生命科学専攻	2	—		—	〃	—	平成13年度	〃	〃
機能性食料開発学専攻	2	—		—	〃	—	〃	〃	〃
総合理工学研究科									
理学専攻	2	75		75	修士(理学)	0.73	平成28年度	長野県松本市旭3丁目1番1号	
工学専攻	2	240		240	修士(工学)	1.00	〃	長野県長野市若里4丁目17番1号	
繊維学専攻	2	160		160	修士(工学) 修士(農学)	1.18	〃	長野県上田市常田3丁目15番1号	
農学専攻	2	65		65	修士(農学)	0.89	〃	長野県上伊那郡南箕輪村8304	
生命医工学専攻	2	35		35	修士(医工学)	1.08	〃	長野県松本市旭3丁目1番1号 長野県長野市若里4丁目17番1号 長野県上田市常田3丁目15番1号 長野県上伊那郡南箕輪村8304	

医学系研究科									
医科学専攻（修士課程）	2	12		24	修士(医科学)	1.08	平成14年度	長野県松本市旭3丁目1番1号	
保健学専攻（博士前期課程）	2	14		28	修士(看護学) 修士(保健学)	1.14	平成19年度	〃	
医学系専攻（博士課程）	4	40		160	博士(医学)	1.04	平成24年度	〃	
疾患予防医科学系専攻（博士課程）	4	8		32	〃	1.02	〃	〃	
医学系専攻（博士課程）	4	—		—	〃	—	平成15年度	〃	平成24年度より学生募集停止
臓器移植細胞工学医科学系専攻（博士課程）	4	—		—	〃	—	平成12年度	〃	〃
加齢適応医科学系専攻（博士課程）	4	—		—	〃	—	平成15年度	〃	〃
保健学専攻（博士後期課程）	3	4		12	博士(保健学)	1.33	平成21年度	〃	
総合工学系研究科									
生命機能・ファイバー工学専攻	3	15		45		0.75	平成17年度		
システム開発工学専攻	3	12		36	博士(学術)	1.02	〃	長野県松本市旭3丁目1番1号	
物質創成科学専攻	3	7		21	博士(理学)	0.71	〃	長野県長野市若里4丁目17番1号	
山岳地域環境科学専攻	3	8		24	博士(工学)	0.74	〃	長野県上田市常田3丁目15番1号	
生物・食料科学専攻	3	7		21	博士(農学)	1.09	〃	長野県上伊那郡南箕輪村8304	
法曹法務研究科									
法曹法務専攻	3	—		—	法務博士(専門職)	—	平成17年度	長野県松本市旭3丁目1番1号	平成27年度より学生募集停止

- (注) ・ 本調査の対象となっている大学等の設置者（国立大学法人）が設置している全ての大学（学部，学科）及び大学院（専攻）（AC対象学部等含む）について，それぞれの学校種ごとに，平成28年5月1日現在の上記項目の情報を記入してください。
- ・ 学部の学科または研究科の専攻等，「入学定員を定めている組織」ごとに記入してください。
 ※「入学定員を定めている組織ごと」には，課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めます。履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。
 - ※なお，課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は，法令上規定されている組織上の最小単位（大学であれば「学科」，短期大学であれば「専攻課程」）でも記載してください。
 - ・ 専攻科に係るものについては，記入する必要はありません。
 - ・ AC対象学部等についても必ず記入してください。
 - ・ 「平均入学定員超過率」には，標準修業年限に相当する期間における入学定員に対する入学者の割合の平均の小数点以下第2位まで（小数点以下第3位を切り捨て）を記入してください。
 - ・ 学生募集を停止している学部等がある場合，入学定員・収容定員・平均入学定員超過率は「—」とし，「備考」に「平成〇〇年より学生募集停止」と記入してください。

5 教員組織の状況

<工学部 建築学科>

(1) 担当教員表

設置時の計画					変更状況					備考
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	

- (注) ・ 設置計画書の様式第3号(その2の1)に準じて作成してください。
 なお、当該設置に係る学部、学科等に所属しない教員であって、全学共通、学部共通などの授業科目を担当する教員組織に所属している場合は、〈○○学部 △△学科〉の箇所を「共通」とし、表を分けて作成してください。
- ・ 後任が決まっていない場合には、「後任未定」と記入してください。
 - ・ 辞任者は「備考」に退職年月、氏名、理由を記入してください。
 - ・ 年齢は、「**設置時の計画**」には当該学部等の就任時における満年齢を、「**変更状況**」には平成28年5月1日現在の満年齢を記入してください。
 - ・ 教員を学年進行中に変更した又は変更する予定の場合(「新規採用」、「担当授業科目の変更」又は「昇格」をいう。)は、変更後の状況を記入するとともに、その理由、後任者が決まっていない場合は、「変更状況」の「氏名」に「後任未定」と記入し、及び今後の採用計画を「備考」に記入してください。
 - ・ **意見伺いで設置された学部等の専任教員を変更する場合は、当該専任教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し、大学設置・学校法人審議会による教員資格審査(AC教員審査)を受けてください。AC教員審査を受けずに専任教員として授業等を担当することは出来ません。**
 - ・ 「専任教員採用等変更書(AC)」を提出し「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済」、変更書を提出予定の場合は「〇年〇月変更書提出予定」と記入してください。
 なお、設置審査時に教員審査省略となっている場合は、「備考」に「(教員審査省略)」及びその変更の理由、変更年度()書き等のみを記入してください。
 - ・ **「事前伺い」により設置された学部等については、本項目を記載する必要はありません。**

(2) 専任教員数等

(2) - ① 専任教員数

設置時の計画					現在（報告書提出時）の状況					現在（報告書提出時）の完成年度時の計画				
教授	准教授	講師	助教	計	教授	准教授	講師	助教	計 (A)	教授	准教授	講師	助教	計 (B)
4	5	0	2	11	4	6	0	4	14	4	5	0	2	11
(4)	(6)	(0)	(4)	(14)						[0]	[0]	[0]	[0]	[0]

- (注) ・「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、() 内に開設時の状況を記入してください。
 ・「現在（報告書提出時）の状況」には、報告書提出年度の5月1日の教員数（実人数）を記入してください。
 ・「現在（報告書提出時）の完成年度時の計画」には、報告書提出年度の5月1日現在、完成年度時に計画している教員数を記入するとともに、[] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：△1）

(2) - ② 年齢構成

年齢構成		
定年規定の定める定年年齢（歳）	報告書提出時（上記（A））の教員のうち、定年を延長して採用している教員数	完成年度時（上記（B））の教員うち、定年を延長して採用する教員数
65	0	0
歳	名	名

- (注) ・「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢（特例等による定年年齢ではありません）、および、平成28年5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数および完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。
 ・なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二段書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。

(3) 専任教員辞任等の理由

(3) - ① 専任教員の就任辞退（未就任）の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	就任辞退（未就任）の理由				
合計（A）					後任補充状況の集計（B）					
就任を辞退した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)			①の合計数 (a)		②の合計数 (b)		③の合計数 (c)	
人	必修	科目	必修	科目	必修	科目	必修	科目	必修	科目
	選択	科目	選択	科目	選択	科目	選択	科目	選択	科目
	自由	科目	自由	科目	自由	科目	自由	科目	自由	科目
	計	科目	計	科目	計	科目	計	科目	計	科目

- (注) ・ 設置時以降、就任を辞退した**全ての専任教員**の就任辞退の理由を具体的に記入してください。
 ・ 「就任辞退（未就任）」とは、設置時に就任予定としながら、実際には就任しなかった教員のことです。就任した後に辞任した教員は、以下「(3) - ②専任教員辞任の理由及び後任補充状況」に記入してください。
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに就任を辞退した場合、赤字にて記入するとともに、「就任辞退（未就任）の理由」に就任辞退の理由等および（ ）書きで報告年度を記入してください。
 ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」
 ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

・ 「事前伺い」により設置された学部等については、本項目を記載する必要はありません。

(3) - ② 専任教員辞任の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由				
合計（C）					後任補充状況の集計（D）					
辞任した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)			①の合計数 (a)		②の合計数 (b)		③の合計数 (c)	
人	必修	科目	必修	科目	必修	科目	必修	科目	必修	科目
	選択	科目	選択	科目	選択	科目	選択	科目	選択	科目
	自由	科目	自由	科目	自由	科目	自由	科目	自由	科目
	計	科目	計	科目	計	科目	計	科目	計	科目

- (注) ・ 一度就任した後に、辞任した**全ての専任教員**の辞任の理由を具体的に記入してください。
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等および（ ）書きで報告年度を記入してください。
 ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」
 ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

・ 「事前伺い」により設置された学部等については、本項目を記載する必要はありません。

上記 (3) - ① ・ (3) - ② の合計

合計（A）+（C）				後任補充状況の集計（B）+（D）						
辞任等した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)			①の合計数 (a)		②の合計数 (b)		③の合計数 (c)	
人	必修	科目	必修	科目	必修	科目	必修	科目	必修	科目
	選択	科目	選択	科目	選択	科目	選択	科目	選択	科目
	自由	科目	自由	科目	自由	科目	自由	科目	自由	科目
	計	科目	計	科目	計	科目	計	科目	計	科目

- (注) ・ 就任辞退（未就任）及び辞任した**全専任教員**について、教員数、担当科目数の合計、後任補充の状況を記入ください。
 ・ 「事前伺い」により設置された学部等については、本項目を記載する必要はありません。

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

--

(注) ・ 上記(3)の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください
・ 「事前伺い」により設置された学部等については、本項目を記載する必要はありません。

6 留意事項等に対する履行状況等

区 分	留 意 事 項 等		履 行 状 況	未履行事項について の実施計画
設 置 時 (〇〇年〇〇月)				
設置計画履行状況 調 査 時 (△△年2月)				
設置計画履行状況 調 査 時 (□□年2月)				
設置計画履行状況 調 査 時 (●●年2月)				

- (注) ・ 「設置時」には、当該大学等の設置時に付された留意事項と、それに対する履行状況等について、具体的に記入し、報告年度を()書きで付記してください。
- ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該設置計画履行状況調査の結果、付された意見に対する履行状況等について、具体的に記入するとともに、その履行状況等を裏付ける資料があれば、添付してください。
 - ・ 定員管理に係る留意事項への履行状況は、指摘を受けた学科等についてのみ記入してください。
 - ・ 該当がない場合には、「該当なし」と記入してください。
 - ・ 「事前伺い」により設置された学部等については、本項目を記載する必要はありません。

7 その他全般的事項

<工学部 建築学科>

(1) 設置計画変更事項等

設置時の計画	変更内容・状況, 今後の見通しなど

- (注) ・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの（未実施を含む。）及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。
- ・ 設置時の「設置の趣旨等を記載した書類」の項目に沿って作成し、それ以外の事柄については適宜項目を設けてください。（記入例参照）
 - ・ 「事前伺い」により設置された学部等については、当該項目を記載する必要はありません。

(2) 教員の資質の維持向上の方策（FD活動含む）

<p>① 実施体制</p> <p>a 委員会の設置状況</p> <p>b 委員会の開催状況（教員の参加状況含む）</p> <p>c 委員会の審議事項等</p> <p>② 実施状況</p> <p>a 実施内容</p> <p>b 実施方法</p> <p>c 開催状況（教員の参加状況含む）</p> <p>d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況</p> <p>③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況</p> <p>a 実施の有無及び実施時期</p> <p>b 教員や学生への公開状況、方法等</p>

- (注) ・ 「①a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。
- 「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。（記入例参照）
- ・ 「事前伺い」により設置された学部等については、本項目を記載する必要はありません。

(3) 自己点検・評価等に関する事項

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見
② 自己点検・評価報告書
a 公表（予定）時期
b 公表方法
③ 認証評価を受ける計画

- (注) ・ 設置時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。
また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。
なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。
・ 「事前伺い」により設置された学部等については、本項目を記載する必要はありません。

(4) 情報公表に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書	
a ホームページに公表の有無	(<input checked="" type="radio"/> 有 ・ 無)
b 公表時期（未公表の場合は予定時期）	(平成 2 8 年 6 月 1 日)